

ARCACLAVIS NEXT

V2.1.1
チーム版ガイド

株式会社両備システムズ

改訂履歴

2025/3/31

初版

目次

1. 本書について	10
1.1. 本書の表記	10
1.2. 用語	11
2. 関連するマニュアル	12
3. 概要	13
3.1 システム構築手順	13
3.2 ワンタイムパスワード認証の概要	14
3.2.1. ワンタイムパスワードシークレットの発行	15
3.2.2. ワンタイムパスワード認証	17
3.2.3. ワンタイムパスワードシークレットのリセット	19
4. インストールする	21
4.1 システム構成	21
4.2 NEXT チームサーバー	22
4.2.1. インストールされるミドルウェア	22
4.2.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする	23
4.2.3. NEXT チームサーバーをインストールする	24
4.2.4. NEXT チームサーバーをバージョンアップする	28
4.2.5. スタートメニュー	37
4.2.6. 証明書の設定をする	41
4.2.7. NEXT サーバー再設定ツール	46
5. サインイン、サインアウト	51
5.1 サインイン	53

5.1.1. パスワード認証でのサインイン	54
5.1.2. ワンタイムパスワード認証でのサインイン	57
5.2 サインアウト	59
6. 管理画面の基本操作	60
6.1 画面構成	60
6.2 基本操作	63
6.3 初期管理者の設定	66
6.3.1. NEXT パスワードの変更	66
6.3.2. 管理者アカウントの追加	66
6.4 バージョンの確認	67
6.4.1. NEXT チームサーバーのバージョンの確認	67
6.4.2. NEXT クライアントのバージョンの確認	67
6.4.3. NEXT クライアントの展開後のバージョンの確認	67
6.5 プラグイン情報	68
6.6 通知	70
6.6.1. メールアイコンの通知	70
7. コントロール設定	72
7.1 アプリケーション設定	72
7.1.1. アプリケーション情報	73
7.1.2. システム設定	74
7.1.3. ライセンス管理	76
8. クライアント一覧	86
8.1 概要	86

8.2	NEXT クライアントの閲覧.....	88
8.3	NEXT クライアントの検索.....	89
8.4	NEXT クライアントのアップデート状況の確認	91
9.	クライアント設定	95
9.1	概要	95
9.1.1.	クライアント設定のNEXT クライアントインストール時の取り込み	95
9.1.2.	複数のクライアント設定.....	96
9.1.3.	クライアント設定の変更の反映	97
9.2	クライアント情報の設定.....	100
9.2.1.	基本設定	100
9.2.2.	利用する認証方式	104
9.3	クライアント設定の作成/編集/削除	111
9.3.1.	クライアント設定の個別作成	112
9.3.2.	クライアント設定の用途別作成	114
9.3.3.	クライアント設定の編集.....	116
9.3.4.	クライアント設定の削除.....	117
9.4	クライアント設定のダウンロード.....	119
10.	ポリシー設定	120
10.1	概要	120
10.1.1.	共通	121
10.1.2.	NEXT クライアント.....	123
10.1.3.	NEXT サーバー	123
10.2	ポリシー設定の編集.....	124

11. NEXT ユーザー管理	125
11.1 概要	125
11.2 NEXT ユーザー情報の設定.....	128
11.2.1. 基本設定	128
11.2.2. Windows アカウント.....	130
11.3 NEXT ユーザーの管理	133
11.3.1. NEXT ユーザーの作成.....	133
11.3.2. NEXT ユーザーの編集.....	134
11.3.3. NEXT ユーザーの削除.....	135
11.3.4. NEXT ユーザーの検索.....	136
11.3.5. NEXT ユーザーのロックアウトの解除	138
11.3.6. NEXT ユーザーのロール設定	140
11.4 IC カードマスタ管理.....	143
11.4.1. 対応している IC カードのシリアル情報	144
11.4.2. IC カードの登録	145
11.4.3. IC カードの編集	146
11.4.4. IC カードの削除	146
11.5 顔認証マスタ管理	148
11.5.1. 顔情報の登録.....	150
11.5.2. 顔情報のオプションの設定.....	152
11.5.3. 顔情報の削除.....	155
11.5.4. 顔情報の自動更新	156
11.6 NEXT 緊急パスワードの発行.....	157

11.7	ワンタイムパスワード	159
11.7.1.	対応しているスマートフォンの Authenticator アプリ	161
11.7.2.	ワンタイムパスワードシークレットの発行	162
11.7.3.	ワンタイムパスワードシークレットのリセット	163
12.	ログ管理	166
13.	バックアップ	167
13.1	概要	167
13.2	NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルをバックアップする	168
13.2.1.	バックアップ用バッチファイルを作成	168
13.2.2.	バッチファイルをタスクスケジューラに登録	171
13.2.3.	バックアップ用タスクスケジューラの動作確認	177
13.3	NEXT ログ DB ファイルをバックアップする	179
13.3.1.	バックアップ用バッチファイルを作成	179
13.3.2.	バッチファイルをタスクスケジューラに登録	181
13.3.3.	バックアップ用タスクスケジューラの動作確認	188
14.	リストア	190
14.1	概要	190
14.2	NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルをリストアする	191
14.2.1.	現在の NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB をバックアップ	191
14.2.2.	IIS の停止	194
14.2.3.	タスクスケジューラの無効化	196
14.2.4.	NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB のリストア用バッチファイルを作成	199
14.2.5.	NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルをリストア	201

14.2.6. IIS の開始	202
14.2.7. タスクスケジューラの有効化	204
14.3 NEXT ログ DB ファイルをリストアする	207
14.3.1. 現在の NEXT ログ DB ファイルをバックアップ	207
14.3.2. IIS の停止	210
14.3.3. タスクスケジューラの有効化	210
14.3.4. NEXT ログ DB ファイルのリストア用バッチファイルを作成	211
14.3.5. NEXT ログ DB ファイルをリストア	213
14.3.6. IIS の開始	214
14.3.7. タスクスケジューラの有効化	214
付録	215
アンインストール方法	215
NEXT チームサーバー	215
インストーラーのエラーメッセージ	218
NEXT サーバーインストーラー チーム版	218
IC カードを忘れた/紛失した、カメラを忘れた/壊れてしまった	223
NEXT 緊急パスワードを発行する	223
NEXT 緊急パスワードを利用して Windows へサインインする	223
NEXT ユーザーのロックアウト	224
NEXT マネージャーの Web サイト再起動	225
NEXT ユーザーの状態と NEXT 認証の可否	227
NEXT 緊急パスワードの発行	227
NEXT マネージャーへの NEXT パスワードでのサインイン	227

NEXT マネージャーへのワンタイムパスワードでのサインイン	228
NEXT ユーザーの状態ごとの復帰.....	229
NEXT パスワードの変更	231

1. 本書について

株式会社両備システムズ 認証セキュリティ製品「ARCACLAVIS NEXT」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ARCACLAVIS NEXT（アルカクラヴィス ネクスト、以下、NEXT）は、パスワードによる認証にICカード認証や生体認証、ワンタイムパスワード認証などを組み合わせた二要素認証により、多くの情報を扱うコンピュータ利用時の確実な本人認証を実現し、なりすまし、不正行為、情報漏えいを防ぐための認証強化を行うことができるセキュリティ製品です。

本書は、NEXT チームサーバーについて説明するガイドです。

1.1. 本書の表記

本書は、以下に示す表記、記号、四角囲い付きスタイルで記載しています。

表記例	説明
<OK>、<キャンセル>、<次へ>、<適用>	ボタン名は、“<>”で囲んで表しています。
[ファイル]-[開く]	メニューのコマンドの選択順を表しています。
「ダイアログ名」、「入力値」、「画面名」、「ファイル名」	“ ”で囲んでいる箇所は、ダイアログ名や入力値などを表しています。
チェックする、チェックしない、チェックをはずす、オンする、オフする	チェックボックスなどを選択する/選択しない、ON/OFF することを表しています。
[Ctrl]キー	キーは、“[]”で囲んで表しています。
[Ctrl]+[Alt]+[Del]キー	“+”で連結しているキー表記は、同時に複数のキーを押すことを表しています。
※	注釈を表しています。補足説明、コメントを記載しています。
サインイン/サインアウト	「サインイン/サインアウト」「ログオン/ログオフ」の操作、機能名称は「サインイン/サインアウト」を使用して記載しています。



ご利用にあたり、注意いただきたい事項について説明します。



補足的な情報について説明します。

1.2. 用語

ARCACLAVIS NEXT の用語については、「ARCACLAVIS NEXT 用語集」を参照してください。

2. 関連するマニュアル

本書以外にチーム版のご利用にあたり、参照すべきマニュアルを一部、抜粋します。

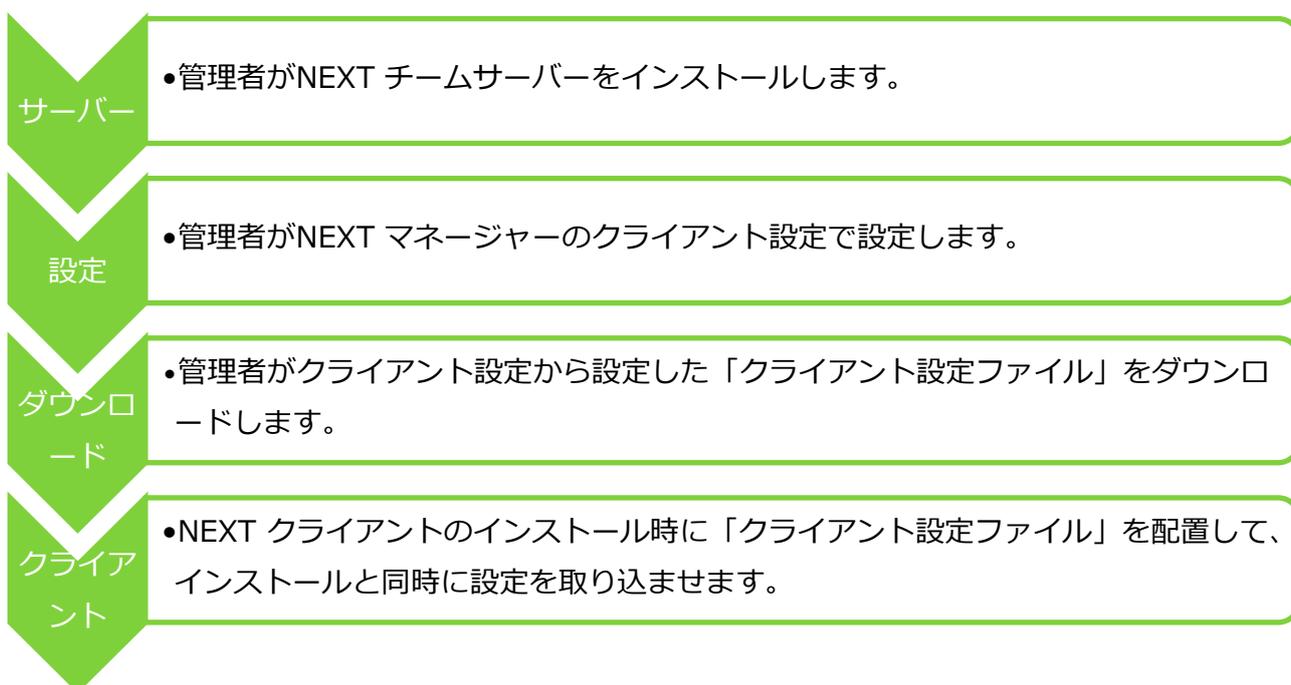
内容	マニュアル
注意事項や制約事項について	ARCACLAVIS NEXT リリースノート
用語について	ARCACLAVIS NEXT 用語集
チーム版について	ARCACLAVIS NEXT エディションガイド
動作環境について	ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧
NEXT マネージャーについて	ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド
NEXT クライアントについて	ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド
ログについて	ARCACLAVIS NEXT ログ出力内容一覧
トラブルシューティングについて	ARCACLAVIS NEXT トラブルシューティングガイド

3. 概要

この章では、ARCACLAVIS NEXT システムおよびNEXT マネージャーの概要について説明します。

3.1 システム構築手順

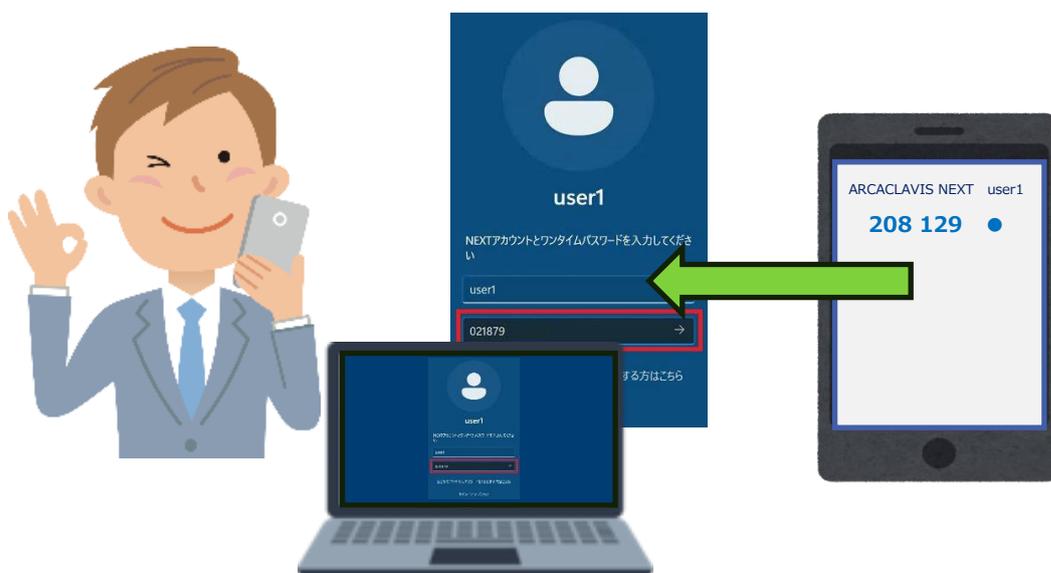
NEXT チームサーバーのシステム構築は、以下の手順で行ってください。



Info NEXT クライアントのインストール手順については、「ARCACLAVIS NEXT セットアップガイド」を参照してください。

3.2 ワンタイムパスワード認証の概要

ARCACLAVIS NEXT では、スマートフォンの Authenticator アプリを利用した 6 桁の数字によるワンタイムパスワード認証を利用できます。



ARCACLAVIS NEXT のワンタイムパスワード認証を利用するうえでの主なフローは以下の通りです。

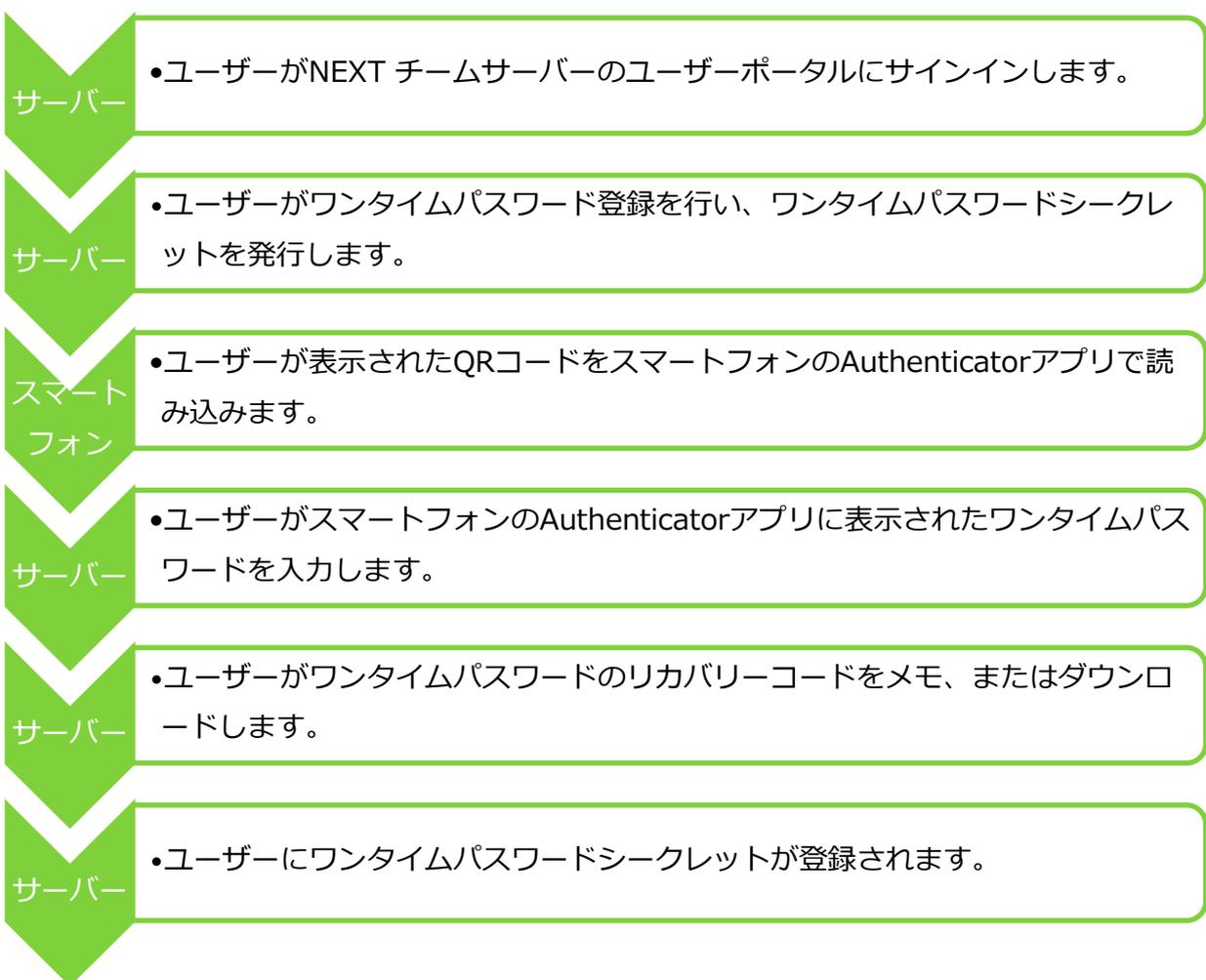
フロー	説明
ワンタイムパスワードシークレットの発行	ワンタイムパスワード認証を利用するうえでの事前準備として、ユーザーがワンタイムパスワードシークレットの発行を行います。
ワンタイムパスワード認証	ユーザーがワンタイムパスワードシークレットの発行を行うと、以下の機能を使用することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ワンタイムパスワード認証による NEXT クライアントへのサインイン ワンタイムパスワード認証による NEXT マネージャーへの二段階認証
ワンタイムパスワードシークレットのリセット	ワンタイムパスワードシークレットを発行したスマートフォンを故障／紛失し、これまで利用していたスマートフォンを利用ができなくなった場合、ワンタイムパスワードシークレットを一度リセットし、再度ワンタイムパスワードシークレットを発行します。

3.2.1. ワンタイムパスワードシークレットの発行

ワンタイムパスワードシークレットの発行は、NEXT チームサーバーのユーザーポータル、またはNEXT クライアントで行うことができます。

Info NEXT チームサーバーの管理者ポータルでは、ワンタイムパスワードシークレットを発行することはできません。

1. NEXT チームサーバーのユーザーポータルでワンタイムパスワードシークレットを発行する場合は、以下の手順で行ってください。



Info NEXT チームサーバーのユーザーポータルでワンタイムパスワードシークレットを発行する手順については、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

2. NEXT クライアントでワンタイムパスワードシークレットを発行する場合は、以下の手順で行ってください。

クライアント

•ユーザーがNEXT クライアントのサインイン画面からワンタイムパスワード認証を選択します。

クライアント

•ユーザーがワンタイムパスワード登録を行い、ワンタイムパスワードシークレットを発行します。

スマートフォン

•ユーザーが表示されたQRコードをスマートフォンのAuthenticatorアプリで読み込みます。

クライアント

•ユーザーがスマートフォンのAuthenticatorアプリに表示されたワンタイムパスワードを入力します。

クライアント

•ユーザーがワンタイムパスワードのリカバリーコードをメモします。

クライアント

•ユーザーにワンタイムパスワードシークレットが登録されます。

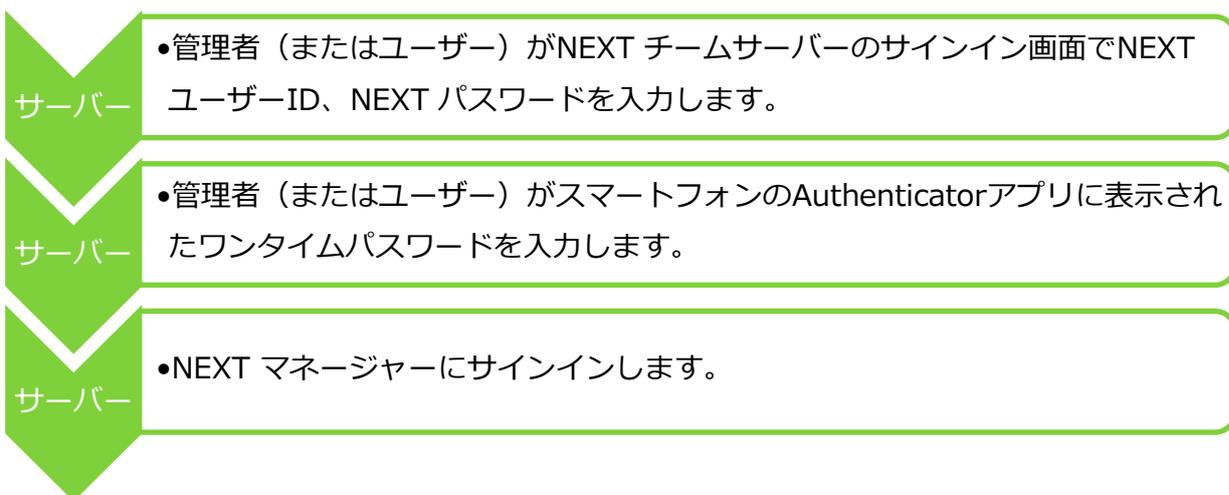
Info

NEXT クライアントでワンタイムパスワードシークレットを発行する手順については、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

3.2.2. ワンタイムパスワード認証

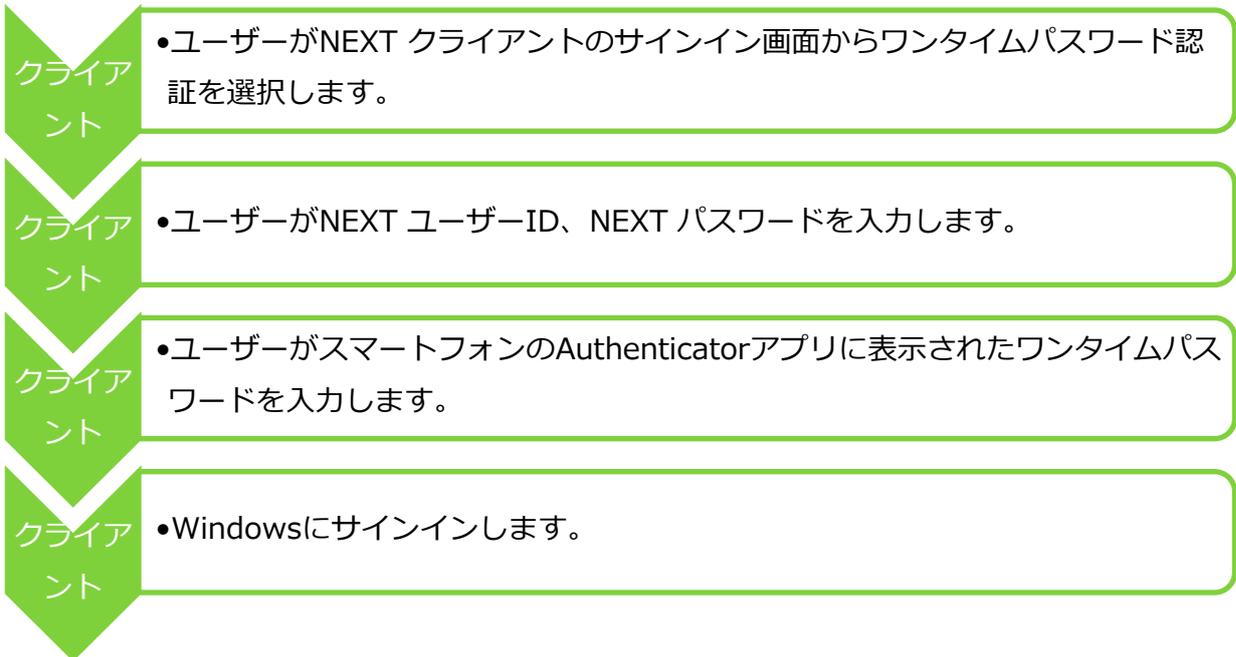
ワンタイムパスワード認証は、NEXT チームサーバー、およびNEXT クライアントで行います。ワンタイムパスワード認証を行う場合は、ワンタイムパスワードシークレットが発行済である必要があります。

1. NEXT チームサーバーでワンタイムパスワード認証を行う場合は、以下の手順で行ってください。



Info NEXT チームサーバーの管理者ポータルでワンタイムパスワード認証を行う手順については「5.1.2. ワンタイムパスワード認証でのサインイン」を、ユーザーポータルでワンタイムパスワード認証を行う手順については「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

2. NEXT クライアントでワンタイムパスワード認証を行う場合は、以下の手順で行ってください。



Info NEXT クライアントでワンタイムパスワード認証を行う手順については、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

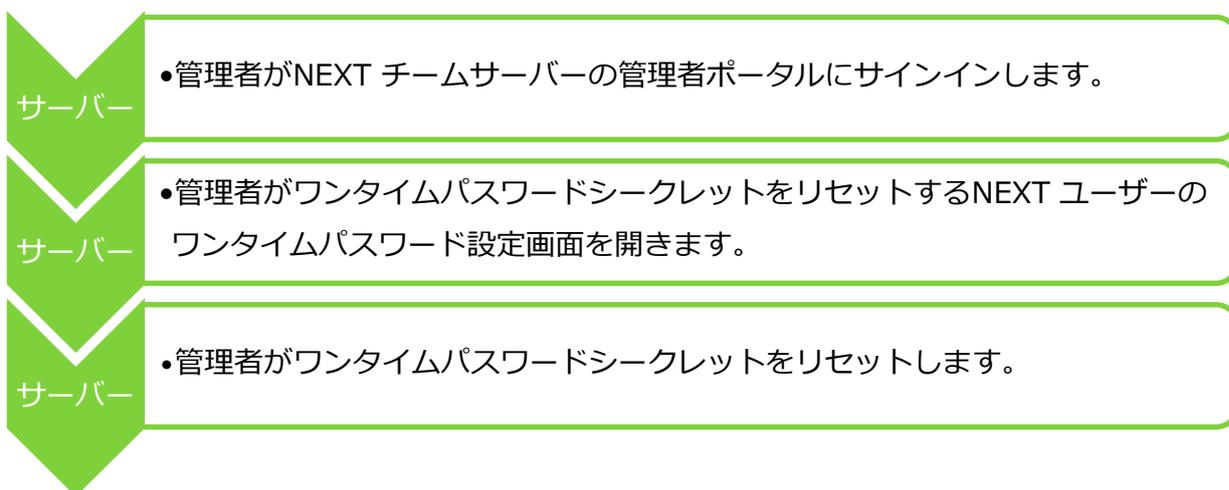
3.2.3. ワンタイムパスワードシークレットのリセット

ユーザーのワンタイムパスワード認証を解除する場合、またはワンタイムパスワードシークレットを発行したスマートフォンが故障／紛失した場合に、リカバリーコードを使用してワンタイムパスワードシークレットのリセットを行う必要があります。

ワンタイムパスワードシークレットのリセットは、NEXT チームサーバーで行います。

対応者および手段		ワンタイムパスワードシークレットを発行したスマートフォンの利用が不可（故障／紛失など）	
		ユーザーはリカバリーコードの利用が可能	ユーザーはリカバリーコードの利用が不可（紛失など）
管理者	管理者ポータルで対象ユーザーのワンタイムパスワードシークレットをリセットする	○	○
ユーザー	ユーザーポータルにリカバリーコードを使用してサインインし、ワンタイムパスワードシークレットをリセットする	○	×

1. NEXT チームサーバーの管理者ポータルでワンタイムパスワードシークレットをリセットする場合は、以下の手順で行ってください。



Info NEXT チームサーバーの管理者ポータルでワンタイムパスワードシークレットをリセットする手順については、「11.7.3. ワンタイムパスワードシークレットのリセット」を参照してください。

2. NEXT チームサーバーでリカバリーコードを使用してワンタイムパスワードシークレットをリセットする場合は、以下の手順で行ってください。

サーバー

•管理者（またはユーザー）がNEXT チームサーバーのサインイン画面でNEXT ユーザーID、NEXT パスワードを入力します。

サーバー

•管理者（またはユーザー）がワンタイムパスワードシークレットのリカバリーコードを入力します。

サーバー

•管理者がワンタイムパスワードシークレットをリセットして、NEXT マネージャーにサインインします。

Info

NEXT チームサーバーでリカバリーコードを使用してワンタイムパスワードシークレットをリセットする手順については、「ARCACLAVIS NEXT トラブルシューティングガイド」を参照してください。

4. インストールする

4.1 システム構成

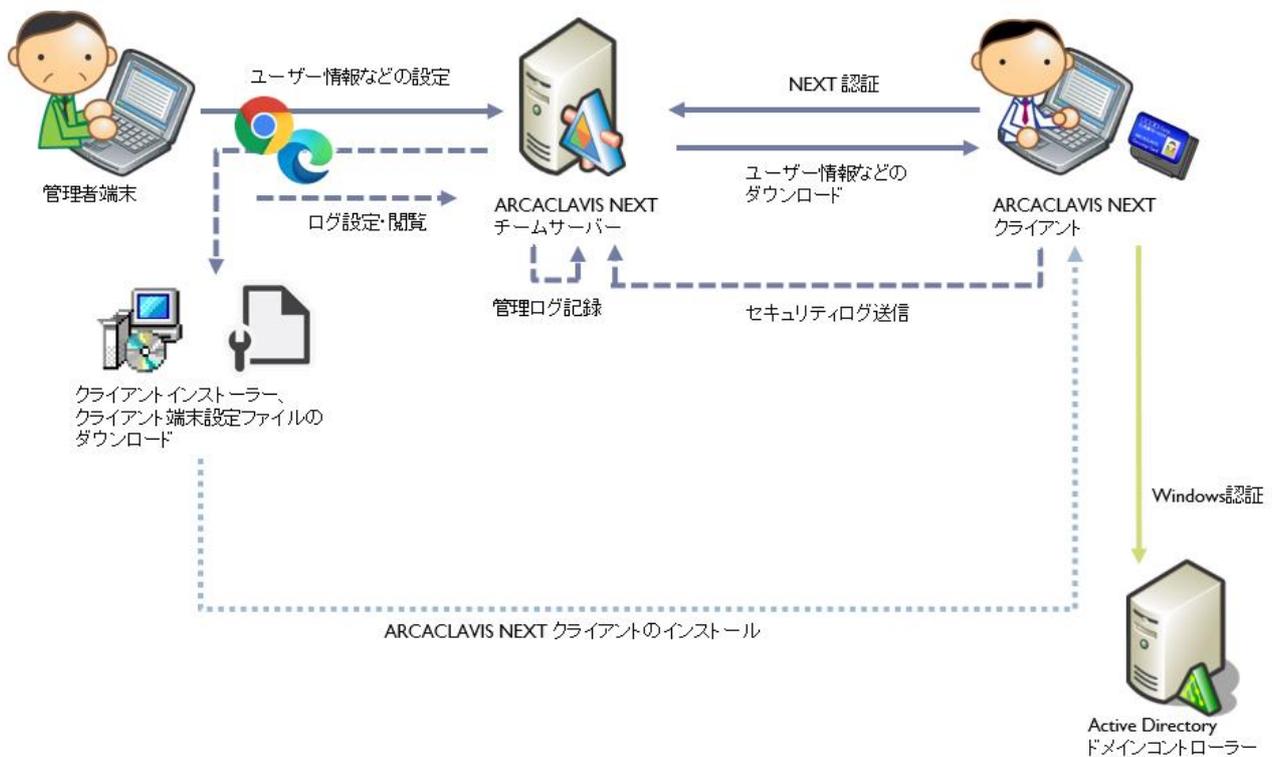
NEXT チームサーバーのシステムの構成例を説明します。

・NEXT チームサーバーの1台構成

Web サーバーとデータベースをサーバー1台で構築します。

構成は「NEXT オールインワンサーバーの1台構成」と同一となりますが、NEXT サーバーの一部機能が制限されています。

30日のライセンス形態であり、ライセンスが切れるとほとんどの機能が使用できなくなります



4.2 NEXT チームサーバー

4.2.1. インストールされるミドルウェア

- NEXT チームサーバーをインストールすると以下のミドルウェアが同時にインストールされます。

インストールされるミドルウェア
Microsoft .NET 8.0.3 - Windows Server Hosting
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x64)
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x86)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x64)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x86)
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810
Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86) - 14.25.28508
Microsoft Internet Information Server (以下、IIS)
PostgreSQL 13
RS OLFACE 2.0.1.0

- NEXT チームサーバーをインストールすると以下の設定が行われます。

インストール時に設定されるもの
IIS 用 SSL サーバー証明書
IIS 管理コンソールの有効化
IIS NEXT チームサーバーの Web サイトの作成
ログ管理用タスクスケジューラの作成

Info IIS の設定により、900MB 以下のコンテンツファイルをアップロードできます。



900MB より大きいサイズのコンテンツファイルはアップロードできません。

4.2.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする

NEXT マネージャーで、ユーザーの顔画像ファイルから顔情報を登録できるようにするため、NEXT チームサーバー用コンピューターに、顔認証用のランタイム「RS OLFACE」をインストールします。

NEXT チームサーバーをインストールすると RS OLFACE はインストールされるため、別途インストールする必要はありません。

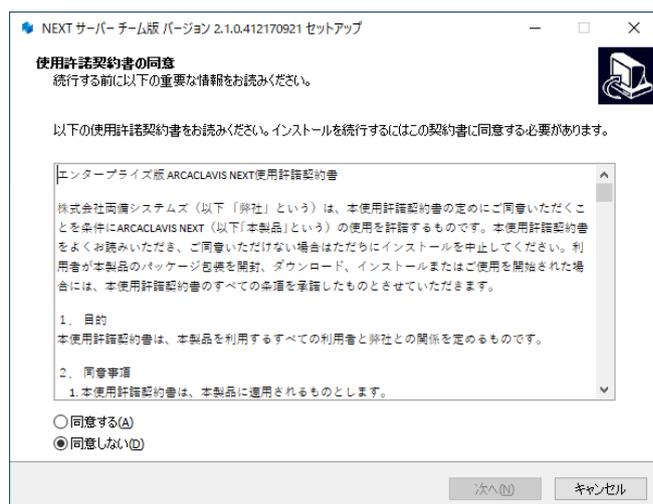
4.2.3. NEXT チームサーバーをインストールする

NEXT チームサーバーのインストールは、以下の手順で行います。

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT サーバーインストーラー チーム版「SetupNEXTTeamServer<バージョン>.exe」をNEXT チームサーバー用コンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTTeamServer<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

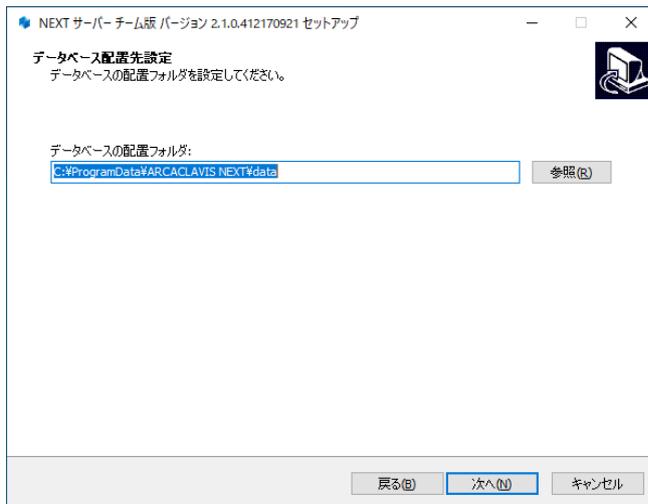


5. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

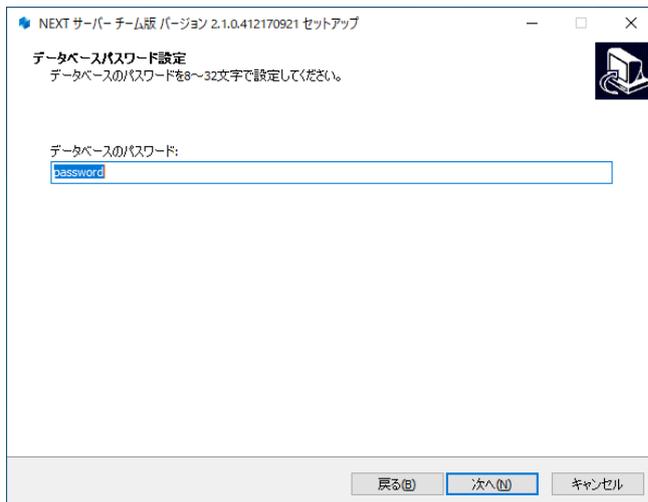


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

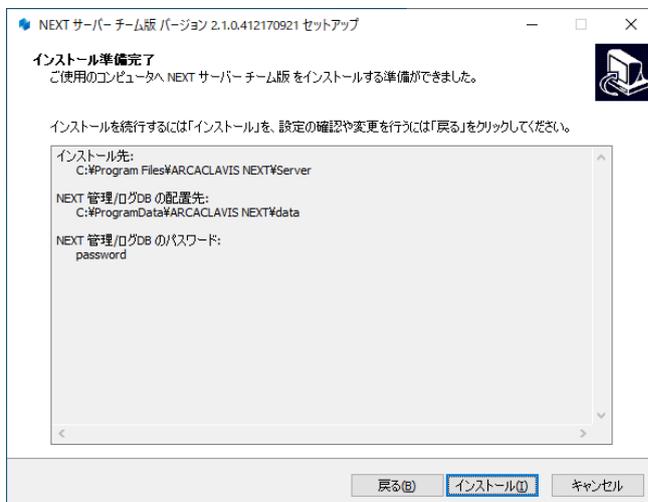
6. 下図が表示されます。データベースの配置先を指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



7. 下図が表示されます。データベースのパスワードを指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



8. 下図が表示されます。設定内容を確認し、問題なければ<インストール>ボタンをクリックしてください。



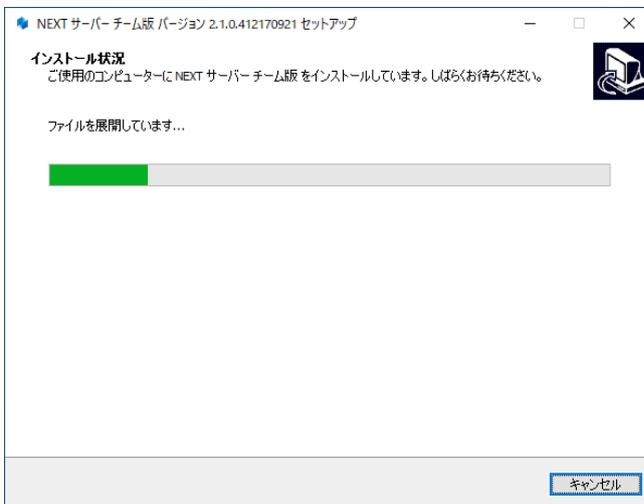
9. 下図が表示されます。インストール中に IIS (インターネットインフォメーションサーバー) の設定を行うため、IIS の動作を確認する画面です。<はい>ボタンをクリックしてください。



製品のインストールには、IIS の停止が必要になります。

業務時間でのシステム停止を避けたい場合は、<いいえ>ボタンを押してください。

10. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。

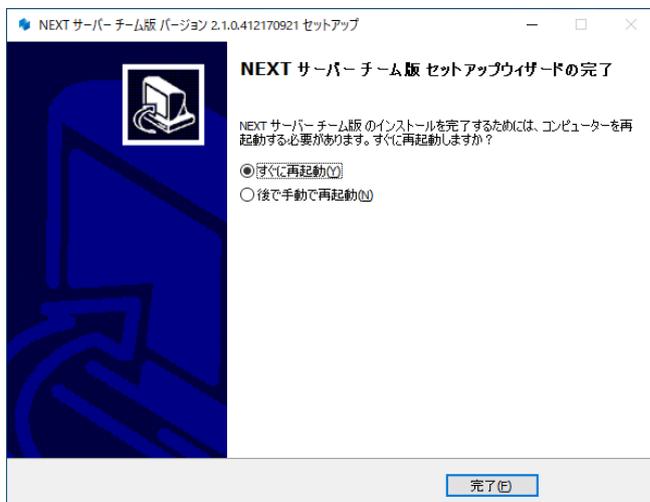


Info PostgreSQL のインストールに少し時間が必要になります。インストールが開始されるまでしばらくお待ちください。

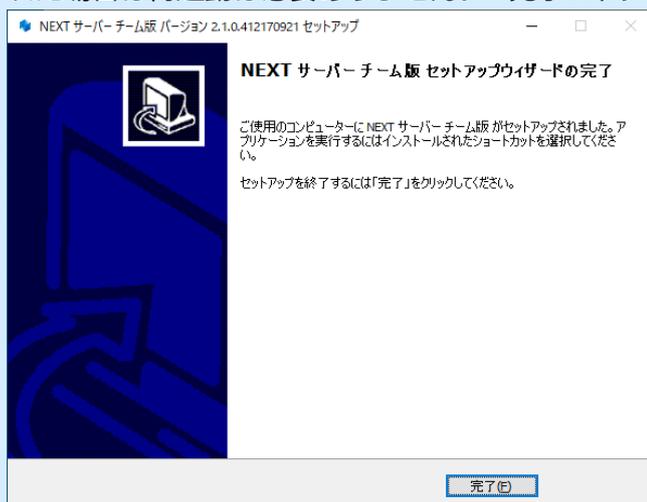
Info NEXT サーバーインストーラー チーム版に同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」より古いバージョンがインストールされている場合は、「.NET Core Hosting Bundle」は自動でアップデートされます。

NEXT サーバーインストーラー チーム版に同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」と同じバージョン、または新しいバージョンがインストールされている場合であっても、「.NET Core Hosting Bundle」が正常にインストールされていない場合は、IIS NEXT チームサーバーの Web サイトにアクセスできない状態になります。インストール済みの「.NET Core Hosting Bundle」をアンインストールしてコンピューターを再起動した後、改めて NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。

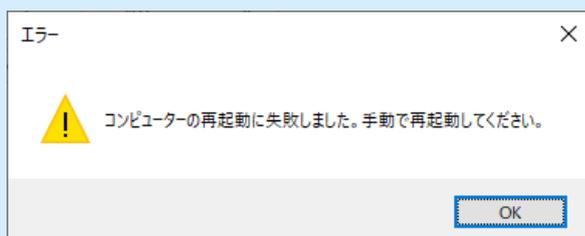
11. 下図が表示されます。初回インストールの完了には再起動が必要です。<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックして再起動してください。



Info 初回以外の上書きインストールでは、以下の画面が表示されます。以下の画面が表示された場合は再起動は必要ありません。<完了>ボタンをクリックしてください。



Info <すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



4.2.4. NEXT チームサーバーをバージョンアップする

NEXT チームサーバーのバージョンアップは、以下の手順で行います。

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT チームサーバー用コンピューターの任意の場所にフォルダを作成してください。
※フォルダ名は任意とします。
3. 作成したフォルダに NEXT サーバーインストーラー チーム版「SetupNEXTTeamServer<バージョン>.exe」を配置してください。
4. 「SetupNEXTTeamServer<バージョン>.exe」を実行してください。
5. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

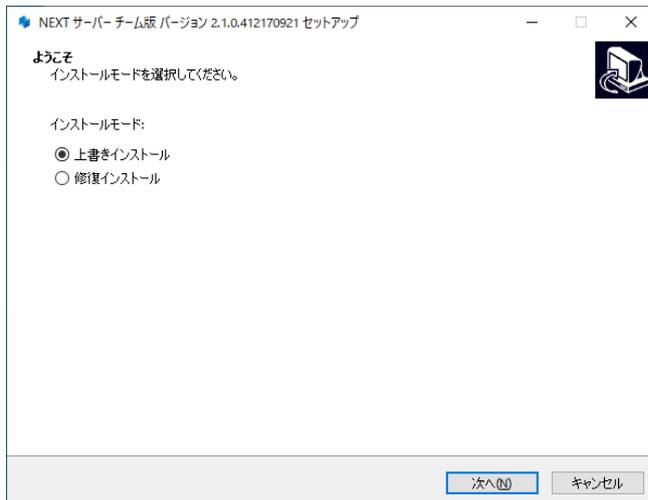


6. 下図が表示されます。「上書きインストール」、または「修復インストール」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

通常は、「上書きインストール」を選択してください。

「修復インストール」を選択した場合は、NEXT チームサーバーのモジュールが全て再インストールされます。

NEXT チームサーバーの動作が不安定になった場合は、「修復インストール」を選択してください。

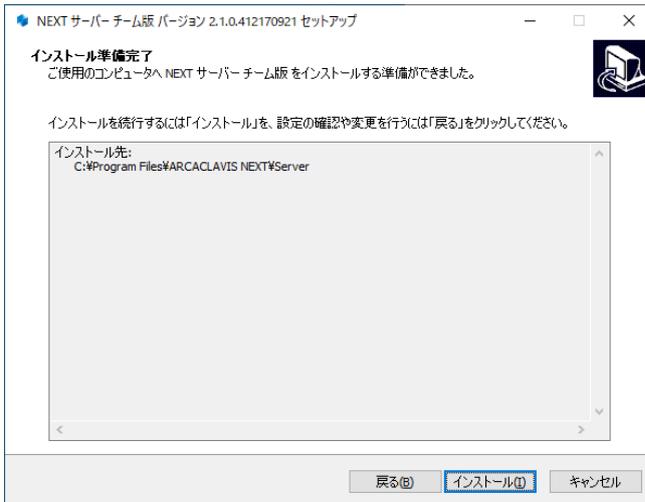


Info インストール済みの NEXT チームサーバーのバージョンと実行中の NEXT サーバーインストーラー チーム版のバージョンが異なる場合は、強制的にインストールモードが選択され、本画面が表示されない場合があります。

例として、以下のような状態が発生した場合、インストールモードの選択画面は表示されません。

- ・「Microsoft .NET Runtime」のメジャーバージョンアップが発生した場合
- ・製品のバージョンアップ時に不要なモジュールが残存する状態が発生した場合

7. 下図が表示されます。設定内容を確認し、問題なければ<インストール>ボタンをクリックしてください。



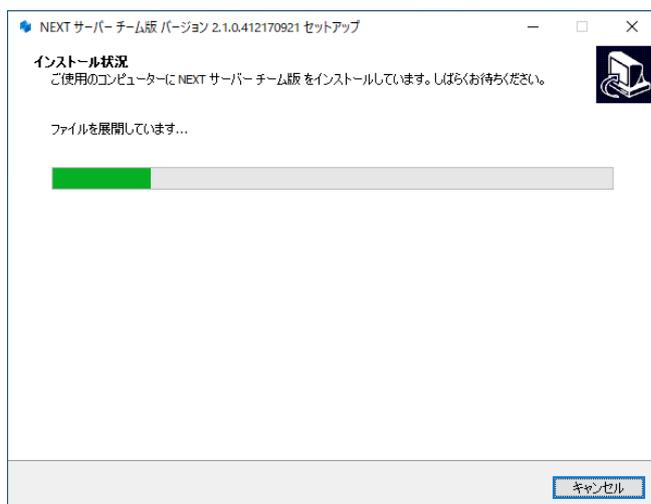
Info NEXT 管理/ログ DB のパスワード等は、初回インストール時のみ設定できます。再度、設定したい場合は、一度、NEXT チームサーバーと PostgreSQL をアンインストール後に再度インストールしてください。

8. 下図が表示されます。インストール中に IIS (インターネットインフォメーションサーバー) の設定を行うため、IIS の動作を確認する画面です。<はい>ボタンをクリックしてください。



! 製品のインストールには、IIS の停止が必要になります。
業務時間でのシステム停止を避けたい場合は、<いいえ>ボタンを押してください。

9. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。



Info NEXT サーバーインストーラー チーム版に同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」より古いバージョンがインストールされている場合は、「.NET Core Hosting Bundle」は自動でアップデートされます。

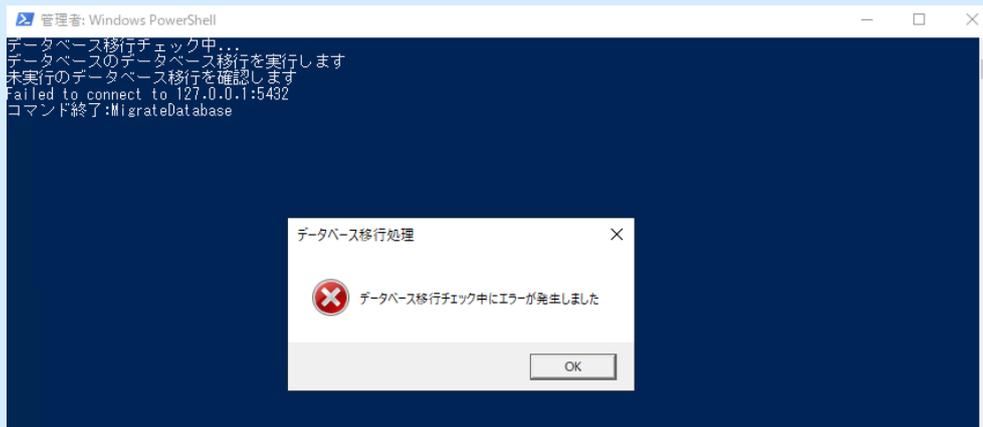
NEXT サーバーインストーラー チーム版に同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」と同じバージョン、または新しいバージョンがインストールされている場合であっても、「.NET Core Hosting Bundle」が正常にインストールされていない場合は、IIS NEXT チームサーバーの Web サイトにアクセスできない状態になります。インストール済みの「.NET Core Hosting Bundle」をアンインストールしてコンピューターを再起動した後、改めて NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。

10. データベース移行が必要な場合は、以下の画面が開きます。しばらくお待ちください。

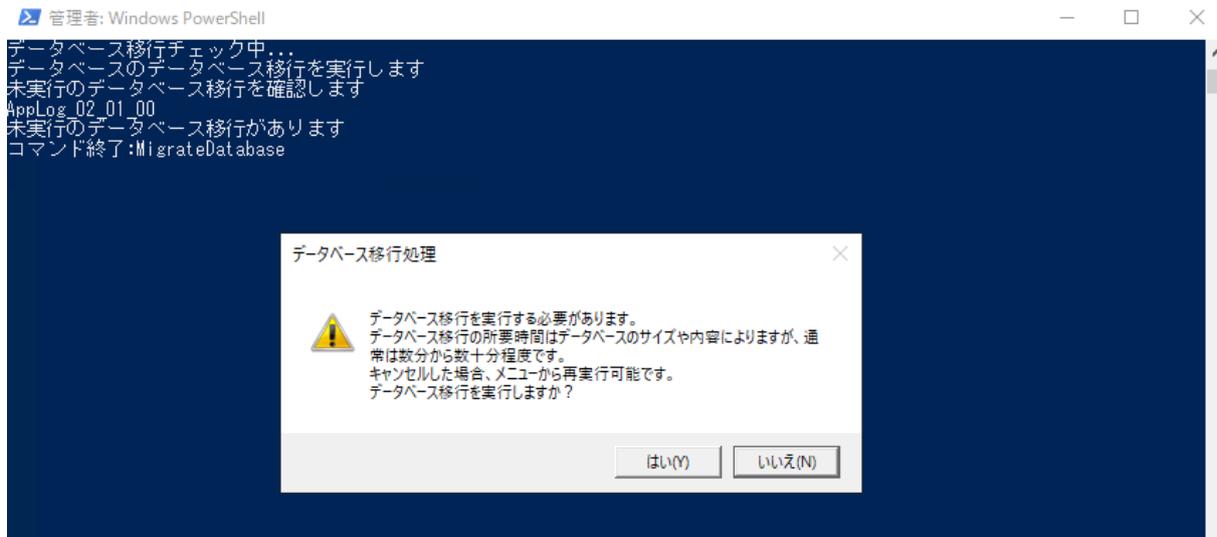


Info データベース移行が不要な場合は、Powershell ウィンドウは表示されません。手順 13 の<完了>ボタンをクリックしてバージョンアップは終了となります。

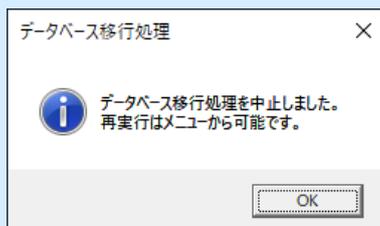
Info データベース移行のチェック中にエラーが発生した場合は、下図が表示され、エラーメッセージが表示されます。
エラー内容を確認して頂き、スタートメニューから再実行してください。
スタートメニューから再実行する場合は、「NEXT データベース移行」を参照してください。



11. データベース移行の準備が完了すると、下図が表示されます。<はい>ボタンをクリックしてデータベース移行を実行してください。



Info <いいえ>ボタンをクリックすると、データベース移行を中断します。



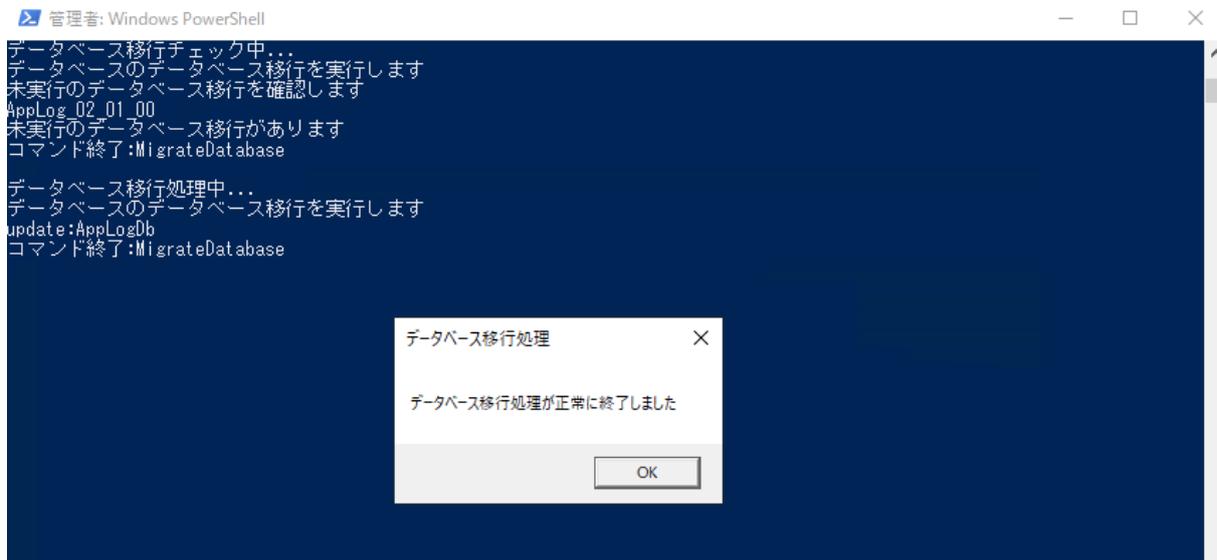
データベースに蓄積されたデータ量に応じて、データベース移行にかかる時間が長くなります。

移行中はNEXT チームサーバーの機能が利用できません。

都合の良い時間帯に移行を実行する場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてバージョンアップを完了し、その後でデータベース移行を行ってください。

後でデータベース移行を行う手順は、「NEXT データベース移行」を参照してください。

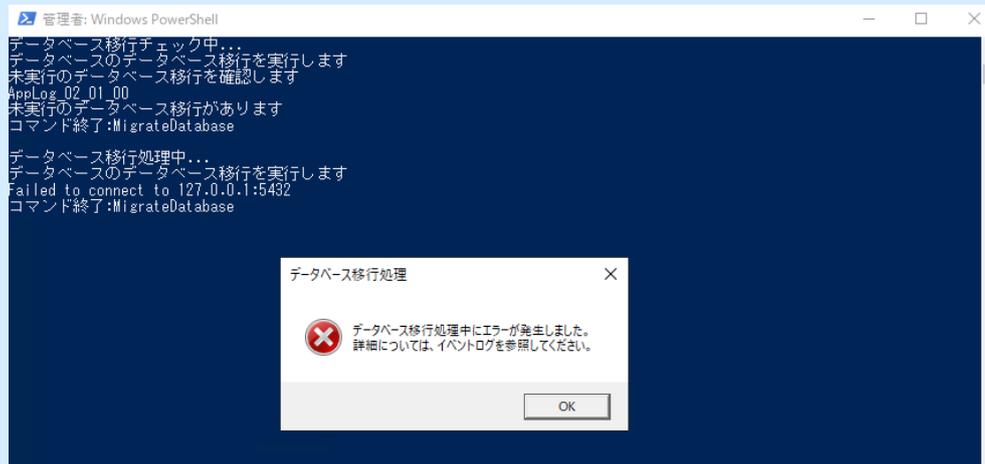
12. データベース移行が完了すると下図が表示されますので、<OK>ボタンをクリックしてください。



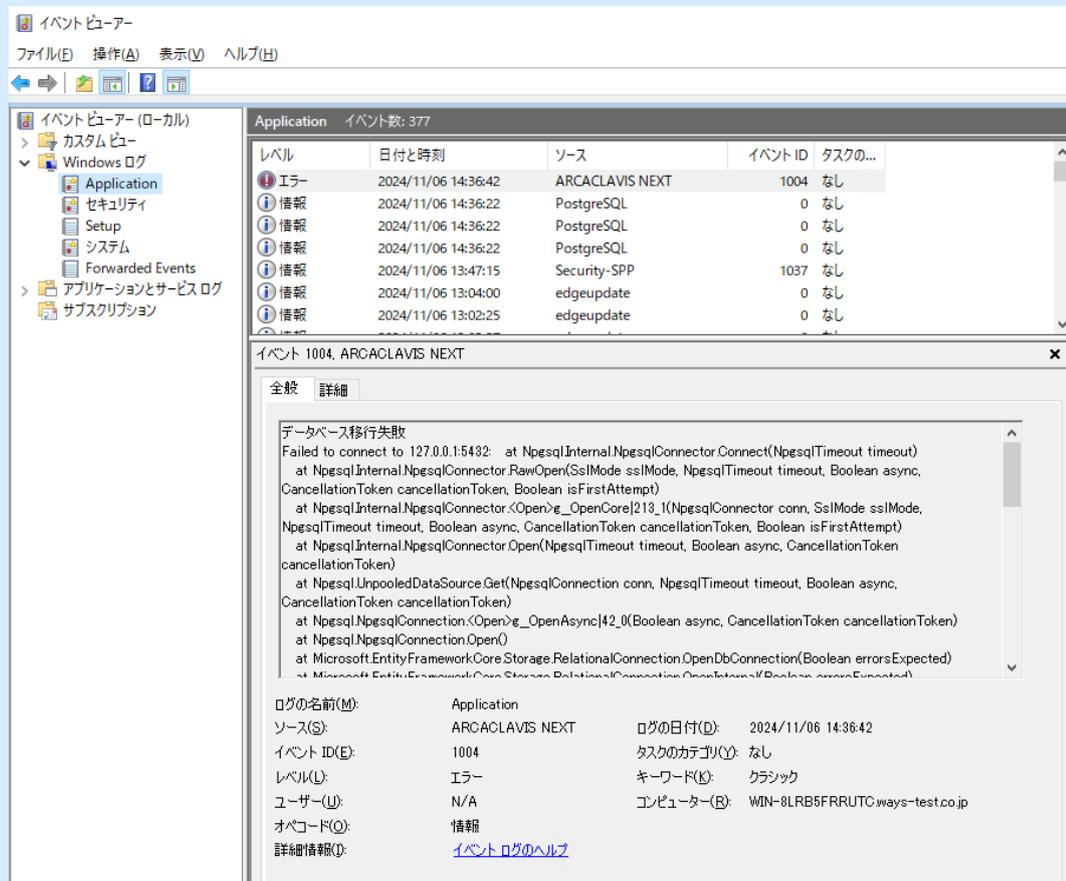
Info データベース移行の実行中にエラーが発生した場合は、下図が表示され、エラーメッセージが表示されます。

エラー内容を確認して頂き、スタートメニューから再実行してください。

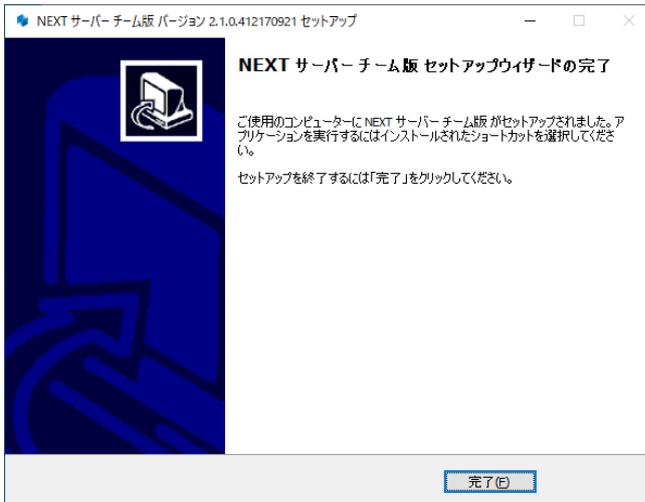
スタートメニューから再実行する場合は、「NEXT データベース移行」を参照してください。



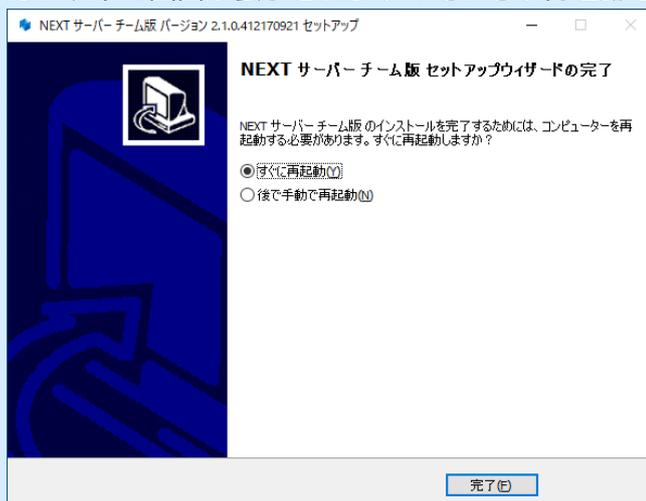
また、イベントログにもエラー内容が出力されます。



13. 下図が表示されます。<完了>ボタンをクリックしてください。

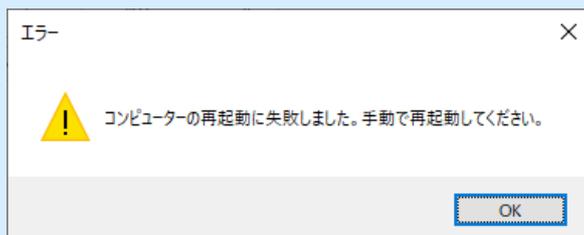


Info NEXT チームサーバーのバージョンアップ後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



手順 11 でデータベース移行処理を実行した場合は、手順 12 の完了ダイアログが表示されるまでは再起動を行わないようにしてください。

<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



4.2.5. スタートメニュー

NEXT チームサーバーをインストールすると、スタートメニューに「NEXT データベース移行」が追加されます。

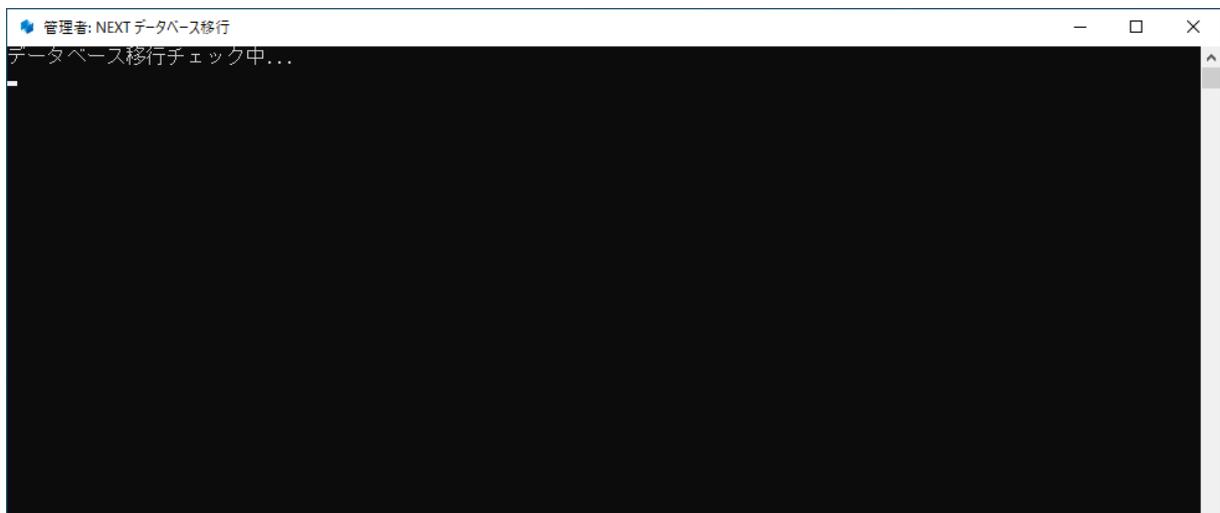
NEXT データベース移行

スタートメニューからデータベース移行を実行する場合は、以下の手順で行います。

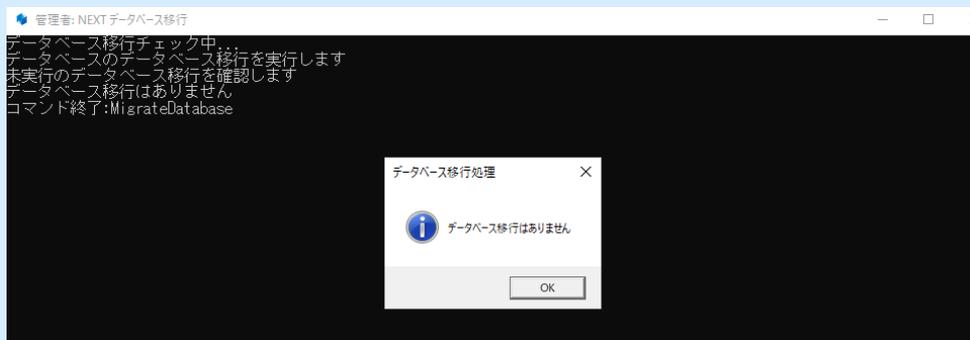
1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから「ARCACLAVIS NEXT」 - 「NEXT データベース移行」をクリックしてください。



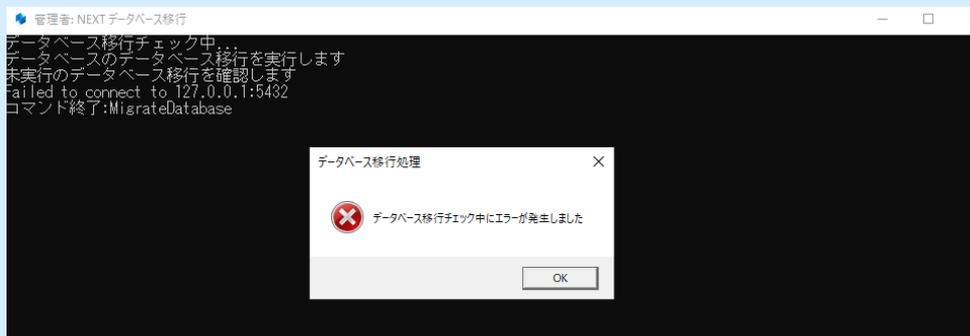
3. データベース移行が必要な状態かどうかチェックします。しばらくお待ちください。



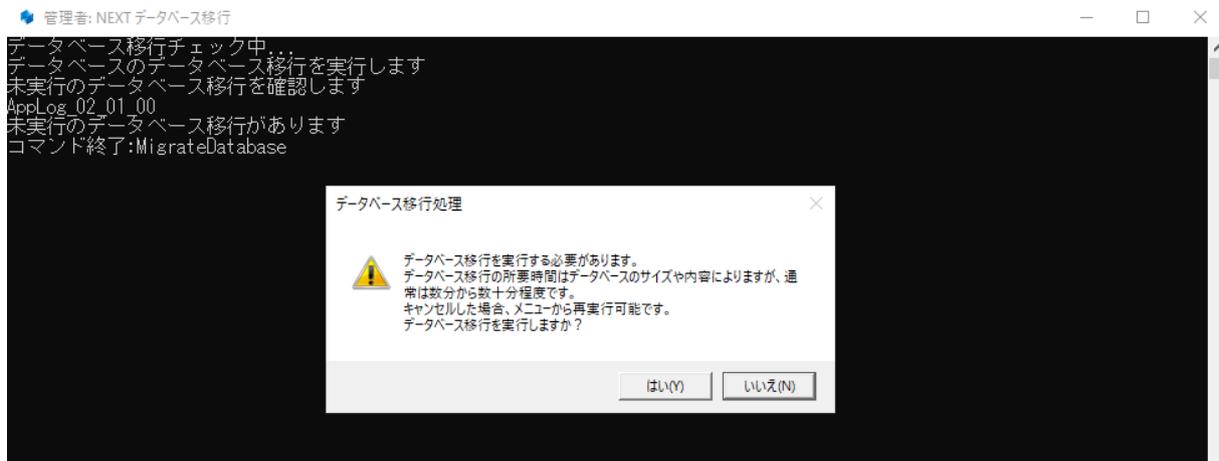
Info データベース移行が不要な場合は、下図が表示されます。



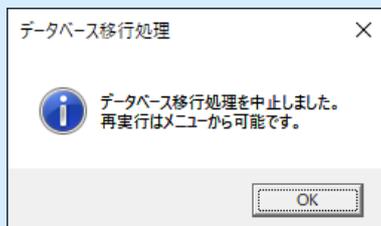
Info データベース移行のチェック中にエラーが発生した場合は、下図が表示され、エラーメッセージが表示されます。
エラー内容を確認して頂き、スタートメニューから再実行してください。



4. データベース移行が必要な場合は、下図が表示されます。<はい>ボタンをクリックしてデータベース移行を実行してください。



Info <いいえ>ボタンをクリックすると、データベース移行を中断します。

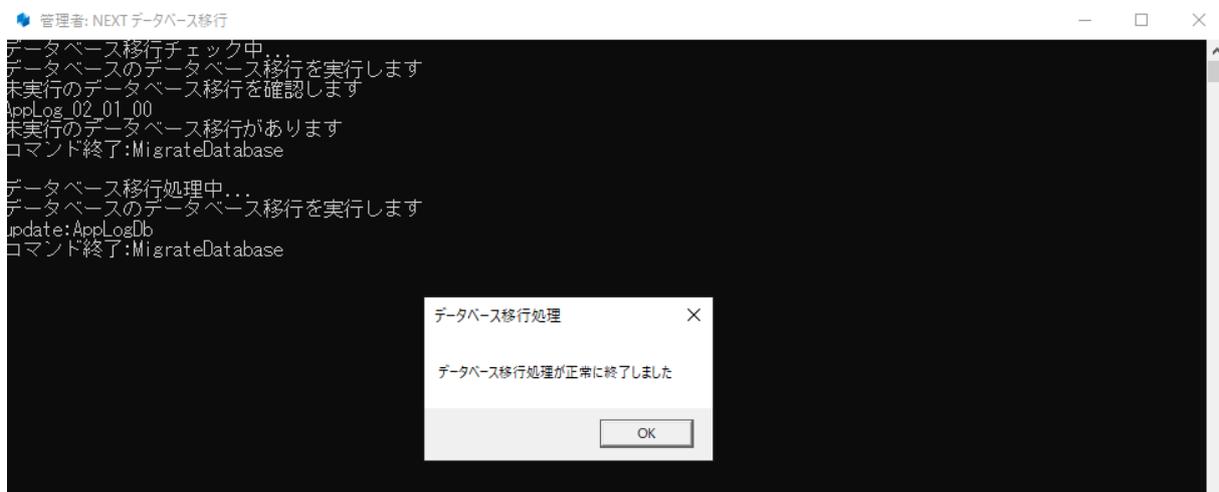


データベースに蓄積されたデータ量に応じて、データベース移行にかかる時間が長くなります。

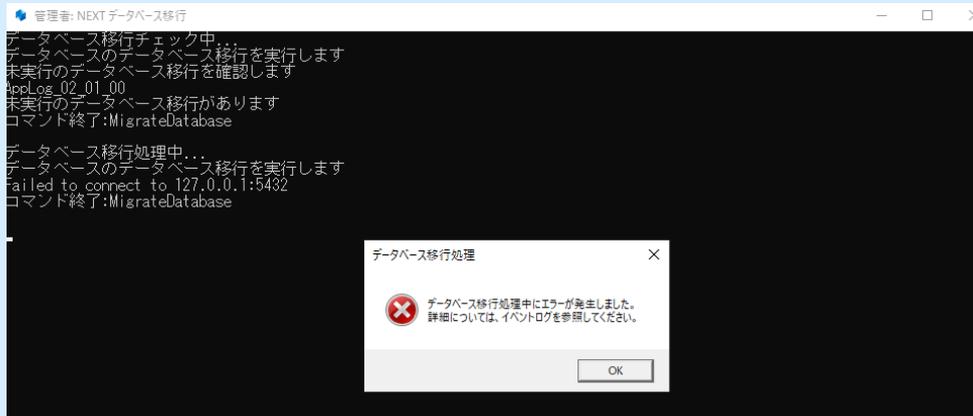
移行中はNEXT チームサーバーの機能が利用できません。

都合の良い時間帯に移行を実行する場合は、「いいえ」ボタンをクリックし、後で再度スタートメニューからデータベース移行を行ってください。

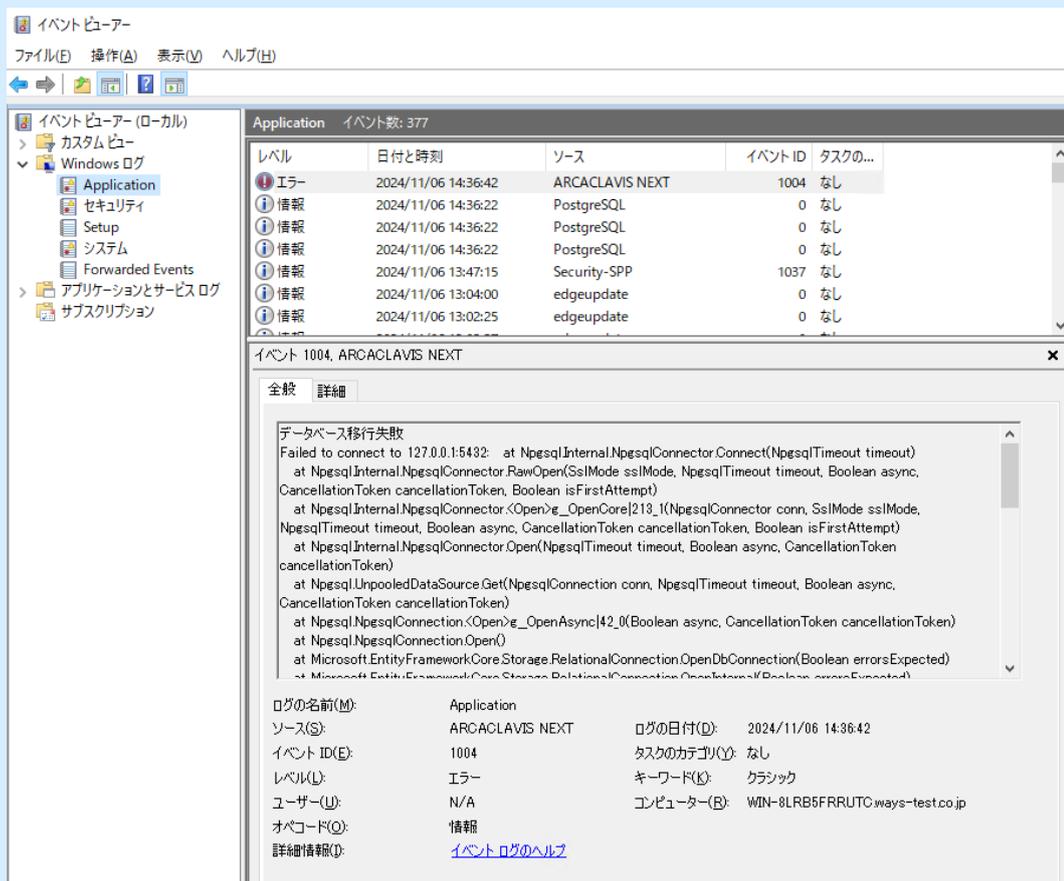
5. データベース移行が完了すると下図が表示されますので、<OK>ボタンをクリックしてください。



Info データベース移行の実行中にエラーが発生した場合は、下図が表示され、エラーメッセージが表示されます。



また、イベントログにもエラー内容が出力されます。



4.2.6. 証明書の設定をする

NEXT サーバーインストーラー チーム版でインストールした場合、NEXT チームサーバー用の自己証明書が適用されています。

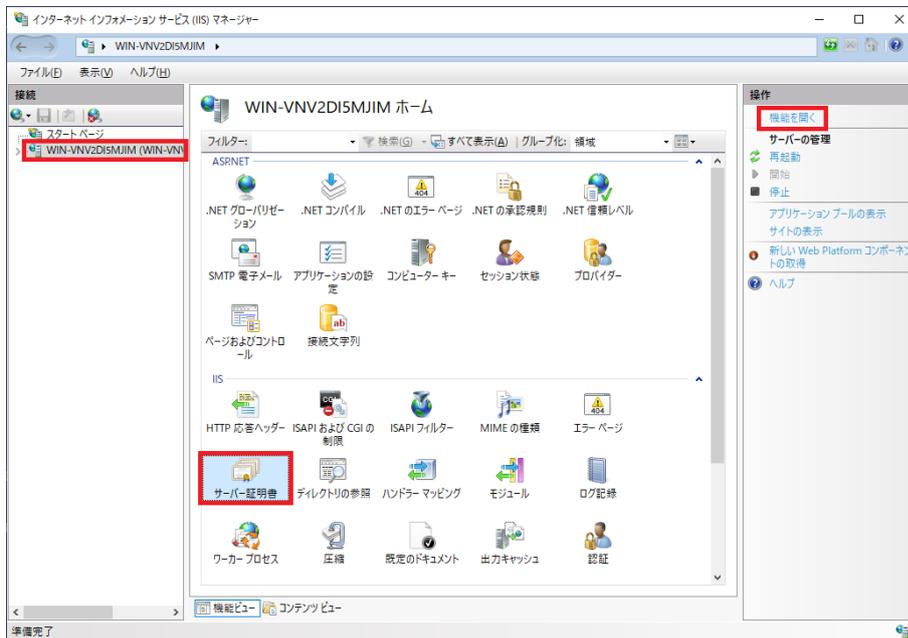
独自の認証機関より発行された証明書を設定する場合は以下の手順が必要です。

Info 証明書は拡張子「.pfx」のファイルです。
以下の手順では NEXTServerExample.pfx としています。

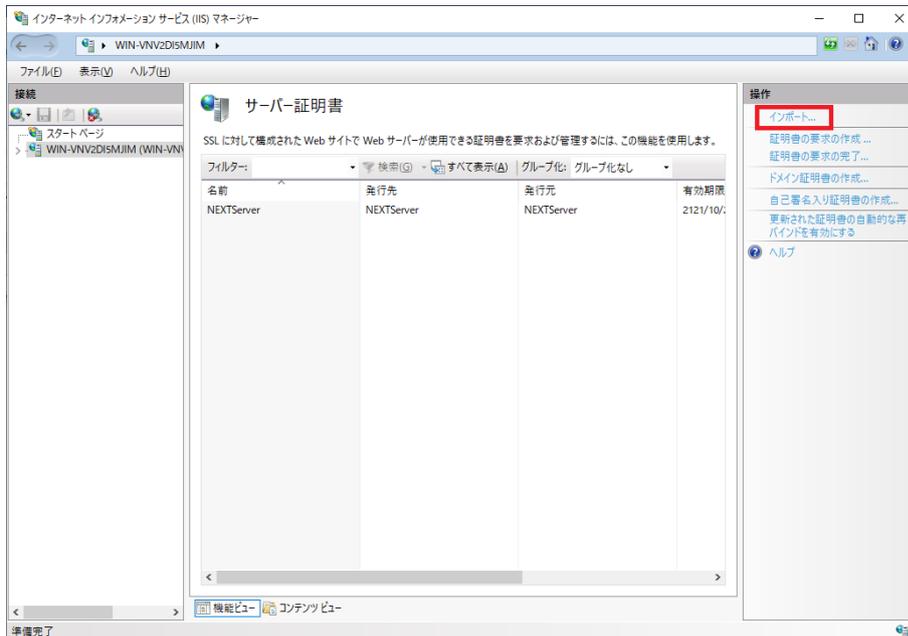
1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を選択して IIS マネージャーを開きます。



3. IIS マネージャーの「接続」ビューのコンピューター名をクリックし、「機能」ビューから「サーバー証明書」をクリックし、「操作」ウィンドウの「機能を開く」をクリックします。



4. 「サーバー証明書」画面が表示されます。「操作」ウィンドウから「インポート」をクリックします。



5. 「証明書のインポート」画面が表示されます。「証明書ファイル」に証明書のパスを、「パスワード」に証明書のパスワードを入力して<OK>ボタンをクリックします。

証明書のインポート

証明書ファイル (.pfx)(C):
C:\ServerPfx\NEXTServerExample.pfx

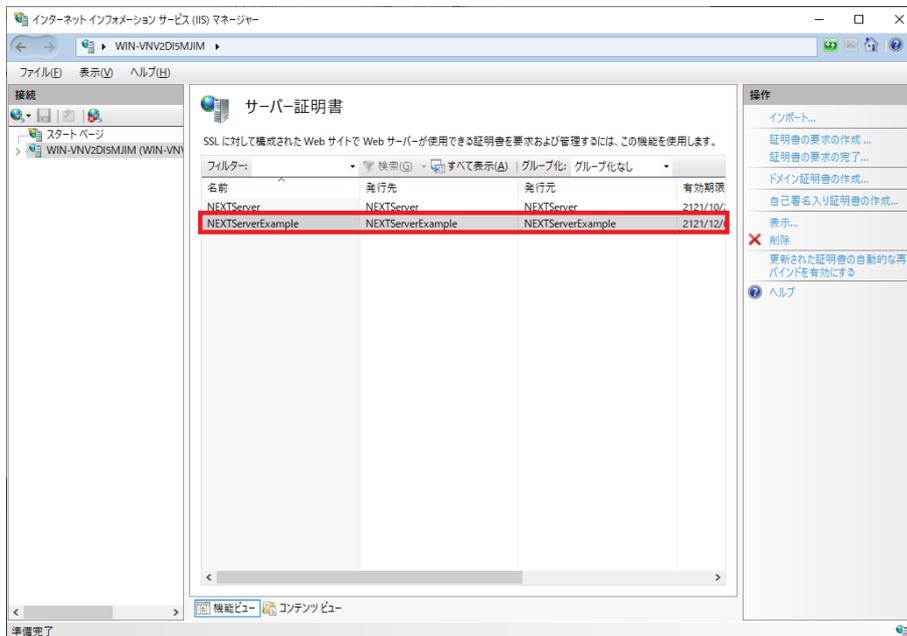
パスワード(P):

証明書ストアの選択(S):
個人

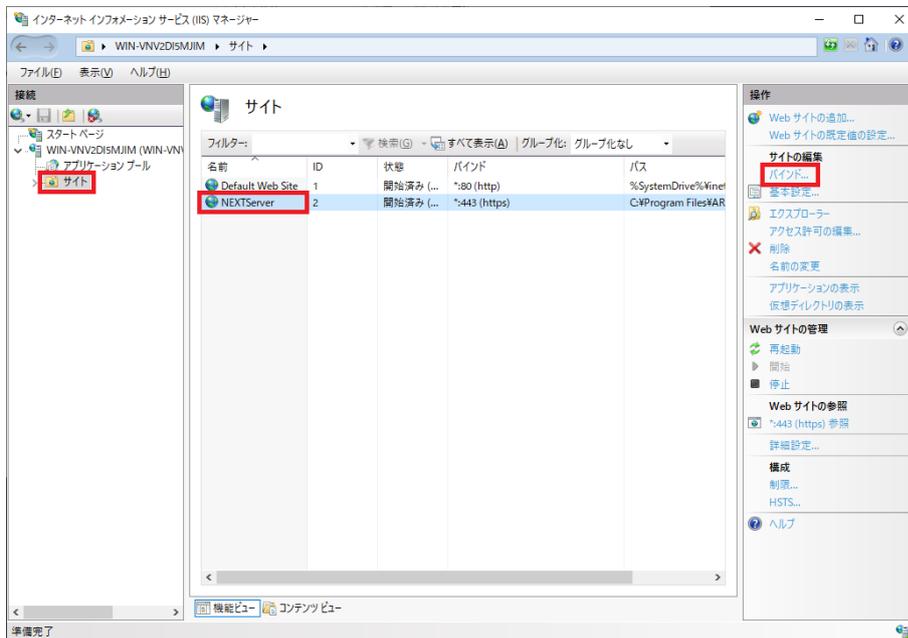
この証明書のエクスポートを許可する(A)

OK キャンセル

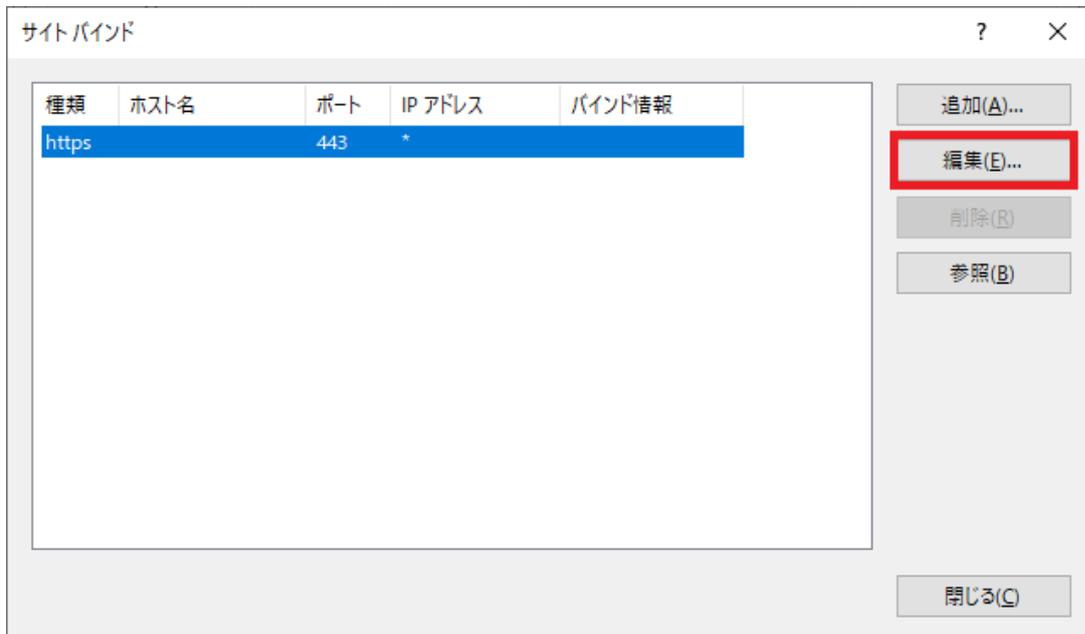
6. 以下のように証明書が追加されます。



7. 「接続」ビューの「サイト」をクリックし、「機能」ビューから「NEXTServer」をクリックして、「操作」ウィンドウの「バインド」をクリックします。



8. 「サイト バインド」画面が表示されます。「https」の列を選択し、<編集>ボタンをクリックします。



9. 「サイト バインドの編集」画面が表示されます。「SSL 証明書」を手順 6 で追加した証明書に変更し、<OK>ボタンをクリックして設定は完了です。

サイト バインドの編集

種類(T): IP アドレス(I): ポート(O):

ホスト名(H):

サーバー名表示を要求する(N)

HTTP/2 を無効にする(D)

OCSP ステープリングを無効にする(S)

SSL 証明書(F):

未選択

NEXTServerExample

NEXTServer

4.2.7. NEXT サーバー再設定ツール

NEXT サーバー再設定ツールとは、NEXT チームサーバーのインストール時に、接続先データベースのパスワードを誤って入力した場合に、NEXT チームサーバーの再設定を行うためのツールです。

また、本ツールを使用することにより、接続先データベースのポート番号や接続先データベースのユーザー名の変更も行うことができます。

NEXT サーバー再設定ツールで再設定が可能な項目

NEXT サーバー再設定ツールを使用して再設定が可能な項目は以下のとおりです。

NEXT サーバーの構成	再設定が可能な項目	設定の変更が可能な項目
NEXT チームサーバー	接続先データベースのパスワード	接続先データベースのポート番号 接続先データベースのユーザー名



NEXT サーバー再設定ツールを使用して接続先データベースのパスワードの変更を行ったとしても、PostgreSQL のパスワードは変更されません。

PostgreSQL のパスワードを変更したい場合は、PostgreSQL のマニュアルを参考にしてデータベースパスワードを変更する、または NEXT チームサーバー、および PostgreSQL をアンインストールして、再度、NEXT チームサーバーをインストールする必要があります。

NEXT サーバー再設定ツールを使用するケース

NEXT サーバー再設定ツールを使用して再設定が可能な項目は以下のとおりです。

下記のようなケースでは、NEXT チームサーバーの再インストールを行わずに、NEXT サーバー再設定ツールを使用することで対処が可能です。

ケース	参照ページ
PostgreSQL がインストール済みの状態で、NEXT チームサーバーをインストールする際に、誤ったデータベースパスワード設定してしまった場合	接続先データベースのパスワードを変更する
接続先データベースのポート番号（デフォルトのポート番号は「5432」に設定されています）を変更したい場合	接続先データベースのポート番号を変更する
接続先データベースのユーザー名（PostgreSQL の場合、デフォルトユーザー名は「postgres」に設定されています）を変更したい場合	接続先データベースのユーザー名を変更する

接続先データベースのパスワードを変更する

NEXT サーバー再設定ツールを使用して、接続先データベースのパスワードを変更する手順について説明します。

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
3. NEXT チームサーバーのインストールフォルダに移動します。

```
> cd C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server
```

4. 接続先データベースのパスワードを変更する NEXT サーバー再設定ツールのコマンドを実行します。

```
> Setup.Support ChangeDbConnSetting -pw={接続先データベースのパスワード}
```

例) Setup.Support ChangeDbConnSetting -pw=dbPassword

5. 上記コマンド実行後、「コマンドは正常に終了しました。コンピューターを再起動して設定を反映してください。」と表示されますので、コンピューターを再起動してください。

本コマンド実行時に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。

出力メッセージ	対応方法
実行するユーザーに管理者権限がありません	管理者権限がない状態で NEXT サーバー再設定ツールを実行した場合に表示されるエラーです。 コマンドプロンプトを管理者権限で起動して実行してください。
コマンド引数が足りません： ChangeDbConnSetting -h={接続先データベースのホスト名} -pw={接続先データベースのパスワード} -p={接続先データベースのポート} -u={接続先データベースユーザー}	コマンド引数に何も指定しなかった場合に表示されるエラーです。 上記の手順 4 を参考に再度コマンドを実行してください。
設定ファイルを閉じてから再度実行してください	NEXT チームサーバーの設定ファイル書き換えに失敗した際に表示されるエラーです。 NEXT チームサーバーのインストールフォルダ (C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server) の配下にあるファイルが開かれている可能性がありますので、閉じてから再度コマンドを実行してください。
アプリケーションエラーが発生しました	NEXT チームサーバーの設定ファイルが存在しない場合に表示されるエラーです。 再度 NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。

接続先データベースのポート番号を変更する

NEXT サーバー再設定ツールを使用して、接続先データベースのポート番号を変更する手順について説明します。

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
3. NEXT チームサーバーのインストールフォルダに移動します。

```
> cd C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server
```

4. 接続先データベースのパスワードを変更する NEXT サーバー再設定ツールのコマンドを実行します。

```
> Setup.Support ChangeDbConnSetting -p={接続先データベースのポート番号}
```

例) Setup.Support ChangeDbConnSetting -p=54321

5. 上記コマンド実行後、「コマンドは正常に終了しました。コンピューターを再起動して設定を反映してください。」と表示されますので、コンピューターを再起動してください。

本コマンド実行時に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。

出力メッセージ	対応方法
実行するユーザーに管理者権限がありません	管理者権限がない状態で NEXT サーバー再設定ツールを実行した場合に表示されるエラーです。 コマンドプロンプトを管理者権限で起動して実行してください。
コマンド引数が足りません： ChangeDbConnSetting -h={接続先データベースのホスト名} -pw={接続先データベースのパスワード} -p={接続先データベースのポート} -u={接続先データベースユーザー}	コマンド引数に何も指定しなかった場合に表示されるエラーです。 上記の手順 4 を参考に再度コマンドを実行してください。
設定ファイルを閉じてから再度実行してください	NEXT チームサーバーの設定ファイル書き換えに失敗した際に表示されるエラーです。 NEXT チームサーバーのインストールフォルダ (C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server) の配下にあるファイルが開かれている可能性がありますので、閉じてから再度コマンドを実行してください。
アプリケーションエラーが発生しました	NEXT チームサーバーの設定ファイルが存在しない場合に表示されるエラーです。 再度 NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。

接続先データベースのユーザー名を変更する

NEXT サーバー再設定ツールを使用して、接続先データベースのユーザー名を変更する手順について説明します。

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
3. NEXT チームサーバーのインストールフォルダに移動します。

```
> cd C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server
```

4. 接続先データベースのパスワードを変更する NEXT サーバー再設定ツールのコマンドを実行します。

```
> Setup.Support ChangeDbConnSetting -u={接続先データベースのユーザー名}
```

例) Setup.Support ChangeDbConnSetting -u=dbUser

5. 上記コマンド実行後、「コマンドは正常に終了しました。コンピューターを再起動して設定を反映してください。」と表示されますので、コンピューターを再起動してください。

本コマンド実行時に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。

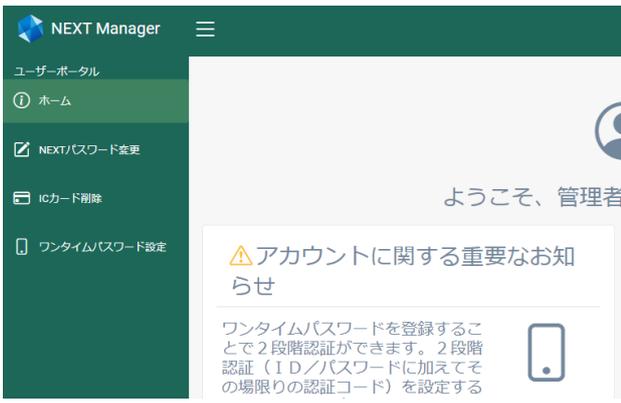
出力メッセージ	対応方法
実行するユーザーに管理者権限がありません	管理者権限がない状態で NEXT サーバー再設定ツールを実行した場合に表示されるエラーです。 コマンドプロンプトを管理者権限で起動して実行してください。
コマンド引数が足りません： ChangeDbConnSetting -h={接続先データベースのホスト名} -pw={接続先データベースのパスワード} -p={接続先データベースのポート} -u={接続先データベースユーザー}	コマンド引数に何も指定しなかった場合に表示されるエラーです。 上記の手順 4 を参考に再度コマンドを実行してください。
設定ファイルを閉じてから再度実行してください	NEXT チームサーバーの設定ファイル書き換えに失敗した際に表示されるエラーです。 NEXT チームサーバーのインストールフォルダ (C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server) の配下にあるファイルが開かれている可能性がありますので、閉じてから再度コマンドを実行してください。
アプリケーションエラーが発生しました	NEXT チームサーバーの設定ファイルが存在しない場合に表示されるエラーです。 再度 NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。

5. サインイン、サインアウト

NEXT マネージャーのサインイン画面は、「管理者ポータル」と「ユーザーポータル」の2つがあります。

サインイン画面	利用する人	機能
管理者ポータル	管理者	管理者権限のあるユーザーのみサインインすることができ、NEXT チームサーバー全体の設定、および全ユーザーのユーザー情報の設定をすることができます。
ユーザーポータル	利用者	各利用者が NEXT マネージャーにサインインして、自分自身のユーザー情報の設定をすることができます。

NEXT マネージャーへサインイン後は、背景の色で判別が可能です。

サインイン画面	背景色	画面
管理者ポータル	青	
ユーザーポータル	緑	

NEXT マネージャーへサインインする認証方式は、「パスワード認証」と「ワンタイムパスワード認証」の2つがあります。

認証方式	利用する ID、 利用するパスワード	説明
パスワード認証	NEXT ユーザーID、 NEXT パスワード	各 NEXT ユーザーに設定されている NEXT パスワードを利用してサインインする認証方式です。
ワンタイムパスワード認証	NEXT ユーザーID、 NEXT パスワード、 ワンタイムパスワード	各 NEXT ユーザーに設定されている NEXT パスワード、およびワンタイムパスワードを利用してサインインする認証方式です。 ワンタイムパスワード認証を使用する場合は、あらかじめ下記の設定が必要となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワンタイムパスワード認証の有効化 ・NEXT ユーザーにワンタイムパスワードシークレットを発行 ・スマートフォンの Authenticator アプリへワンタイムパスワードシークレットを登録 ワンタイムパスワードの詳細は、「9.2.2. 利用する認証方式」「11.7. ワンタイムパスワード」を参照してください。

Info 初期設定時の NEXT マネージャーにサインインできる NEXT ユーザーID、パスワードは以下です。
NEXT ユーザーID : admin
NEXT パスワード : password
NEXT ユーザー名 : 管理者(ビルトイン)
ロール : 管理者

5.1 サインイン

管理者ポータルへのサインインについて説明します。
管理者ポータルは、管理者のみがサインインできます。

Info ユーザーポータルへのサインインについては、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

Info 初回のNEXT マネージャー起動時は、NEXT マネージャーへのサインイン、NEXT ユーザーの作成について説明しているようこそ画面が表示されます。

「>」：次ページを表示します。

「<」：前ページを表示します。

「閉じる」：ようこそ画面を閉じ、NEXT マネージャーのサインイン画面が表示されます。

※「次回から表示しない」にチェックを入れて「閉じる」をクリックした場合、次回以降のNEXT マネージャー起動時はようこそ画面が表示されません。



5.1.1. パスワード認証でのサインイン

パスワード認証を利用して NEXT マネージャーの管理者ポータルへサインインする場合は、以下の手順で行ってください。

1. NEXT マネージャーの URL を Web ブラウザで開きます。
2. ユーザーポータルサインイン画面が表示されます。



3. <管理者サインイン>をクリックすると、管理者ポータルのサインイン画面が表示されます。



4. 管理者権限のあるユーザーの「NEXT ユーザーID」、「NEXT パスワード」を入力し、<次へ>ボタンをクリックしてください。



Info ワンタイムパスワードシークレットが発行済の場合は、<次へ>ボタンをクリックすると下記画面が表示され、ワンタイムパスワードの入力が必要となります。
「5.1.2. ワンタイムパスワード認証でのサインイン」を参照してください。



5. 管理者ポータルへのダッシュボードが表示されます。

The screenshot shows the administrator portal interface for NEXT Manager. The top navigation bar includes the 'NEXT Manager' logo, a menu icon, and the user name '管理者(ビルトイン)'. The left sidebar contains various system management options such as 'システム', 'ダッシュボード', 'コントロール設定', 'クライアント一覧', 'ログ管理', '認証設定', 'ポリシー設定', 'クライアント設定', 'ユーザー管理', 'NEXTユーザー一覧', 'NEXTユーザー作成', 'データ管理', 'ジョブ管理', and 'ユーザーインポート'. The main content area is titled 'ダッシュボード' and features several widgets: 'ログ情報(一週間)' with a table of logs, 'プラグイン情報' with a list of active plugins, 'プロダクトバージョン', and 'モジュールバージョン' with a table of installed modules. The footer shows the copyright '© 2024 Ryobi Systems' and the trial period '製品試用期限: 2025/01/15'.

イベント	情報	エラー
セキュリティ	0	0
管理	36	0

プラグイン	ステータス
基本プラグイン	有効
PostgreSQL	有効
ログマネージャー	有効
データマネージャー	有効
ユーザーエクスポート	有効
クライアント設定	有効
クライアント情報	有効

モジュール	バージョン
Js.Common.dll	2.1.0.0
Js.Common.ServiceLocator.dll	2.1.0.0
Js.Ssol.Client.Apps.UI.CrashReportSetting.dll	2.1.0.0
Js.Ssol.Client.Common.dll	2.1.0.0
Js.Ssol.Client.UI.Common.dll	2.1.0.0
Js.Ssol.Common.DataAccess.Middleware.dll	1.0.0.0

Info 管理者ポータルにサインイン後、一定時間ブラウザの操作がないと下記画面が表示され、自動的にサインアウトされます。再度サインインし直してください。



一定時間ブラウザの操作がなかったためサインアウトしました。再度ログインしてください。

サインイン

5.1.2. ワンタイムパスワード認証でのサインイン

ワンタイムパスワード認証を利用して NEXT マネージャーの管理者ポータルへサインインする場合は、以下の手順で行ってください。

1. NEXT マネージャーの URL を Web ブラウザで開きます。
2. ユーザーポータルサインイン画面が表示されます。



3. <管理者サインイン>をクリックすると、管理者ポータルサインイン画面が表示されます。



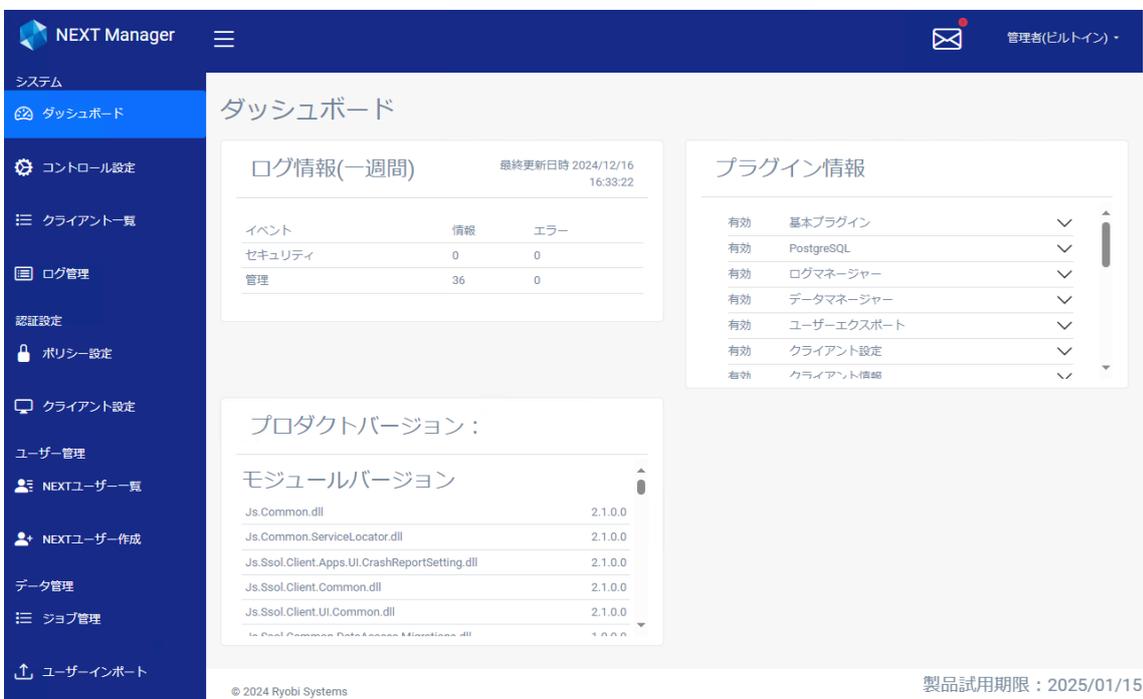
4. 管理者権限のあるユーザーの「NEXT ユーザーID」、「NEXT パスワード」を入力し、<次へ>ボタンをクリックしてください。



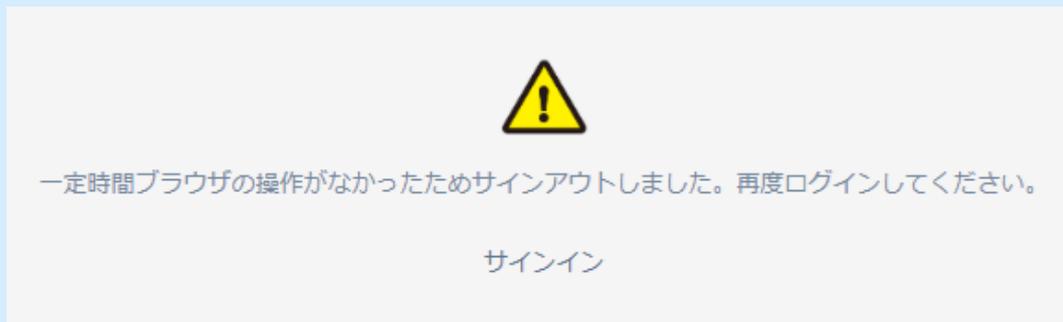
5. スマートフォンの Authenticator アプリを開き、表示されているワンタイムパスワードを入力して、<次へ>ボタンをクリックしてください。



6. 管理者ポータルダッシュボードが表示されます。



Info 管理者ポータルにサインイン後、一定時間ブラウザの操作がないと下記画面が表示され、自動的にサインアウトされます。再度サインインし直してください。



5.2 サインアウト

NEXT マネージャーからのサインアウトについて説明します。

NEXT マネージャーからのサインアウトは、以下の手順で行ってください。

1. NEXT マネージャーの右上に表示されている「サインインした NEXT ユーザー名」をクリックします。
2. 「サインアウト」をクリックします。



3. サインアウトされ、サインイン画面が表示されます。



6. 管理画面の基本操作

6.1 画面構成

NEXT マネージャーは、左側のメニューと右側のメインパネルから構成されています。各メニューをクリックすると、メインパネルに対応するページが表示されます。

The screenshot displays the NEXT Manager dashboard. The left sidebar menu is labeled 'メニュー' and contains various system management options. The main content area, labeled 'メインパネル', shows the 'ダッシュボード' (Dashboard) with several key sections:

- ログ情報(一週間)**: A table showing event logs for the last week, updated on 2024/12/16 at 16:33:22.

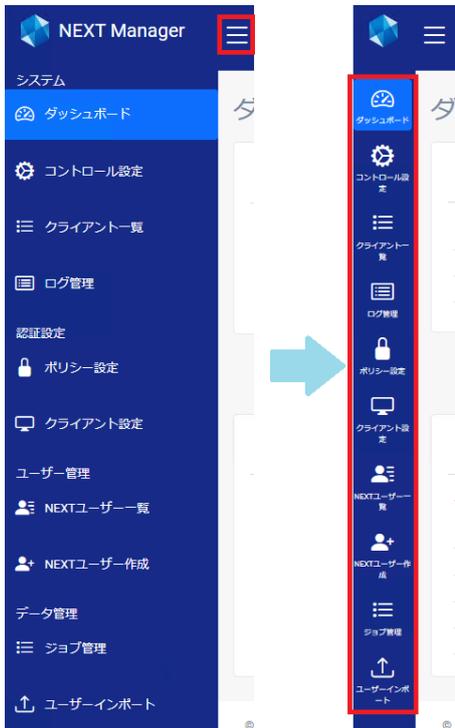
イベント	情報	エラー
セキュリティ	0	0
管理	36	0
- プラグイン情報**: A list of active plugins with dropdown menus for each.

有効	基本プラグイン
有効	基本プラグイン
有効	PostgreSQL
有効	ログマネージャー
有効	データマネージャー
有効	ユーザーエクスポート
有効	クライアント設定
有効	クライアント情報
- プロダクトバージョン**: A section for product versions.
- モジュールバージョン**: A table listing module versions.

モジュール名	バージョン
Js.Common.dll	2.1.0.0
Js.Common.ServiceLocator.dll	2.1.0.0
Js.Ssol.Client.Apps.UI.CrashReportSetting.dll	2.1.0.0
Js.Ssol.Client.Common.dll	2.1.0.0
Js.Ssol.Client.UI.Common.dll	2.1.0.0
Js.Ssol.Common.DataAccess.Migrations.dll	1.0.0.0

The footer of the dashboard includes the copyright notice '© 2024 Ryobi Systems' and the trial period '製品試用期限: 2025/01/15'.

メインパネルの左上のアイコンをクリックすると、メニューを折りたたむことができます。もう一度、クリックすると元の表示に戻ります。



メニューに表示される項目は、以下のとおりです。

カテゴリ	項目	説明
システム	ダッシュボード	NEXT マネージャーにログイン後、最初に表示される画面です。バージョン情報の他、管理者向けの情報を表示します。
	コントロール設定	アプリケーション設定の設定、および設定の確認を行う画面です。 アプリケーション設定の詳細は、「7.1. アプリケーション設定」を参照してください。
	クライアント一覧	オンラインで NEXT 認証を行ったクライアント情報を閲覧する画面です。
	ログ管理	NEXT マネージャー、NEXT クライアントの直近の操作ログを閲覧、検索できます。
認証設定	ポリシー設定	パスワードポリシーなどの設定を行います。
	クライアント設定	NEXT クライアントの端末設定を行います。
ユーザー管理	NEXT ユーザー一覧	NEXT ユーザー情報の管理を行います。
	NEXT ユーザー作成	NEXT ユーザーの作成を行います。
データ管理	ジョブ管理	インポート処理のジョブを管理する画面です。 詳細は、「ARCACLAVIS NEXT CSV ファイルインポート・エクスポートガイド」を参照してください。
	ユーザーインポート	CSV ファイルを利用して、NEXT ユーザーを一括登録することができます。

メインパネルに表示される項目は、以下のとおりです。

項目	説明
ログ情報(一週間)	一週間分のログ情報を集計して表示します。 集計結果はキャッシュされ、キャッシュが有効な間はキャッシュした集計結果を表示します。 キャッシュの有効期間は1時間です。
プラグイン情報	NEXT チームサーバーで適用されているプラグイン情報を表示します。 詳細は、「6.5. プラグイン情報」を参照してください。
プロダクトバージョン	プロダクトバージョンとモジュールバージョンを表示します。 プロダクトバージョンはNEXT チームサーバーのインストーラーバージョンを表示します。 モジュールバージョンはプラグインモジュール毎のバージョンを表示します。

6.2 基本操作

NEXT マネージャーでの値の入力、選択などの基本操作を、例を用いながら説明します。

値の入力：

「NEXT ユーザー作成」の「NEXT ユーザーID」などは入力規則に従った値を入力してください。

NEXTユーザーID*

ツールチップ：

「NEXT ユーザーID」などのラベルにマウスをフォーカスすると、入力する値の説明をツールチップとして表示します。画面上での入力する値の参考にしてください。なお、ツールチップはすべてのラベルには設定されておりません。

一意のユーザーIDを入力してください
半角英数、記号(ハイフン、アンダーバー、ドットのみ)

NEXTユーザーID*

NEXT パスワードの入力：

入力した NEXT パスワードは、[●]で表示されます。

既存の NEXT ユーザーを編集する場合は、現在設定されている NEXT パスワードは表示されず、空白で表示されます

NEXTパスワード* 

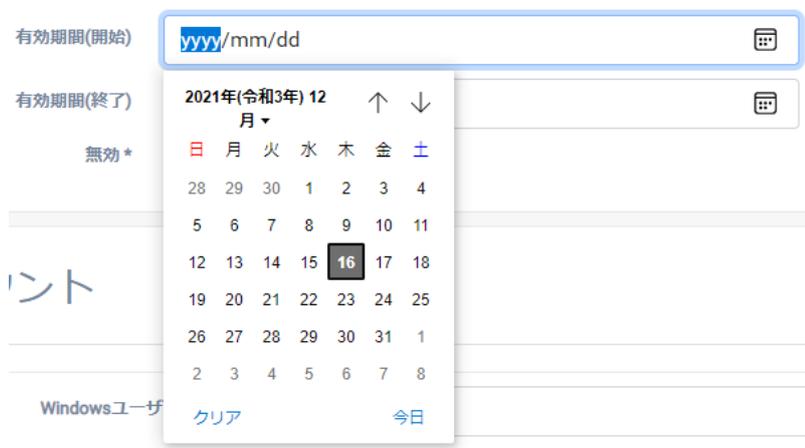
右の[目]のアイコンをクリックすることで入力した値そのものの表示に切り替えることができます。もう一度、クリックすることで[●]の表示に戻ります。周囲に注意してご利用ください。

既存の NEXT ユーザーを編集する場合は、右の[目]のアイコンをクリックしても現在設定されている NEXT パスワードは表示されず、空白で表示されます。

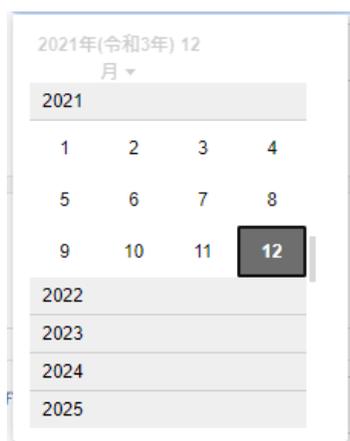
NEXTパスワード* 

日付の入力：

日付の入力は、キーボードで直接、数字入力も可能ですが、右の[カレンダー]のアイコンをクリックすることで、年月日を選択して入力することができます。



カレンダーを表示した後、「2021年(令和3年)12月」の部分をクリックすることで、年月の選択カレンダーを表示することもできます。



オン/オフの入力：

選択肢のオン、オフはクリックすることで切り替えることができます。

下図の例では、「オフ」なので、「無効がオフ」、つまり、「有効」状態を表しています。

無効*

下図の例では、「オン」なので、「無効がオン」、つまり「無効」状態を表しています。

無効*

必須項目の入力：

設定により、入力や選択が必須の項目があります。必須項目に入力、選択がない場合、下図のようにエラーが通知されます。

NEXT緊急パスワード発行

• 入力エラー

user1 user1 

有効期限* 

入力が必要です

6.3 初期管理者の設定

初期設定の NEXT ユーザーは、そのまま使用せず、以下の手順でパスワードの変更を行ってください。また、初期設定の NEXT ユーザー以外に管理者権限を持つアカウントを作成する手順も合わせてご確認ください。

6.3.1. NEXT パスワードの変更

1. 「5.1. サインイン」の手順に従って初期設定の NEXT ユーザーで NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. 初期設定の NEXT ユーザーの行の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<NEXT パスワードリセット>をクリックしてください。
4. 「新しい NEXT パスワード」「確認用 NEXT パスワード」を入力してください。
5. <登録>ボタンをクリックしてください。

Info 「パスワードポリシーに反しています。長さや使用する文字種別を確認してください。」と表示される場合があります。
NEXT ユーザーのパスワードポリシーは「ポリシー設定」で設定します。
詳細は、「10. ポリシー設定」を参照してください。

6.3.2. 管理者アカウントの追加

1. 「5.1. サインイン」の手順に従って初期設定の NEXT ユーザーで NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー作成」をクリックしてください。
3. 必要な項目を入力してください。
4. <登録>ボタンをクリックしてください。
5. メニューの「NEXT ユーザー一覧」から今、作成した NEXT ユーザーの行の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<ロール設定>をクリックしてください。
6. 「管理者」をオンにします。
7. <登録>ボタンをクリックしてください。

Info NEXT ユーザーの各項目の詳細は、「11.2. NEXT ユーザー情報の設定」を参照してください。

6.4 バージョンの確認

6.4.1. NEXT チームサーバーのバージョンの確認

NEXT チームサーバーのバージョンの確認は以下の手順で行ってください。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. ダッシュボードが表示されます。
3. ダッシュボードに「プロダクトバージョン」が表示されます。

6.4.2. NEXT クライアントのバージョンの確認

NEXT クライアントのバージョンの確認方法は、「8. クライアント一覧」を参照してください。

6.4.3. NEXT クライアントの展開後のバージョンの確認

NEXT クライアントのバージョンの確認方法は、「8. クライアント一覧」を参照してください。

NEXT クライアントを展開後に、NEXT マネージャーから確認する場合は以下の手順で行ってください。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「ログ管理」をクリックしてください。
3. 「検索条件」の「クライアント PC 名」、「クライアント IP アドレス」に確認したい NEXT クライアントの情報を入力してください。
4. <検索>ボタンをクリックしてください。
5. 下の検索結果に該当の NEXT クライアントのログがあれば表示されますので、「クライアントバージョン」列をご確認ください。

Info 「ログ管理」で表示されるログは一定期間内のログです。
詳細は、「12. ログ管理」を参照してください。

6.5 プラグイン情報

NEXT チームサーバーで適用されているプラグイン情報は以下の手順で確認ができます。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. ダッシュボードが表示されます。
3. ダッシュボードに「プラグイン情報」が表示されます。

プラグイン情報の表示内容の説明は以下のとおりです。



	項目名	説明
1	プラグインの状態	プラグインの状態を「有効」、または「無効」で表示します。
2	プラグイン名	適用されているプラグイン名です。 プラグイン名をクリックした場合の動作は後述します。

プラグインの状態が無効となった場合、状態に「無効」が表示されます。



無効が表示されている場合は NEXT チームサーバーのインストールに失敗しているため、NEXT チームサーバーをアンインストールした後、再度インストールを実行してください

プラグイン名をクリックすると、プラグインに紐づく情報を表示します。
再度クリックすることで非表示に切り替えます。



プラグインに紐づく情報は以下のとおりです。

	項目名	説明
1	プラグインバージョン	プラグイン設定ファイルのバージョンです。

6.6 通知

NEXT マネージャーへサインインした際に通知する内容がある場合は、通知ダイアログが表示されます。



6.6.1. メールアイコンの通知

ビルトインユーザーの初期パスワード変更などの情報を通知します。
通知情報の有無は、管理画面右上のメールアイコンの表示を確認してください。

- ・通知ありの場合

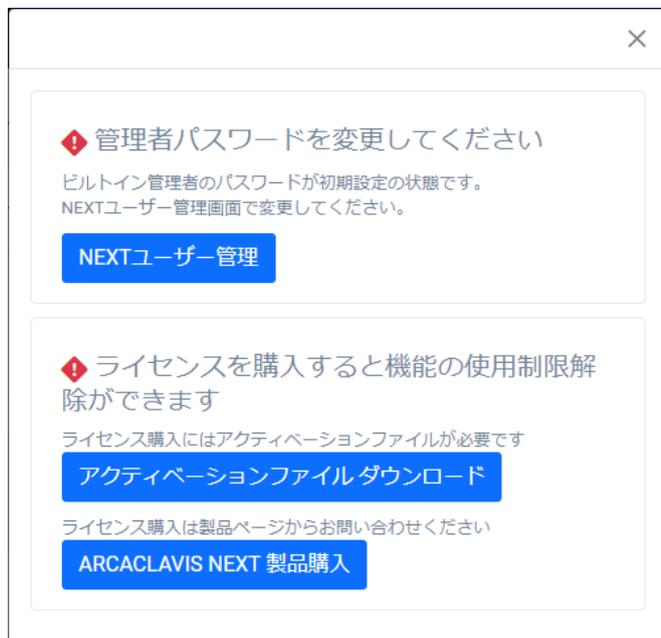


- ・通知なしの場合



通知情報の内容は、以下の手順で確認してください。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. 画面右上の<メール>アイコンをクリックしてください。
3. 通知ダイアログが表示されます。



通知情報には関連したボタンも表示されます。上記、<NEXT ユーザー管理>ボタンの場合、クリックすると管理者パスワードを変更するユーザー管理画面に遷移します。

今後、その通知情報を表示したくない場合は<通知を非表示>ボタンをクリックしてください。今後、その通知情報は表示されなくなります。

Info 通知情報に表示されるボタンは通知情報により異なります。
非表示にできない通知情報の場合は<通知を非表示>ボタンは表示されません。

7. コントロール設定

NEXT マネージャーのメニューの「コントロール設定」について説明します。
コントロール設定では、アプリケーション設定の設定、および設定の確認を行えます。

7.1 アプリケーション設定

アプリケーション設定に関する設定、および内容の確認を行うことができます。



7.1.1. アプリケーション情報

アプリケーション情報画面では、NEXT チームサーバーのアプリケーション情報の設定を確認することができます。

Info アプリケーション情報画面では、設定項目の作成・編集はできません。
アプリケーション情報の設定は、NEXT チームサーバーのインストール時に自動で設定が行われます。

項目	説明
API バージョン	NEXT チームサーバーの API バージョンです。 NEXT チームサーバーと NEXT クライアントアプリケーションが同一であることで通信可能になります
<ハンバーガー>アイコン	下記のダイアログが表示され、登録済のアプリケーション情報の設定一覧が表示されます。 登録済設定一覧ダイアログのアプリケーション情報名をクリックすると、該当のアプリケーション情報の設定内容が表示されます。 
<メニュー>ボタン	コントロール設定画面に戻ります。

7.1.2. システム設定

システム設定画面では、NEXT チームサーバー構成に係る設定が行えます。

コントロール設定

システム設定

ロガーバージョン v3

NEXTマネージャーでのログ閲覧可能日数* 1100

メニュー
キャンセル
登録

ロガーバージョン

項目名	説明
ロガーバージョン	<p>ログ出力の仕様を表すバージョンです。</p> <p>ロガーバージョンはNEXT チームサーバーのインストール時に設定される値であり、編集はできません。</p> <p>NEXT チームサーバーのバージョンでロガーバージョンは決められています。</p> <p>V2.1.1以降 : v3</p>

Info ロガーバージョンの詳細は、「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」を参照してください。

ログ閲覧可能日数設定

NEXT チームサーバー、NEXT クライアントの動作に関するログの閲覧可能日数を設定できます。設定項目は以下です。

項目名	説明
NEXT マネージャーでのログ閲覧可能日数 (必須)	NEXT Web サーバー、NEXT クライアントの動作に関するログの閲覧可能日数です。 閲覧可能日数を過ぎたログは NEXT マネージャーのログ管理や顔認証ログに表示されません。 設定範囲は、「10」～「1100」です。 初期値：1100

設定は以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「コントロール設定」をクリックしてください。
3. コントロール設定画面の「システム設定」をクリックしてください。
4. 「NEXT マネージャーでのログ閲覧可能日数」に、ログの閲覧可能日数を入力してください。
5. <登録>ボタンをクリックしてください。

7.1.3. ライセンス管理

ライセンスの登録内容の確認を行うことができます。

ライセンス管理

ライセンス状態

状態

ライセンス情報

カスタマーID	<input type="text" value="system"/>
アプリID	<input type="text" value="NEXTTeamServer"/>
ライセンス識別子	<input type="text" value="trial"/>
ライセンスバージョン	<input type="text" value="サブスクリプション"/>
登録ユーザー数	<input type="text" value="無制限"/>
シリアル番号	<input type="text" value="67561537-d8f0-4b2c-9258-06a70beb6f8e"/>
ライセンス有効期限	<input type="text" value="2025/01/08"/>

利用可能プラグイン

顔認証

データマネージャー

ライセンス登録

ここからライセンスの取得に必要なアクティベーションファイルをダウンロードします

ライセンスファイル

[メニュー](#) [ライセンスファイル登録](#)

Info NEXT チームサーバーでは、インストール時にトライアルライセンスが登録されます。

NEXT チームサーバーの初期インストール時は、ライセンス期限付きのトライアル版として動作します。チームライセンスを購入・登録することでライセンス期限を解除し、チーム版として動作します。

Info エディションやライセンスの種類については、「ARCACLAVIS NEXT エディションガイド」を参照してください。

ライセンスの登録は以下の手順で行います。

購入

- 管理者がチームライセンスを購入します。

サーバー

- 管理者がNEXT マネージャーからアクティベーションファイルをダウンロードします。

申請

- 管理者がアクティベーションファイルを弊社（両備システムズ）に送り、ライセンスの申請を行います。
- 弊社がアクティベーションファイルをもとにライセンスファイルを発行し、送付します。

サーバー

- 管理者がNEXT マネージャーにライセンスを登録します。

ライセンスの購入

弊社（両備システムズ）にてチームライセンスのご購入の申請を行います。
ライセンス購入の手続きについては、以下の URL を参照してください。

<https://arcaclavis.stores.jp/>

アクティベーションファイルのダウンロード

アクティベーションファイルのダウンロードは以下の手順で行ってください。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「コントロール設定」をクリックしてください。
3. コントロール設定画面の「ライセンス管理」をクリックしてください。
4. ライセンス管理画面の<アクティベーションファイル>のリンクをクリックしてください。

ライセンス管理

ライセンス状態

状態

ライセンス情報

カスタマーID	<input type="text" value="system"/>
アプリID	<input type="text" value="NEXTTeamServer"/>
ライセンス識別子	<input type="text" value="trial"/>
ライセンスバージョン	<input type="text" value="サブスクリプション"/>
登録ユーザー数	<input type="text" value="無制限"/>
シリアル番号	<input type="text" value="67561537-d8f0-4b2c-9258-06a70beb6f8e"/>
ライセンス有効期限	<input type="text" value="2025/01/08"/>

利用可能プラグイン

確認済
データマネージャー

ライセンス登録

ここからライセンスの取得に必要の **アクティベーションファイル** をダウンロードします

ライセンスファイル	<input type="button" value="ファイルの選択"/>	<input type="text" value="ファイルが選択されていません"/>
-----------	--	---

メニュー ライセンスファイル登録

5. 「名前を付けて保存」などの Web ブラウザのファイル保存ダイアログが表示されます。
6. 保存場所を選択して保存してください。

Info アクティベーションファイルは「activation.txt」のファイル名でダウンロードします。

ライセンスの申請

ダウンロードしたアクティベーションファイルを弊社（両備システムズ）に送り、ライセンスの申請を行います。

弊社よりアクティベーションファイルをもとにライセンスを発行し、ライセンスファイルをお送りします。

Info ライセンスファイルは「license.lic」のファイル名でお送りします。
ライセンス申請の詳細は、「ARCACLAVIS NEXT エディションガイド」を参照してください。

ライセンス登録

弊社（両備システムズ）からお送りしたライセンスファイルの登録は以下の手順で行ってください。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「コントロール設定」をクリックしてください。
3. コントロール設定画面の「ライセンス管理」をクリックしてください。
4. ライセンス管理画面の「ライセンスファイル」にライセンスファイルを指定してください。

ライセンス管理

ライセンス状態

状態 ライセンスされています

ライセンス情報

カスタマーID system

アプリID NEXTTeamServer

ライセンス識別子 trial

ライセンスバージョン サブスクリプション

登録ユーザー数 無制限

シリアル番号 67561537-d8f0-4b2c-9258-06a70beb6f8e

ライセンス有効期限 2025/01/08

利用可能プラグイン

顔認証

データマネージャー

ライセンス登録

ここからライセンスの取得に必要なアクティベーションファイルをダウンロードします

ライセンスファイル ファイルの選択 license.lic

メニュー ライセンスファイル登録

5. <ライセンスファイル登録>ボタンをクリックしてください。

6. 「ライセンス認証に成功しました。追加のプラグインを有効にする場合は NEXT マネージャーの Web サイトを再起動してください」のメッセージが表示されます。

ライセンス管理

• ライセンス認証に成功しました。追加のプラグインを有効にする場合はNEXT マネージャーのWebサイトを再起動してください

ライセンス状態

状態

ライセンス情報

カスタマーID	<input type="text" value="0001"/>
アプリID	<input type="text" value="NEXTTeamServer"/>
ライセンス識別子	<input type="text" value="team"/>
ライセンスバージョン	<input type="text" value="2.1"/>
登録ユーザー数	<input type="text" value="5"/>
シリアル番号	<input type="text" value="5393d3ef-fc21-4c7f-93f3-4f7b9f5a47db"/>
ライセンス有効期限	<input type="text" value="無し"/>
発行日	<input type="text" value="2024/12/11"/>

Info ライセンス登録時のエラーメッセージについては、「ライセンス登録のエラーメッセージと対処方法」を参照してください。

7. NEXT マネージャーの Web サイトを再起動します。手順は、「付録. NEXT マネージャーの Web サイト再起動」を参照してください。



ライセンス登録後に NEXT チームサーバーのサーバーマシンを移行した場合は、改めてライセンス登録をする必要がありますが、移行前に申請したライセンスファイルは使用できません。

移行後の NEXT チームサーバーで改めてライセンス申請、登録を行ってください。

ライセンス登録のエラーメッセージと対処方法

ライセンス登録で表示されるエラーメッセージと対処方法は以下のとおりです。

エラーメッセージ	対処方法
ライセンスファイルがありません	ライセンスファイルが指定されていません。 「ライセンスファイル」にライセンスファイルを指定して再実行してください。
ライセンスの検証に失敗しました	ライセンスファイルの検証に失敗したため、ライセンス登録ができませんでした。 弊社より発行されたライセンスファイルを指定している、または正しいライセンスキーが入力されているか確認いただき、再実行してください。

ライセンス登録の確認

登録済みのライセンス内容の確認は以下の手順で行ってください。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「コントロール設定」をクリックしてください。
3. コントロール設定画面の「ライセンス管理」をクリックしてください。
4. ライセンス管理画面に登録済みのライセンス内容が表示されます。

ライセンス管理

ライセンス状態

状態

ライセンス情報

カスタマーID	<input type="text" value="0001"/>
アプリID	<input type="text" value="NEXTTeamServer"/>
ライセンス識別子	<input type="text" value="team"/>
ライセンスバージョン	<input type="text" value="2.1"/>
登録ユーザー数	<input type="text" value="5"/>
シリアル番号	<input type="text" value="5393d3ef-fc21-4c7f-93f3-4f7b9f5a47db"/>
ライセンス有効期限	<input type="text" value="無し"/>
発行日	<input type="text" value="2024/12/11"/>

利用可能プラグイン

顔認証
データマネージャー

ライセンス登録

ここからライセンスの取得に必要な[アクティベーションファイル](#)をダウンロードします

ライセンスファイル

[メニュー](#) [ライセンスファイル登録](#)

ライセンス管理で確認できる情報は以下のとおりです。

項目		説明
ライセンス状態	状態	ライセンスの登録状態です。
ライセンス情報	カスタマーID	ライセンス申請時に割り振られる固有の ID です。 ライセンスに関するサポートへのお問い合わせの際に使用します。
	アプリ ID	NEXT 製品のアプリケーション識別子です。
	ライセンス識別子	ライセンスの種類です。 ※ライセンスの種類については、「ARCACLAVIS NEXT エディションガイド」を参照してください。
	ライセンスバージョン	ライセンスが有効なバージョンです。 全てのライセンスバージョンが有効な場合は、「サブスクリプション」と表示されます。
	登録ユーザー数	登録できる NEXT ユーザー数の上限です。
	シリアル番号	ライセンスファイルを一意に識別する ID です。
	ライセンス有効期限	ライセンスの有効期限です。 無期限の場合は「無し」と表示されます。
	発行日	ライセンスを発行した日付です。
利用可能プラグイン		ライセンスにより使用できるプラグインが全て表示されます。

8. クライアント一覧

8.1 概要

NEXT マネージャーのクライアント一覧画面ではオンラインで NEXT 認証を行ったクライアント情報を一覧表示することができます。

Info クライアント情報はハードウェア識別子で一意的に識別しています。
ハードウェア構成（CPU、マザーボード、Cドライブシリアル番号）に変更があれば別のクライアントとして識別されます。

NEXT マネージャーのメニューから「クライアント一覧」をクリックすることで、クライアント一覧画面が表示されます。

クライアント一覧

検索条件

PC名 アプリケーション名

IPアドレス アプリケーションバージョン

OSバージョン

(1 - 20) 100 [20] [50] [100]

最初 前へ 1 2 3 4 5 次へ 最後

	PC名	IPアドレス	OSバージョン	登録日時	更新日時	アプリケーション	
<input type="button" value="操作"/>	WIN10X64-001	192.168.1.1	Microsoft Windows NT 10.0.19043.0	2020/01/01 0:00:00	2020/01/01 0:00:00	NEXT クライアント	1.0.0.0000000000
<input type="button" value="操作"/>	WIN10X64-001	192.168.1.2	Microsoft Windows NT 10.0.19043.0	2020/01/02 0:00:00	2019/12/31 0:00:00	NEXT クライアント	1.0.0.0000000000
<input type="button" value="操作"/>	WIN10X64-001	192.168.1.3	Microsoft Windows NT 10.0.19043.0	2020/01/11 0:00:00	2019/12/22 0:00:00	NEXT クライアント	1.0.0.0000000000

クライアント一覧に表示される各列は以下のとおりです。

項目	説明
操作	操作ボタンからクライアント情報の削除ができます。 クライアント PC からクライアントアプリケーションをアンインストールしても自動的にクライアント情報の削除は行われません。 不要になったクライアント PC のクライアント情報を削除したい場合に削除してください。
PC 名	クライアント PC のコンピューター名を表示します。 コンピューター名は 15 文字までの表示になります。 例：Win10x64FCU-1
IP アドレス	クライアント PC の IP アドレス(IPv4)を表示します。 複数存在する場合は、カンマ区切りで表示します。 例：192.168.1.1
OS バージョン	クライアント PC の OS バージョンを表示します。 例：Microsoft Windows NT 10.0.19043.0
登録日時	クライアント情報が登録された日時を表示します。 例：2020/01/01 0:00:00
更新日時	クライアント情報が更新された日時を表示します。 例：2020/01/01 0:00:00
アプリケーション	クライアントにインストールされているアプリケーション名とアプリケーションバージョンを表示します。 例：NEXT クライアント 1.0.0.2112091812

クライアント一覧画面ではクライアント情報を検索して、閲覧することができます。メインパネルに表示されるクライアント一覧では、「PC 名」などの各項目名をクリックすることで、昇順/降順の並べ替えができます。

PC名	IPアドレス	OSバージョン	登録日時	更新日時	アプリケーション
-----	--------	---------	------	------	----------

メインパネルに表示されるクライアント一覧の上部には、クライアント情報の総件数、ページ送りなどが表示されています。下図を例に説明します。



項目	説明
クライアント情報を表示している番号範囲	メインパネルのクライアント一覧に表示している番号範囲です。 図では、左の「(1-20)」と表示している部分です。
クライアント情報の総件数	登録されているクライアント情報の総件数です。 図では、左の「100」と表示している部分です。
1 ページで表示する件数	1 ページで表示する件数です。 20,50,100 から選択でき、クリックすることで、1 ページで表示する件数を変更することができます。 図では、右の「[20] [50] [100]」と表示している部分です。
ページ送り	メインパネルのクライアント一覧のページ送りを行うことができる表示部分です。 図は、「[最初][前へ][1]…[次へ][最後]」と表示している部分です。

8.2 NEXT クライアントの閲覧

NEXT マネージャーでクライアント情報を閲覧する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント一覧」をクリックしてください。
3. メインパネルにクライアント一覧が表示されます。

8.3 NEXT クライアントの検索

クライアント一覧画面では PC 名/IP アドレスなどを入力して検索や、アプリケーション名/アプリケーションバージョンの条件を除外して検索、またはそれらを組み合わせた検索ができます。

・入力して検索

PC 名/ IP アドレスなどで検索するには、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント一覧」をクリックしてください。
3. 検索したい「PC 名」、「IP アドレス」などを検索条件に入力してください。
4. <検索>ボタンをクリックしてください。
5. メインパネル下部に検索結果が表示されます。
6. <条件クリア>ボタンをクリックすると、検索条件がすべてクリアされます。

・入力した条件を除外して検索

アプリケーション名/アプリケーションバージョンの条件を除外して検索するには、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント一覧」をクリックしてください。
3. 条件を除外したい「アプリケーション名」、「アプリケーションバージョン」を検索条件に入力してください。
4. 入力ボックス右にあるスイッチをオンにしてください。
5. <検索>ボタンをクリックしてください。
6. メインパネル下部に検索結果が表示されます。
7. <条件クリア>ボタンをクリックすると、検索条件がすべてクリアされます。

※下図ではアプリケーションバージョンが「1.0」ではないクライアント情報が表示されます。

検索条件

PC名	<input type="text"/>	アプリケーション名	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
IPアドレス	<input type="text"/>	アプリケーションバージョン	1.0	<input checked="" type="checkbox"/>
OSバージョン	<input type="text"/>			

・組み合わせでの検索

検索は、各項目を組み合わせで行うことができます。以下に各項目について説明します。

項目	説明
PC名	PC名を入力された文字列で検索します。 検索条件：中間一致、大文字小文字を区別しません。
IPアドレス	IPアドレスを入力された文字列で検索します。 検索条件：中間一致
OSバージョン	OSバージョンを入力された文字列で検索します。 検索条件：中間一致、大文字小文字を区別しません。
アプリケーション名	アプリケーション名を文字列で検索します。 検索条件：中間一致、大文字小文字を区別しません。
アプリケーション名の条件除外スイッチ	アプリケーション名を条件除外する場合はオンにします。
アプリケーションバージョン	アプリケーションバージョンを文字列で検索します。 検索条件：中間一致、大文字小文字を区別しません。
アプリケーションバージョンの条件除外スイッチ	アプリケーションバージョンを条件除外する場合はオンにします。

8.4 NEXT クライアントのアップデート状況の確認

クライアント一覧画面の検索機能を使用し NEXT クライアントのアップデート状況を確認することができます。

例を用いて確認手順を説明します。

前提：

- バージョン「1.0.0.0000000000」の NEXT クライアントが 100 台稼働
- 新バージョン配置の 1 週間後に NEXT クライアントのアップデート状況を確認する
 - NEXT クライアントの総件数を確認する
 - アップデートが完了した NEXT クライアントの件数を確認する
 - アップデートできていない NEXT クライアントを確認する



以下のクライアントが含まれている場合、当確認手順では正確な状況は把握できません。

- NEXT クライアントをインストールしているが、1 度も NEXT 認証を実施していない
 - ⇒この場合、クライアント一覧に表示されません。
- バージョン 2.0.0.0000000000 にアップデートしたが、アップデート後に NEXT 認証を実施していない
 - ⇒この場合、クライアント一覧にバージョン「1.0.0.0000000000」で表示されます。

例 1. NEXT クライアントの総件数を確認する

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント一覧」をクリックしてください。
3. クライアント一覧の左上に表示されているクライアントの総件数を確認する。

検索条件

PC名	<input type="text"/>	アプリケーション名	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
IPアドレス	<input type="text"/>	アプリケーションバージョン	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
OSバージョン	<input type="text"/>			

(1 - 0) 100

[20] [50] [100]

最初 前へ 1 2 3 4 5 次へ 最後

	PC名	IPアドレス	OSバージョン	登録日時	更新日時	アプリケーション	
<input type="button" value="操作"/>	WIN10X64-001	192.168.1.1	Microsoft Windows NT 10.0.19043.0	2020/01/01 0:00:00	2020/01/01 0:00:00	NEXT クライアント	1.0.0.0000 000000
<input type="button" value="操作"/>	WIN10X64-002	192.168.1.2	Microsoft Windows NT 10.0.19043.0	2020/01/02 0:00:00	2019/12/31 0:00:00	NEXT クライアント	1.0.0.0000 000000

例2. アップデートが完了した NEXT クライアントの件数を確認する

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント一覧」をクリックしてください。
3. 検索条件の「アプリケーションバージョン」に「2.0.0.0000000000」を入力してください。
4. <検索>ボタンをクリックしてください。
5. クライアント一覧の左上に表示されているクライアントの総件数を確認する。

検索条件

PC名	<input type="text"/>	アプリケーション名	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
IPアドレス	<input type="text"/>	アプリケーションバージョン	2.0.0.0000000000	<input type="checkbox"/>
OSバージョン	<input type="text"/>			

(1 - 9) 76

[20] [50] [100]

最初 前へ 1 2 3 4 次へ 最後

	PC名	IPアドレス	OSバージョン	登録日時	更新日時	アプリケーション	
<input type="button" value="操作"/>	WIN10X64-014	192.168.1.14	Microsoft Windows NT 10.0.19043.0	2020/01/12 0:00:00	2019/12/21 0:00:00	NEXT クライアント	2.0.0.0000000000
<input type="button" value="操作"/>	WIN10X64-025	192.168.1.25	Microsoft Windows NT 10.0.19043.0	2020/01/13 0:00:00	2019/12/20 0:00:00	NEXT クライアント	2.0.0.0000000000

Info 例 1,2 の結果により「2.0.0.0000000000」へアップデートが完了した割合は 100 台中 76 台の 76%であることが分かります。

例3. アップデートできていないNEXT クライアントを確認する

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント一覧」をクリックしてください。
3. 検索条件の「アプリケーションバージョン」に「2.0.0.0000000000」を入力してください。
4. 検索条件の「アプリケーションバージョンの条件除外スイッチ」をオンにしてください。
5. <検索>ボタンをクリックしてください。
6. クライアント一覧を確認する。

検索条件

PC名

IPアドレス

OSバージョン

アプリケーション名

アプリケーションバージョン

検索
条件クリア

(1 - 20) 24 [20] [50] [100]

最初 前へ 1 2 次へ 最後

	PC名	IPアドレス	OSバージョン	登録日時	更新日時	アプリケーション	
操作 ▼	WIN10X64-001	192.168.1.1	Microsoft Windows NT 10.0.19043.0	2020/01/01 0:00:00	2020/01/01 0:00:00	NEXT クライアント	1.0.0.0000 000000
操作 ▼	WIN10X64-002	192.168.1.2	Microsoft Windows NT 10.0.19043.0	2020/01/02 0:00:00	2019/12/31 0:00:00	NEXT クライアント	1.0.0.0000 000000

Info 例3の結果によりPC名・IPアドレスが判明するため、NEXT クライアント使用者に対してアップデートを促すことができます。

9. クライアント設定

NEXT マネージャーのメニューの「クライアント設定」について説明します。

クライアント設定では、基本設定、利用する認証方式など NEXT クライアントに係る設定を行えます。

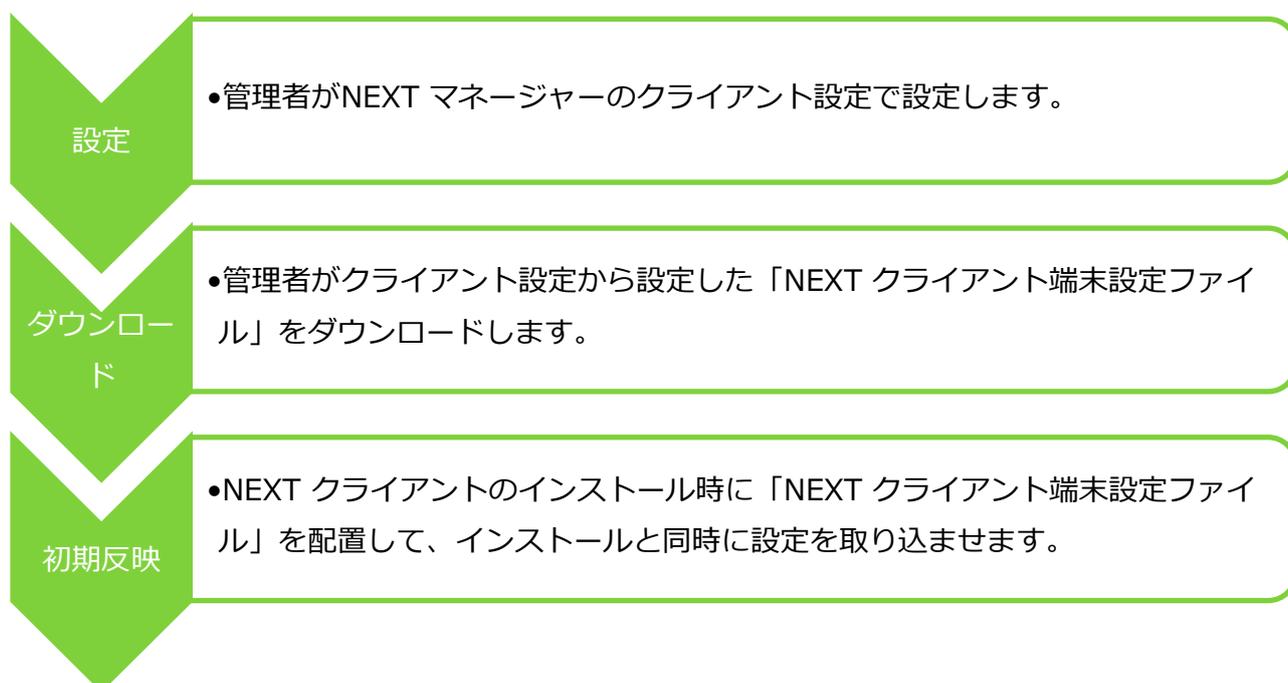
9.1 概要

NEXT クライアントは設定によって、「IC カード認証のみが利用できる NEXT クライアント」、「IC カード認証と顔認証が利用できる NEXT クライアント」など利用できる認証方式の限定や、複数の認証方式を許可する、といった柔軟な環境構築が可能になります。このような設定の中心となるのが「クライアント設定」です。

9.1.1. クライアント設定の NEXT クライアントインストール時の取り込み

クライアント設定は、NEXT マネージャーで設定した後、「NEXT クライアント端末設定ファイル」として NEXT マネージャーからダウンロードすることができます。

ダウンロードした「NEXT クライアント端末設定ファイル」を、NEXT クライアントインストーラーと同じフォルダに配置してインストールすることで、クライアント設定をインストール時に取り込ませることができます。以下に流れを説明します。



9.1.2. 複数のクライアント設定

NEXT チームサーバーインストール初期は 1 つのクライアント設定「default」だけが登録されています。組織・団体に利用する NEXT クライアントがすべて同じ設定であれば、初期設定の「default」のクライアント設定を用途に合わせて編集の上、ご利用いただいても構いません。

たとえば、以下の例のように端末ごとに利用する認証方式を変えたい場合、Windows 自動ログオン利用を変えたい場合は、初期設定の「default」に加えて、クライアント設定を追加作成してご利用いただくこともできます。

・利用する認証方式を端末ごとに設定

クライアント設定タイプ名	説明
default	初期設定のクライアント設定。
一般職員用	「IC カード認証」を利用可能。
管理職員用	「IC カード認証」と「顔認証」を利用可能。

・基本設定を端末ごとに設定

クライアント設定タイプ名	説明
default	初期設定のクライアント設定。
一般職員用	Windows 自動ログオンする。(Windows アカウントを固定化する)
情報システム部門職員用	Windows 自動ログオンしない。(Windows アカウントを固定化しない)

9.1.3. クライアント設定の変更の反映

クライアント設定は、NEXT マネージャーで変更することで、インストール済みの NEXT クライアントに反映されます。運用当初は「Windows 自動ログオンしない設定」で開始し、その後、「Windows 自動ログオンする設定」に変える、などということが可能です。

NEXT マネージャーでのクライアント設定の変更は、以下のタイミングで NEXT クライアントに反映されます。

タイミング：

- ・ Windows サインイン、または画面ロックの解除に成功したあと

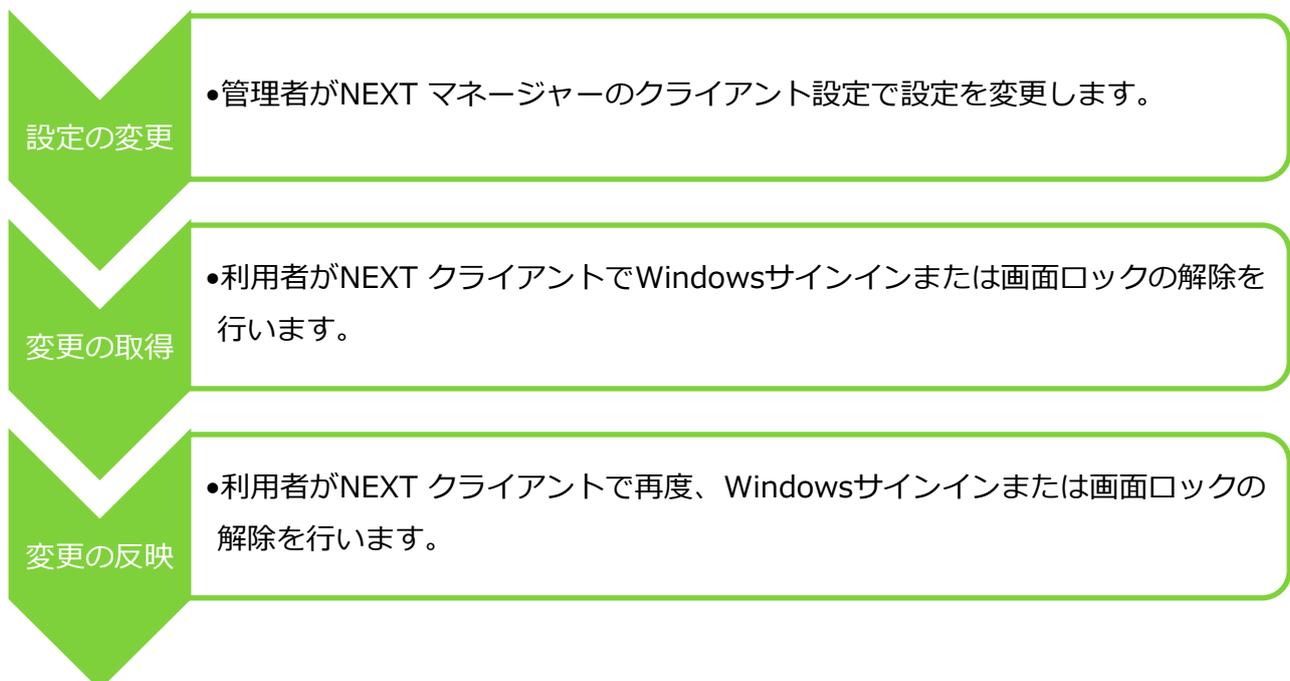
変更の取得の条件：

- ・ NEXT マネージャーのクライアント設定と、同一のクライアント設定を持つ端末であること
- ・ NEXT クライアントが NEXT チームサーバーと接続できる状態であること

取得後の反映の条件：

- ・ 変更取得後の Windows サインイン、または画面ロックの解除時

上記のタイミングでの変更の取得の内容にはクライアント設定だけでなく、ポリシー設定も含まれます。以下に流れを説明します。



たとえば、利用する認証方式を「ICカード認証のみ許可」しているクライアント設定を、「ICカード認証と顔認証も許可」と変更した場合の流れは以下になります。

設定の変更

- 管理者がNEXT マネージャーのクライアント設定で利用する認証方式の「顔認証」をオフからオンに変更します。

変更の取得

- 利用者がNEXT クライアントで「ICカード認証」で画面ロックの解除を行います。このときはまだ変更が取得できていないので「顔認証」は選択できません。

変更の反映

- 利用者がNEXT クライアントで再度、画面ロックの解除を行うときには「ICカード認証」だけでなく「顔認証」も選択できるようになります。

Info クライアント設定の変更の取得の内容にはクライアント設定だけでなく、ポリシー設定も含まれます。

たとえば、クライアント設定で「顔認証」をオフからオンのように変更し、加えてポリシー設定で「顔認証マスタに画像を登録しない」をオフからオンのように変更した場合の流れは以下になります。

設定の変更

- 管理者がNEXT マネージャーのクライアント設定で利用する認証方式の「顔認証」をオフからオンに、ポリシー設定で「顔認証マスタに画像を登録しない」をオフからオンに変更します。

変更の取得

- 利用者がNEXT クライアントで「顔認証」以外のNEXT 認証で画面ロックの解除を行います。このときはまだ変更が取得できていないので「顔認証」は選択できません。
(顔認証マスタに画像も登録されません)

変更の反映

- 利用者がNEXT クライアントで再度、画面ロックの解除を行うときには「顔認証」が選択でき、顔認証マスタに画像が登録されるようになります。

9.2 クライアント情報の設定

クライアント設定には「基本設定」、「利用する認証方式」があります。以下にそれぞれの設定項目について説明します。

9.2.1. 基本設定

「基本設定」では、クライアント情報の基本的な設定を行います。

The screenshot shows the 'Client Settings' (クライアント設定) window with the 'Basic Settings' (基本設定) tab selected. The settings are as follows:

- クライアント設定名 *: default
- NEXTWebサーバーURL *: https://192.168.2.162
- NEXTログサーバーURL *: https://192.168.2.162
- プロキシサーバーURL: (empty)
- オンライン認証タイムアウト値 *: 10
- オフラインネットワークアドレス利用方式 *: 利用しない
- オフラインネットワークアドレス: (empty)
- NEXTパスワード入力をする *:
- WindowsユーザーIDを自動入力する *:
- Windowsに自動サインインする *:

項目	説明
クライアント設定名 (必須)	クライアント設定の名前を指定してください。 既に登録済みのクライアント設定と同じ名前を指定することはできません。 使用可能文字：半角および全角文字 文字数：最大 50 文字
NEXT Web サーバーURL (必須)	接続先の NEXT Web サーバーを URL 書式で指定してください。 初期値：https://<NEXT チームサーバーIP アドレス> 文字数：最大 255 文字

項目	説明
NEXT ログサーバーURL (必須)	<p>接続先の NEXT ログサーバーを URL 書式で指定してください。</p> <p>初期値 : https://<NEXT チームサーバーIP アドレス> 文字数 : 最大 255 文字</p>
プロキシサーバーURL	<p>接続先のプロキシサーバーを URL 書式で指定してください。</p> <p>初期値 : なし 文字数 : 最大 255 文字</p>
オンライン認証タイムアウト値	<p>NEXT 認証の通信でタイムアウトするまでの時間 (秒) を指定してください。</p> <p>タイムアウトした場合はオフラインで認証します。</p> <p>最小値 : 10 最大値 : 50 初期値 : 10</p>
オフラインネットワークアドレス利用方式	<p>NEXT 認証のオフラインまでのタイムアウトをスキップさせる機能を有効とするかを指定します。</p> <p>詳細は、表下の「オフラインネットワークアドレスとは？」を参照してください。</p> <p>選択値 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用しない ● ホワイトリスト方式 ● ブラックリスト方式 <p>初期値 : 利用しない</p>
オフラインネットワークアドレス	<p>「オフラインネットワークアドレス利用方式」をホワイトリスト方式、またはブラックリスト方式に設定した場合のネットワークアドレスを指定します。</p> <p>ネットワークアドレス/サブネットマスクの書式で入力し、カンマで複数指定できます。</p> <p>詳細は、表下の「オフラインネットワークアドレスとは？」を参照してください。</p> <p>初期値 : なし 文字数 : 最大 255 文字</p>
NEXT パスワード入力をする	<p>NEXT 認証を行うときに、NEXT パスワードをユーザーに入力させたい場合は、オンにしてください。</p> <p>なお、オフにした場合でも、IC カードの登録や顔情報の登録時などは NEXT パスワードの入力が必要になります。本設定は NEXT 認証時の NEXT パスワード入力にのみ反映されません。</p> <p>初期値 : オフ</p>

項目	説明
Windows ユーザーID を自動入力する	<p>Windows サインインを行うときに、NEXT ユーザーに設定した Windows ユーザーID で自動入力させたい場合は、オンにしてください。</p> <p>初期値：オフ</p> <p>設定がオン時、認証を行う NEXT ユーザーの Windows アカウントが未登録 (0 件) の場合、認証エラーとなります。ただし、緊急パスワード認証時は除きます。</p>
Windows に自動サインインする	<p>Windows サインインを行うときに、NEXT ユーザーに設定した Windows ユーザーID とパスワードで自動サインインさせたい場合は、オンにしてください。</p> <p>初期値：オフ</p> <p>設定がオン時、認証を行う NEXT ユーザーの Windows アカウントが未登録 (0 件) の場合、認証エラーとなります。ただし、緊急パスワード認証時は除きます。</p>

Info 「プロキシサーバーURL」を設定した場合は、NEXT クライアントと NEXT チームサーバー間の通信は、設定されたプロキシサーバーを使用して通信が行われます。ただし、「localhost」、「127.0.0.1」は除外アドレスとして扱われます。また、「プロキシサーバーURL」を設定した場合は、環境変数「http_proxy」、「https_proxy」、「no_proxy」の値は使用されません。

Windows の設定画面や、インターネットオプションで設定したプロキシ設定は使用されません。

Info 「プロキシサーバーURL」を設定をしない場合は、NEXT クライアントから NEXT チームサーバーへの通信は、以下の仕様で行われます。

- ・環境変数のプロキシ設定が適用されます。
- ・この場合の環境変数は、「http_proxy」、「https_proxy」、「no_proxy」です。

Windows の設定画面や、インターネットオプションで設定したプロキシ設定は使用されません。

Info オフラインネットワークアドレスとは？

テレワークなどで、NEXT チームサーバーとは直接通信できないがネットワークを利用されている場合、認証時に NEXT チームサーバーと通信が試みられ、通信タイムアウトされるまで、待ち時間が発生します。

この待ち時間を避けるため、「オフィスの社内 LAN のネットワークアドレスでは無い場合、オフラインと判断させる」ことができます。この設定を行うのが「オフラインネットワークアドレス利用方式」と「オフラインネットワークアドレス」の項目です。

例：オフィスの社内 LAN のネットワークアドレスでは無い場合、オフラインと判断させる以下の環境とします。

- オフィスの社内 LAN 上の NEXT チームサーバーの IP アドレス：172.16.0.100/23
- オフィスの社内 LAN のネットワークアドレス：172.16.0.0/23
- テレワークなどで利用されるネットワークアドレス：192.168.0.0/24, 192.168.1.0/23

テレワークなどで利用されるネットワークアドレスの場合、オフラインと即時判断させるためには、以下の設定を行います。

- ブラックリスト方式の場合：
オフラインネットワークアドレス利用方式：ブラックリスト方式
オフラインネットワークアドレス：172.16.0.0/23
- ホワイトリスト方式の場合：
オフラインネットワークアドレス利用方式：ホワイトリスト方式
オフラインネットワークアドレス：192.168.0.0/24,192.168.1.0/23

※この場合、テレワークなどで利用されるネットワークアドレスが環境により変わる場合、追加が随時必要になります。

- ・環境変数のプロキシ設定が適用されます。
- ・この場合の環境変数は、“http_proxy”、“https_proxy”、“no_proxy”です。

Windows の設定画面や、インターネットオプションで設定したプロキシ設定は使用されません。

9.2.2. 利用する認証方式

「利用する認証方式」では、NEXT クライアントで利用する認証方式の設定を行います。NEXT クライアントで利用できる認証方式は以下のとおりです。

認証方式	説明
IC カード認証	IC カードを利用して行う認証です。 IC カードと NEXT パスワードを組み合わせることで多要素認証を行えます。
顔認証	顔情報を利用して行う生体認証です。 顔情報と NEXT パスワードを組み合わせることで多要素認証を行えます。
NEXT 管理者パスワード認証	NEXT 管理者パスワードは、NEXT クライアントで、IC カード認証や顔認証の代わりに使用できるパスワードです。管理者が IC カード認証や顔認証を利用せず、NEXT Signin の機能を有効にしたままコンピューターを利用することができます。管理者パスワードは通常、クライアント設定を作成した管理者だけが把握し、利用します。 この管理者パスワードで行う認証のことです。
NEXT 緊急パスワード認証	NEXT 緊急パスワードは、NEXT クライアントで、IC カード認証や顔認証の代わりに使用できる有効期限付きのパスワードです。IC カードを忘れた、外出先でカメラが壊れた場合などに NEXT ユーザー ID と緊急パスワードの入力による認証を行うことにより、NEXT Signin の機能を有効にしたままコンピューターを利用することができます。緊急パスワードは通常、管理者が NEXT マネージャーで NEXT ユーザーごとに発行します。 この緊急パスワードで行う認証のことです。
ワンタイムパスワード認証	ワンタイムパスワードを利用して行う認証です。 ワンタイムパスワードと NEXT パスワードを組み合わせることで多要素認証を行えます。
Windows 標準認証	マイクロソフト社が用意しているパスワードによる Windows のサインイン認証です。通常、Windows OS の初期設定の認証手段です。 NEXT Signin による本人認証の強化を IC カード認証や顔認証で行い、多要素認証を必須にする場合は本機能をオフにする必要があります。

次に各認証方式の設定項目を説明します。

利用する認証方式

ICカード認証

未登録時にICカードの登録を許可する

顔認証

顔照合時に照合画面を表示する

照合精度 中 ▼

顔認証オプション 標準 ▼

マスクを使用する

顔情報の登録を許可する

顔情報の再登録を許可する

NEXT管理者パスワード認証

管理者パスワード*

確認用管理者パスワード*

NEXT緊急パスワード認証

ワンタイムパスワード認証

Windows標準認証

・ IC カード認証の設定

項目	説明
IC カード認証	IC カード認証を使用する場合は、オンにします。 初期値：オン
未登録時に IC カードの登録を許可する	IC カードが未登録時にユーザーによる IC カードの登録を許可する場合は、オンにします。 オフにすると IC カードが未登録時でもユーザーによる IC カードの登録はできず、管理者が NEXT マネージャーで予め登録した IC カードを利用させる運用を行うことができます。 初期値：オン

・顔認証の設定

項目	説明
顔認証	顔認証を使用する場合は、オンにします。 初期値：オフ
顔照合時に照合画面を表示する	顔認証で照合画面を表示する場合は、オンにします。設定をオフにしても、顔登録時は照合画面を表示します。 顔認証オプションで「強化する」が設定されている場合は、登録時に自動的にオンになります。 初期値：オン
照合精度	<p>顔の認証しやすさを設定します。高くすると、他人受入率を下げるできますが本人拒否率が上がります。低くすると、本人拒否率は下がりますが他人受入率が上がります。</p> <p>設定は、以下を参考に行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い <ul style="list-style-type: none"> 使用するクライアント端末、カメラ、明るさ、カメラとの距離など多くの条件が顔情報を登録した時と同じ環境で認証可能な設定です。多くの条件が異なる場合は、認証がしにくい場合があります。 ・やや高い <ul style="list-style-type: none"> 「高い」と「中」の中間の設定です。 ・中 <ul style="list-style-type: none"> 登録時と異なるクライアント端末、カメラ、明るさでも認証が可能な設定です。屋内/社内で利用するユーザーに適しています。 ・やや低い <ul style="list-style-type: none"> 「中」と「低い」の中間の設定です。 ・低い <ul style="list-style-type: none"> 使用するクライアント端末、カメラ、明るさ、カメラとの距離など多くの条件が顔情報を登録した時と異なる環境で認証可能な設定です。屋内/屋外や社内/社外など異なる場所でクライアント端末を使用するユーザーに適しています。 <p>なお、「照合精度」の設定はユーザーごとに設定することも可能です。ユーザー情報の設定は、ここでの設定より優先されます。ユーザー情報の設定については、「11.5. 顔認証マスタ管理」を参照してください。</p> <p>初期値：中</p>

項目	説明
顔認証オプション	<p>顔認証の標準の機能に加えて「強化する」を設定すると、まばたきを検知します。</p> <p>「強化する」を設定すると検知を行うため、顔認証にかかる時間が長くなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準 生体動作の検知を行いません。 ・強化する 対象人物のまばたきをチェックします。 <p>初期値：標準</p>
マスクを使用する	<p>設定をオンにすると、マスクを着用している状態でも顔認証を行えます。</p> <p>なお、「マスクを使用する」の設定はユーザーごとに設定することも可能です。ユーザー情報の設定は、ここでの設定より優先されます。ユーザー情報の設定については、「11.5. 顔認証マスタ管理」を参照してください。</p> <p>初期値：オン</p>
顔情報の登録を許可する	<p>ユーザーによる顔情報の登録を許可する場合は、オンにします。</p> <p>オフにするとユーザーによる顔情報の登録はできず、管理者が NEXT マネージャーで予め登録した顔情報を利用させる運用を行うことができます。</p> <p>初期値：オン</p>
顔情報の再登録を許可する	<p>ユーザーによる顔情報の登録し直しを許可する場合は、オンにします。</p> <p>オフにすると管理者が登録済みの顔情報を削除しない限り、ユーザーによる顔情報の登録し直しはできません。</p> <p>初期値：オフ</p>

・NEXT 管理者パスワード認証の設定

項目	説明
NEXT 管理者パスワード認証	NEXT 管理者パスワード認証を使用する場合は、オンにします。 初期値：オン
管理者パスワード (「NEXT 管理者パスワード認証」がオンの場合、必須)	管理者パスワードを指定してください。 使用可能文字：半角英数、記号 文字数：最大 127 文字 初期値：password
確認用管理者パスワード (「NEXT 管理者パスワード認証」がオンの場合、必須)	確認用に同じ管理者パスワードを指定してください。 使用可能文字：半角英数、記号 文字数：最大 127 文字 初期値：password



IC カード認証、顔認証が何らかの理由で利用できない場合の対応として、管理者向けには NEXT 管理者パスワード認証が用意されています。しかし、NEXT 管理者パスワードを管理者が失念した場合、NEXT 管理者パスワード認証で画面ロックを解除することはできませんので NEXT 管理者パスワードは忘れないよう注意が必要です。

NEXT 管理者パスワード認証をオフにすると、IC カード認証、顔認証が何らかの理由で利用できない場合に画面ロックを解除することができなくなる恐れがあります。

・NEXT 緊急パスワード認証の設定

項目	説明
NEXT 緊急パスワード認証	NEXT 緊急パスワード認証を使用する場合は、オンにします。 初期値：オン

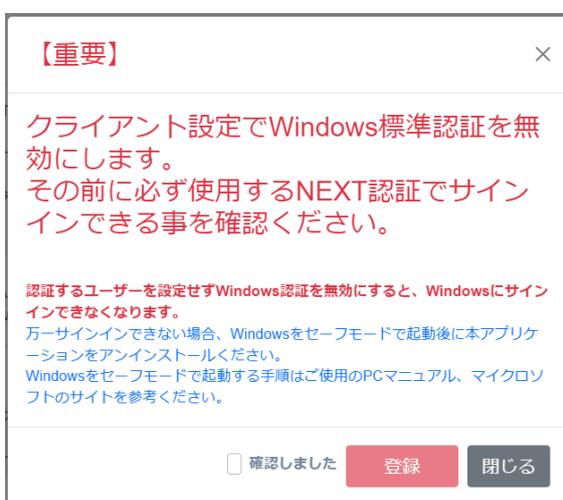
・ワンタイムパスワード認証の設定

項目	説明
ワンタイムパスワード認証	ワンタイムパスワード認証を使用する場合は、オンにします。 初期値：オン

・ Windows 標準認証の設定

項目	説明
Windows 標準認証	Windows 標準認証を使用する場合は、オンにします。 NEXT 認証による二要素認証での運用を必須にするためにはオフにします。オフにすると、Windows 標準認証が利用できなくなり、IC カード認証、顔認証、NEXT 緊急パスワード認証、NEXT 管理者パスワード認証などによる画面ロック解除が必須になります。 初期値：オン

Windows 標準認証の設定をオフにした状態で<登録>ボタンをクリックすると下記の警告画面が表示されますので、内容をご確認ください。



Windows 標準認証の設定をオフにする場合は、<確認しました>にチェックを入れて<登録>ボタンをクリックしてください。

Windows 標準認証の設定をオンにする場合は、<閉じる>ボタンをクリックして Windows 標準認証の設定をオンに設定してください。

Windows 標準認証をオフにすることで、利用者は IC カード認証や顔認証の利用が必須となり、多要素認証による本人認証を強化する運用が可能になります。

一方、Windows 標準認証をオフにすると、NEXT ユーザーの登録、IC カードの登録、顔情報の登録などが正しく行えていないと、IC カード認証、顔認証を利用して画面ロックを解除することができなくなり、業務に支障をきたすこととなります。

IC カード認証、顔認証が何らかの理由で利用できない場合の対応として、管理者向けには NEXT 管理者パスワード認証が用意されています。しかし、NEXT 管理者パスワードを管理者が失念した場合、NEXT 管理者パスワード認証で画面ロックを解除することはできませんので、NEXT 管理者パスワードは忘れないよう注意が必要です。

同様に、利用者向けには NEXT 緊急パスワード認証が用意されています。しかし、NEXT 緊急パスワードは管理者があらかじめ、利用者向けに発行しておく必要がありますので注意が必要です。

Windows 標準認証の設定がオフの状態、何らかの理由で IC カード認証や顔認証の利用が不可となった場合、チーム版では、別途構築されている NEXT チームサーバーで NEXT 緊急パスワードの発行を行って Windows へのサインインが可能です。

9.3 クライアント設定の作成/編集/削除

クライアント設定の作成、および編集する場合、PCの用途を指定してクライアントの設定を変更する機能があり、分かりづらい設定項目をより簡単に設定できます。

クライアント設定の編集方法には2つの方法があります。

クライアント設定の作成方法	説明
個別作成	クライアント設定の全ての項目を個別にカスタマイズして作成できます。 用途別設定の作成ウィザード画面を閉じることでクライアント設定の個別作成ができます。
用途別設定の作成	用途別設定の作成ウィザード画面から選択ができます。 現在は「個人 PC 用」と「共有 PC 用」があります。 個人 PC 用：個人で利用する PC を二要素認証でセキュリティ強化します。 パスワード以外に所持するもの、または存在を示す特徴の情報を利用します。 共有 PC 用：窓口など複数の利用者と Windows アカウントを共有する PC を二要素認証でセキュリティを強化します。 パスワード以外に所持するもの、または存在を示す特徴の情報を利用します。

9.3.1. クライアント設定の個別作成

新しくクライアント設定を個別作成する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント設定」をクリックしてください。
3. 初期設定のクライアント設定が表示されます。
4. 「基本設定」の右上の<プラス>アイコンをクリックしてください。



5. 「新規作成しますか?」と確認ダイアログが表示されます。<新規作成>ボタンをクリックしてください。



6. 用途別設定の作成ウィザード画面が表示されますので、<x>ボタンをクリックして閉じてください。



個人PC用



個人で利用するPCを二要素認証でセキュリティ強化します。
パスワード以外に所持するもの、または存在を示す特徴の情報を利用します。

使用するパスワード

- × NEXTパスワード使用
- ✓ Windowsパスワード使用

適用される基本設定

- × NEXTパスワード入力をする
- × WindowsユーザーIDを自動入力する
- × Windowsに自動サインインする

適用

共有PC用



窓口など複数の利用者でWindowsアカウントを共有するPCを二要素認証でセキュリティを強化します。
パスワード以外に所持するもの、または存在を示す特徴の情報を利用します。

使用するパスワード

- ✓ NEXTパスワード使用
- ✓ Windowsパスワード使用

適用される基本設定

- ✓ NEXTパスワード入力をする
- ✓ WindowsユーザーIDを自動入力する
- × Windowsに自動サインインする

適用

7. デフォルトのクライアント設定画面が表示されます。クライアント設定をカスタマイズする場合は、各項目を設定してください。

クライアント設定

基本設定

クライアント設定名 *	<input type="text" value="新しいクライアント設定名"/>
NEXTWebサーバーURL *	<input type="text" value="https://192.168.2.162"/>
NEXTログサーバーURL *	<input type="text" value="https://192.168.2.162"/>
プロキシサーバーURL	<input type="text"/>
オンライン認証タイムアウト値 *	<input type="text" value="10"/>
オフラインネットワークアドレス利用方式 *	<input type="text" value="利用しない"/> ▼
オフラインネットワークアドレス	<input type="text"/>
NEXTパスワード入力をする *	<input type="checkbox"/>
WindowsユーザーIDを自動入力する *	<input type="checkbox"/>
Windowsに自動サインインする *	<input type="checkbox"/>

8. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

9.3.2. クライアント設定の用途別作成

クライアント設定を用途別に編集する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント設定」をクリックしてください。
3. 現在のクライアント設定が表示されます。
4. 「基本設定」の右上の<変更>アイコンをクリックしてください。



5. 「新規作成しますか?」と確認ダイアログが表示されます。<新規作成>ボタンをクリックしてください。



6. 用途別設定の作成ウィザード画面が表示されます。「個人 PC 用」、または「共有 PC 用」の<適用>ボタンをクリックしてください。

個人PC用



個人で利用するPCを二要素認証でセキュリティ強化します。
パスワード以外に所持するもの、または存在を示す特徴の情報を利用します。

使用するパスワード

- × NEXTパスワード使用
- ✓ Windowsパスワード使用

適用される基本設定

- × NEXTパスワード入力をする
- × WindowsユーザーIDを自動入力する
- × Windowsに自動サインインする

適用

共有PC用



窓口など複数の利用者でWindowsアカウントを共有するPCを二要素認証でセキュリティを強化します。
パスワード以外に所持するもの、または存在を示す特徴の情報を利用します。

使用するパスワード

- ✓ NEXTパスワード使用
- ✓ Windowsパスワード使用

適用される基本設定

- ✓ NEXTパスワード入力をする
- ✓ WindowsユーザーIDを自動入力する
- × Windowsに自動サインインする

適用

7. 用途別設定の作成ウィザード画面で選択したクライアント設定が表示されます。あらかじめ項目が設定されていますので、クライアント設定をカスタマイズする場合は、各項目を設定してください。

クライアント設定

基本設定

クライアント設定名 *	<input type="text" value="新しいクライアント設定名"/>
NEXTWebサーバーURL *	<input type="text" value="https://192.168.2.162"/>
NEXTログサーバーURL *	<input type="text" value="https://192.168.2.162"/>
プロキシサーバーURL	<input type="text"/>
オンライン認証タイムアウト値 *	<input type="text" value="10"/>
オフラインネットワークアドレス利用方式 *	<input type="text" value="利用しない"/>
オフラインネットワークアドレス	<input type="text"/>
NEXTパスワード入力をする *	<input checked="" type="checkbox"/>
WindowsユーザーIDを自動入力する *	<input checked="" type="checkbox"/>
Windowsに自動サインインする *	<input type="checkbox"/>

8. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

9.3.3. クライアント設定の編集

既存のクライアント設定を編集する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント設定」をクリックしてください。
3. 初期設定のクライアント設定が表示されます。
4. 「基本設定」の右上の<ハンバーガー>アイコンをクリックしてください。



5. 「クライアント設定一覧」が表示されます。編集するクライアント設定の「クライアント設定名」をクリックしてください。



6. 「クライアント設定」の編集画面が表示されます。
7. 各項目を設定してください。
8. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

9.3.4. クライアント設定の削除

クライアント設定を削除する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント設定」をクリックしてください。
3. 初期設定のクライアント設定が表示されます。
4. 「基本設定」の右上の<ハンバーガー>アイコンをクリックしてください。



5. 「クライアント設定一覧」が表示されます。削除するクライアント設定の「クライアント設定名」をクリックしてください。



6. 「クライアント設定」の編集画面が表示されます。
7. <削除>ボタンをクリックしてください。
8. 「警告」ダイアログが表示されます。本当に削除する場合は、「同意します」にチェックをした後、<削除>ボタンをクリックしてください。





- ・削除したクライアント設定は、元に戻すことはできません。
- ・クライアント設定の削除は、このクライアント設定を使用してインストールした NEXT クライアントで、NEXT クライアントソフトウェアのアンインストール後に行ってください。または、別のクライアント設定を使用して NEXT クライアントソフトウェアの再インストール後に行ってください。クライアント設定を削除しても NEXT クライアントは使用できますが、NEXT マネージャーのクライアント設定での管理はできなくなります。

9.4 クライアント設定のダウンロード

クライアント設定は、「NEXT クライアント端末設定ファイル」として管理者がダウンロードしておき、NEXT クライアントのインストール時に、NEXT クライアントインストーラーによって取り込むことができます。クライアント設定のダウンロードは以下の手順で行ってください。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「クライアント設定」をクリックしてください。
3. 初期設定のクライアント設定が表示されます。
4. 「基本設定」の右上の<ハンバーガー>アイコンをクリックしてください。



5. 「クライアント設定一覧」が表示されます。ダウンロードするクライアント設定の<ダウンロード>アイコンをクリックしてください。



6. 「名前を付けて保存」などの Web ブラウザのファイル保存ダイアログが表示されます。
7. 保存場所を選択して保存してください。
このとき、ファイル名は変更せず、格納するフォルダ名で管理されることを推奨します。
NEXT クライアントインストーラーで取り込む際には「NEXT クライアント端末設定ファイル」のファイル名は保存時の"client.json"という固定の名前である必要があるためです。
ダウンロード後の「NEXT クライアント端末設定ファイル」の配置の詳細は、「ARCACLAVIS NEXT セットアップガイド」を参照してください。

10. ポリシー設定

10.1 概要

ポリシー設定では、主に NEXT ユーザーの NEXT パスワードなどの設定を行えます。

ポリシー設定は、サーバー共有で1つです。クライアント設定のように複数の設定を持つことはできません。

ポリシー設定は、NEXT マネージャーで変更することで、インストール済みの NEXT クライアントに反映されます。運用当初は「NEXT ユーザーのロックアウトのしきい値」を"7"で開始し、その後、"5"に変える、などということが可能です。

NEXT マネージャーでのポリシー設定の変更は、クライアント設定の変更の反映と同じタイミング、条件で NEXT クライアントに反映されます。

詳細は「9.1.3. クライアント設定の変更の反映」を参照してください。

ポリシー設定 ?

共通

初回サインイン時にNEXTパスワードを変更する*

NEXTパスワードの複雑さ*

NEXTパスワードの長さ(最小)*

NEXTパスワードの長さ(最大)*

NEXTパスワード有効日数*

NEXTユーザーのロックアウトのしきい値*

無期限のNEXTユーザーを許可しない*

NEXTクライアント

オフライン有効日数*

NEXTサーバー

顔認証マスクに画像を登録しない*

10.1.1.1. 共通

項目	説明
初回サインイン時にNEXT パスワードを変更する (必須)	NEXT クライアント、NEXT マネージャーの初回サインイン時にNEXT パスワードを変更させる場合は、オンにしてください。 オンにした場合、NEXT クライアントで以下の操作を行った際にNEXT パスワード変更画面が表示されます。NEXT パスワードを変更しないと、いずれの処理も行えません。 <ul style="list-style-type: none"> ・サインイン時 ・画面ロック解除時 ・認証情報の登録時 ・NEXT マネージャーでNEXT ユーザーのパスワードをリセットした時 初期値：オフ
NEXT パスワードの複雑さ (必須)	NEXT パスワードが複雑さの要件を満たす必要があるかどうかを設定します。 オンにした場合、NEXT パスワードは次の要件をすべて満たす必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・英字 (a から z、または A から Z)を含む。 ・数字 (0 から 9)を含む。 ・記号を含む。 初期値：オフ
NEXT パスワードの長さ(最小) (必須)	NEXT パスワードの最小文字列長を設定します。 次の「NEXT パスワードの長さ(最大)」より大きい値は設定できません。 最小値：1 最大値：32 初期値：8
NEXT パスワードの長さ(最大) (必須)	NEXT パスワードの最大文字列長を設定します。 前の「NEXT パスワードの長さ(最小)」より小さい値は設定できません。 最小値：1 最大値：32 初期値：32

項目	説明
NEXT パスワード有効日数 (必須)	<p>設定した NEXT パスワードを使用できる期間 (日数) を指定します。この期間を過ぎると、変更するよう要求されます。(顔照合エラー時はオフライン認証となるため、NEXT パスワードの有効期限切れのチェックは行われません)</p> <p>1 から 365 までの日数を指定するか、0 に設定して NEXT パスワードの有効期限が切れないように指定します。</p> <p>最小値：0 最大値：365 初期値：42</p>
NEXT ユーザーのロックアウトのしきい値 (必須)	<p>指定された回数 NEXT 認証に失敗すると、NEXT ユーザーがロックアウトされます。(顔照合エラー時はオフライン認証となるため、ロックアウトのしきい値のエラー回数としてカウントしません)</p> <p>ロックアウト状態を解除する場合は、「パスワードリセット」を行ってください。</p> <p>0 に設定すると、ロックアウトしません。</p> <p>最小値：0 最大値：30 初期値：7</p>
無期限の NEXT ユーザーを許可しない (必須)	<p>オンにした場合、NEXT ユーザーの有効期限を設定しない状態での NEXT ユーザーの作成/編集ができなくなります。</p> <p>初期値：オフ</p>

Info NEXT パスワードの有効期限は、「NEXT パスワードの最終更新日」に「ポリシーで設定した NEXT パスワード有効日数」を加算し、その日時が過ぎた場合に「期限切れ」と判定します。「NEXT パスワードの最終更新日」は以下で設定/更新されます。

- NEXT クライアントで NEXT パスワードを変更した時
- NEXT マネージャーのサインイン時に NEXT パスワードを変更した時
- NEXT マネージャーの管理者ポータルで NEXT ユーザーを新規作成した時
- NEXT マネージャーの管理者ポータルで NEXT ユーザーの NEXT パスワードを変更した時 (CSV インポート含む)
- NEXT マネージャーの管理者ポータルで NEXT パスワードをリセットした時
- NEXT マネージャーのユーザーポータルで NEXT パスワードを変更した時

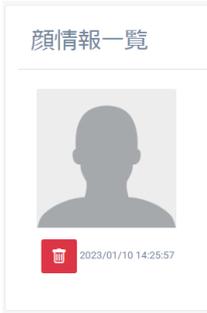
Info NEXT ユーザーのロックアウトの詳細は、「付録. NEXT ユーザーのロックアウト」を参照してください。

Info キャッシュを利用するオフライン時の詳細は、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

10.1.2. NEXT クライアント

項目	説明
オフライン有効日数 (必須)	NEXT クライアントで保持するキャッシュの有効期限を指定します。キャッシュを利用することで、NEXT クライアントが NEXT チームサーバーと接続できないオフライン環境でも NEXT Signin などの機能が利用できます。 0 に設定すると、無期限になります。 最小値：0 最大値：3650 初期値：90

10.1.3. NEXT サーバー

項目	説明
顔認証マスクに画像を登録しない (必須)	オンにすると顔認証マスクに顔情報のみ登録し、画像を登録しません。 画像を登録しない場合、顔認証マスク管理画面の顔画像は表示されずにシルエット表示となります。  初期値：オフ

10.2 ポリシー設定の編集

ポリシー設定を編集する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「ポリシー設定」をクリックしてください。
3. 各項目を設定してください。
4. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

11. NEXT ユーザー管理

11.1 概要

ユーザー管理では、NEXT ユーザーの情報の設定、NEXT ユーザーの運用に係る操作を行います。メニューの「NEXT ユーザー一覧」では、登録されている NEXT ユーザーの一覧が表示されます。

ユーザー管理

検索条件

NEXTユーザーID

NEXTユーザー名

アカウントのロックアウト

NEXTパスワードの有効期限切れ

NEXTユーザーの有効期限切れ

無効ユーザー

検索オプション ↑

検索 条件クリア ダウンロード

(1 - 2) 2 [20] [50] [100] 最初 前へ 1 次へ 最後

	NEXTユーザーID	NEXTユーザー名	無効	有効期間(開始)	有効期間(終了)	エラー回数	NEXTパスワード最終更新日時	最終オンラインログイン日時	作成日時	更新日時
編集	admin	管理者(ビルトイン)				0	2023/11/06 10:45:19		2023/11/02 17:17:49	2023/11/06 10:45:19
編集	subsystem	サブシステム利用者(ビルトイン)				0			2023/11/02 17:17:49	2023/11/02 17:17:49

メインパネルに表示される NEXT ユーザー一覧の各 NEXT ユーザーの状態を表すステータスアイコンが表示される場合があります。下図に説明します。

ステータスアイコン	ツールチップでの表示
	NEXT ユーザーの有効期限が切れています
	NEXT パスワードの有効期限が切れています
	アカウントがロックアウトされています
	無効なユーザー

「NEXT ユーザー一覧」からユーザーを検索して、編集などの操作が行えます。メインパネルに表示されるユーザー一覧では、「NEXT ユーザーID」などの各項目名をクリックすることで、昇順/降順の並べ替えができます。

	NEXTユーザーID	NEXTユーザー名	無効	有効期間(開始)	有効期間(終了)	エラー回数	NEXTパスワード最終更新日時	最終オンラインログイン日時	作成日時	更新日時
編集	admin	管理者(ビルトイン)				0	2023/11/06 10:45:19		2023/11/02 17:17:49	2023/11/06 10:45:19

メインパネルに表示される NEXT ユーザー一覧の上部には、総登録 NEXT ユーザー数、ページ送りなどが表示されています。下図を例に説明します。

(1-20) 150

[20] [50] [100]
最初 前へ 1 2 3 4 5 6 7 8 次へ 最後

項目	説明
NEXT ユーザーの表示している番号範囲	メインパネルの NEXT ユーザー一覧に表示している番号範囲です。 図では、左の「(1-20)」と表示している部分です。
総登録 NEXT ユーザー数	登録されている NEXT ユーザー数です。 図では、左の「150」と表示している部分です。
1 ページで表示する NEXT ユーザー数	1 ページで表示する NEXT ユーザー数です。 20,50,100 から選択でき、クリックすることで、1 ページで表示する NEXT ユーザー数を変更することができます。 図では、右の「[20] [50] [100]」と表示している部分です。
ページ送り	メインパネルの NEXT ユーザー一覧のページ送りを行うことができる表示部分です。 図は、「[最初][前へ][1]….[次へ][最後]」と表示している部分です。

メインパネルに表示される NEXT ユーザー一覧の各 NEXT ユーザーの左のボタンから、その NEXT ユーザーに関する各種の操作が行えます。各項目の概要を説明します。詳細は以降の本マニュアルで説明します。



項目	説明
編集	NEXT ユーザーの編集を行います。
削除	NEXT ユーザーの削除を行います。 ただし、管理者(ビルトイン)ユーザーは削除することができません。
NEXT パスワードリセット	NEXT 認証を一定回数、失敗した場合、アカウントがロックアウトされます。このロックアウトを解除するためにパスワードのリセットを行います。
ロール設定	NEXT ユーザーのロールを設定します。
ICカードマスタ管理	NEXT ユーザーの利用する IC カードの情報を設定、確認します。
顔認証マスタ管理	NEXT ユーザーの顔認証で利用する顔情報を設定、確認します。
ワンタイムパスワード	NEXT ユーザーのワンタイムパスワードシークレットを発行して、スマートフォンの Authenticator アプリに登録するための QR コードを表示します。
NEXT 緊急パスワード発行	NEXT ユーザーの NEXT 緊急パスワードを発行します。

11.2 NEXT ユーザー情報の設定

NEXT ユーザー設定には「基本設定」、「Windows アカウント」があります。以下にそれぞれの設定項目について説明します。

11.2.1. 基本設定

「基本設定」では、NEXT ユーザーの基本的な設定を行います。

項目	説明
NEXT ユーザーID (必須)	NEXT ユーザーID を指定してください。 NEXT ユーザーID は一意である必要があります。既に登録済みのNEXT ユーザーID と同じ ID を指定することはできません。 使用可能文字：半角英数、記号（ハイフン(-)、アンダーバー(_)、ドット(.)のみ) 文字数：最大 20 文字 初期値：設定なし
NEXT パスワード (必須)	NEXT 認証に使用する NEXT パスワードを指定してください。 入力値はポリシー設定により制限されます。 使用可能文字：半角英数、記号 文字数：最大 32 文字 初期値：設定なし
確認用 NEXT パスワード (必須)	確認用に再度、NEXT パスワードを指定してください。 入力値はポリシー設定により制限されます。 使用可能文字：半角英数、記号 文字数：最大 32 文字 初期値：設定なし

項目	説明
NEXT ユーザー名 (必須)	NEXT ユーザー名を指定してください。 使用可能文字：半角および全角文字 文字数：最大 50 文字 初期値：設定なし
有効期間(開始) (ポリシー設定の「無期限の NEXT ユーザーを許可しない」がオンの場合、必須)	NEXT ユーザーが利用できる期間の開始日を指定してください。 次の「有効期間(終了)」より後の日は設定できません。 サインイン中の NEXT ユーザーの「有効期間(開始)」を有効期限切れとなる設定(翌日以降の日付設定)にすることはできません。 例) 2024 年 7 月 1 日に NEXT マネージャーにサインインしている場合、「有効期間(開始)」を同年 7 月 2 日以降に設定することはできません。 初期値：設定なし
有効期間(終了) (ポリシー設定の「無期限の NEXT ユーザーを許可しない」がオンの場合、必須)	NEXT ユーザーが利用できる期間の終了日を指定してください。 前の「有効期間(開始)」より前の日は設定できません。 サインイン中の NEXT ユーザーの「有効期間(終了)」を有効期限切れとなる設定(前日以前の日付設定)にすることはできません。 例) 2024 年 7 月 1 日に NEXT マネージャーにサインインしている場合、「有効期間(終了)」を同年 6 月 30 日以前に設定することはできません。 初期値：設定なし
無効	オンにすると、NEXT ユーザーを無効にします。 サインイン中の NEXT ユーザーの無効設定は変更できません。 初期値：オフ

11.2.2. Windows アカウント

「Windows アカウント」では、NEXT Signin による Windows サインイン時に、クライアント設定により利用する Windows アカウントの情報の設定を行います。

The screenshot shows a form titled "Windowsアカウント" (Windows Account) with a green plus icon in the top right corner. Below the title is a trash can icon and two input fields: "WindowsユーザーID*" and "Windows/パスワード". The password field has a toggle icon to its right.

Windows アカウントの情報は、1つのNEXTユーザーに32個まで登録できます。下図は、2つのWindowsアカウントが登録されているNEXTユーザーの編集画面の例です。

The screenshot shows the same "Windowsアカウント" form, but now with two identical account entry sections stacked vertically. Each section contains a trash can icon, a "WindowsユーザーID*" field, and a "Windows/パスワード" field with a toggle icon.

初期は1つのWindowsアカウントを入力する欄しか表示されていません。

Windowsアカウントを追加登録する場合は、「Windowsアカウント」の入力エリアの右上にある<+>アイコンをクリックします。

This screenshot is identical to the previous one, but a red square highlights the green plus icon in the top right corner of the form's header area.

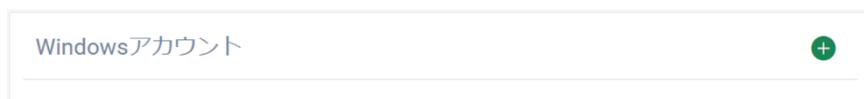


This screenshot is identical to the previous one, but a red rectangle highlights the entire second account entry section at the bottom of the form.

Windows アカウントを削除する場合は、削除したい Windows アカウントの入力エリアの左上にある<ゴミ箱>アイコンをクリックします。



The screenshot shows a 'Windows アカウント' (Windows Account) management panel. At the top left, the text 'Windows アカウント' is displayed next to a green plus icon. Below this, there is a trash can icon highlighted with a red square. To the right of the trash icon are two input fields: 'WindowsユーザーID*' and 'Windowsパスワード'. The password field has a small eye icon to its right.



The screenshot shows the 'Windows アカウント' management panel after the account has been deleted. The trash can icon is no longer present, and the input fields are empty. The text 'Windows アカウント' and the green plus icon remain at the top.

項目	説明
Windows ユーザーID	<p>Windows アカウントを指定してください。</p> <p>Windows アカウントは以下のいずれかの形式で指定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アカウント名のみ 例) user017 ※ドメイン参加 PC でドメイン名を省略すると、「domain¥user017」のように参加ドメイン名が補完されサインインを実行します。 ※ドメイン参加 PC でローカルコンピューターにサインインする場合は、アカウント名の前に「.¥」を入力してください。 ・ドメイン名¥アカウント名 例) domain¥user017 ・MicrosoftAccount¥Microsoft アカウント名 例) MicrosoftAccount¥user017@example.co.jp ※PIN 認証はできません <p>文字数：最大 256 文字 初期値：設定なし。ただし、新規作成時は 1 つ目の Windows アカウントの Windows ユーザーID の入力値がない場合、NEXT ユーザーID を自動的に補完して保存します。編集時は自動的に補完しません。</p>
Windows パスワード	<p>Windows アカウントのパスワードを指定してください。</p> <p>文字数：最大 127 文字 初期値：設定なし</p>

Info Windows アカウントを複数登録した時の登録後の表示順は、Windows ユーザーID の英数字の昇順に表示します。

Info Windows アカウントが不要な NEXT ユーザーの場合は、ごみ箱アイコンをクリックして Windows アカウントが 0 件の状態で登録してください。

11.3 NEXT ユーザーの管理

11.3.1. NEXT ユーザーの作成

新しく NEXT ユーザーを作成する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー作成」をクリックしてください。
3. 各項目を設定してください。
4. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

Info <登録>ボタンで保存すると登録した NEXT ユーザーの編集画面が表示されます。

Info 登録後に続けて NEXT ユーザーを作成する場合は<連続登録>ボタンをクリックすることで、NEXT ユーザーの新規登録画面が表示されます。



11.3.2. NEXT ユーザーの編集

既存の NEXT ユーザーを編集する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. 編集する NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンをクリック、または<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<編集>をクリックしてください。
4. 各項目を設定してください。
5. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

入力した NEXT パスワードは[●]で表示されますが、現在設定されている NEXT パスワードは表示されず、空白で表示されます。

また、右の[目]のアイコンをクリックした場合についても、入力した値そのものの表示に切り替えることができますが、現在設定されている NEXT パスワードは表示されず、空白で表示されます。

NEXT パスワードを空白のまま<登録>ボタンをクリックした場合は、NEXT パスワードの変更は行われません。

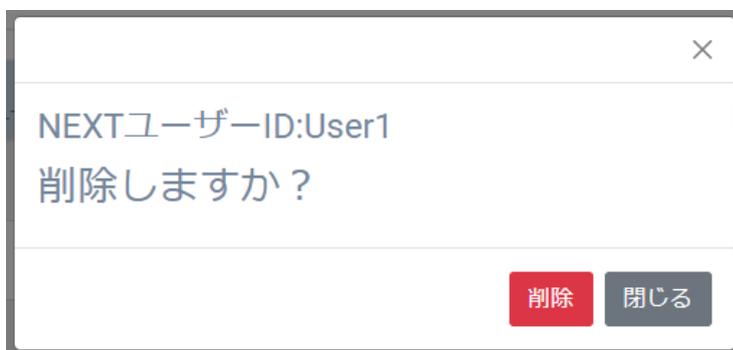
Info サインイン中の NEXT ユーザーの「有効期間(開始)」、または「有効期間(終了)」を有効期間外となる設定にして<登録>ボタンをクリックした場合、「現在のサインインが継続できない値は設定できません」というエラーが表示されます。

11.3.3. NEXT ユーザーの削除

NEXT ユーザーを削除する場合は、以下の手順で行います。

Info 管理者(ビルトイン)ユーザーは削除することができません。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. 削除するNEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<削除>をクリックしてください。
4. 削除を確認するダイアログが表示されます。



5. 削除して良ければ、<削除>ボタンをクリックします。

11.3.4. NEXT ユーザーの検索

「NEXT ユーザー一覧」では NEXT ユーザーID/NEXT ユーザー名を入力して検索、アカウントのロックアウト/無効ユーザーなどの条件で検索、組み合わせた検索ができます。

・NEXT ユーザーID/NEXT ユーザー名を入力して検索
NEXT ユーザーID/NEXT ユーザー名で検索するには、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. 検索したい「NEXT ユーザーID」、「NEXT ユーザー名」を検索条件に入力します。
4. <検索>ボタンをクリックしてください。

5. メインパネル下部に検索結果が表示されます。

	NEXTユーザーID	NEXTユーザー名	無効	有効期限(開始)	有効期限(終了)	エラー回数	NEXTパスワード最終更新日時	最終オンラインログイン日時	作成日時	更新日時
編集	User1	ユーザー1				0	2022/04/26 12:07:25		2022/04/26 12:07:25	2022/04/26 12:07:25

6. <条件クリア>ボタンをクリックすると、検索条件がすべてクリアされます。

・条件での検索

無効状態のユーザーを検索するには、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. 検索条件の「無効ユーザー」をオンにします。
4. <検索>ボタンをクリックしてください。

5. メインパネル下部に検索結果が表示されます。

	NEXTユーザーID	NEXTユーザー名	無効	有効期間(開始)	有効期間(終了)	エラー回数	NEXTパスワード最終更新日時	最終オンラインログイン日時	作成日時	更新日時
編集	User2	ユーザー2	×			0	2022/04/26 12:07:46		2022/04/26 12:07:46	2022/04/26 12:07:46

6. <条件クリア>ボタンをクリックすると、検索条件がすべてクリアされます。

・組み合わせでの検索

検索は、各項目を組み合わせで行うことができます。以下に各項目について説明します。

項目	説明
NEXT ユーザーID	NEXT ユーザーID を入力された文字列で検索します。 検索条件：中間一致、大文字小文字を区別しません。
NEXT ユーザー名	NEXT ユーザー名を入力された文字列で検索します。 検索条件：中間一致、大文字小文字を区別しません。
アカウントのロックアウト	オンにすると「ロックアウト」状態のNEXT ユーザーを検索します。
NEXT パスワードの有効期限切れ	オンにすると「NEXT パスワードの有効期限が切れている」状態のNEXT ユーザーを検索します。
NEXT ユーザーの有効期限切れ	オンにすると「NEXT ユーザーの有効期限が切れている」状態のNEXT ユーザーを検索します。
無効ユーザー	オンにすると「無効」状態のNEXT ユーザーを検索します。

11.3.5. NEXT ユーザーのロックアウトの解除

指定された回数 NEXT 認証に失敗すると、NEXT ユーザーがロックアウトされます。
ロックアウト状態を解除する場合は、「NEXT パスワードリセット」を行います。

NEXT ユーザーの「NEXT パスワードリセット」は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. NEXT パスワードリセットしてロックアウトを解除する NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<NEXT パスワードリセット>をクリックしてください。
このとき、NEXT ユーザーがロックアウトされている場合、<鍵>アイコンが表示されます。



4. NEXT パスワードを再設定する画面が表示されます。
現在設定されている NEXT パスワードは表示されず、空白で表示されます。



5. 再設定する NEXT パスワードを「新しい NEXT パスワード」、「確認用 NEXT パスワード」に入力して、<登録>ボタンをクリックします。

項目	説明
新しい NEXT パスワード	<p>NEXT 認証に使用する NEXT パスワードを指定してください。</p> <p>入力値はポリシー設定により制限されます。</p> <p>「新しい NEXT パスワード」を空白のまま<登録>ボタンをクリックした場合は、NEXT パスワードの変更は行われません。</p> <p>使用可能文字：半角英数、記号 文字数：最大 32 文字 初期値：なし</p>
確認用 NEXT パスワード	<p>確認用に再度、NEXT パスワードを指定してください。</p> <p>入力値はポリシー設定により制限されます。</p> <p>使用可能文字：半角英数、記号 文字数：最大 32 文字 初期値：なし</p>

Info NEXT パスワードの再設定は、NEXT ユーザーの編集でも行えます。ただし、ロックアウト状態の NEXT ユーザーの解除は、この NEXT パスワードリセットで行う必要があります。

11.3.6. NEXT ユーザーのロール設定

NEXT ユーザーは、ロール(役割)によって利用制限があります。ロールによる利用制限は以下のとおりです。

項目	説明
管理者 (必須)	<p>オンにすると、NEXT マネージャーにサインインが行え、また、すべての設定が行えます。</p> <p>オフの場合、NEXT マネージャーにサインインができませんので、すべての設定が行えません。</p> <p>初期値：オフ</p> <p>利用可能機能：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEXT マネージャーの管理者ポータルへのサインイン ・NEXT マネージャーのユーザーポータルへのサインイン ・NEXT クライアントでの NEXT 認証
サブシステム利用者 (必須)	<p>オンにすると、NEXT チームサーバーのサブシステムの利用が行えます。</p> <p>サブシステム利用者は、NEXT マネージャーにサインインすることができません。</p> <p>初期値：オフ</p> <p>利用可能機能：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEXT クライアントでの NEXT 認証
ポータル利用者 (必須)	<p>オンにすると、NEXT マネージャーのユーザーポータルにサインインが行えます。</p> <p>オフの場合、NEXT マネージャーのユーザーポータルにサインインができません。</p> <p>初期値：オン</p> <p>利用可能機能：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEXT マネージャーのユーザーポータルへのサインイン ・NEXT クライアントでの NEXT 認証
なし	<p>すべてのロールがオフの場合、NEXT クライアントでの NEXT 認証のみ可能になります。</p> <p>利用可能機能：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEXT クライアントでの NEXT 認証

Info 初期設定時の NEXT マネージャーにサインインできる NEXT ユーザー「admin」は「管理者」のロールがオンです。
NEXT クライアントを利用するだけの NEXT ユーザーには「管理者」のロールはオフのままにすることで、NEXT マネージャーにサインインができませんので、すべての設定が行えません。

Info NEXT マネージャーでは、必要なロールがない場合、画面自体にアクセスができません。「管理者」のロールがオフの NEXT ユーザーで NEXT マネージャーにサインインすると、「ページが見つからない、もしくはページにアクセスする権限がありません」というエラーが表示されます。

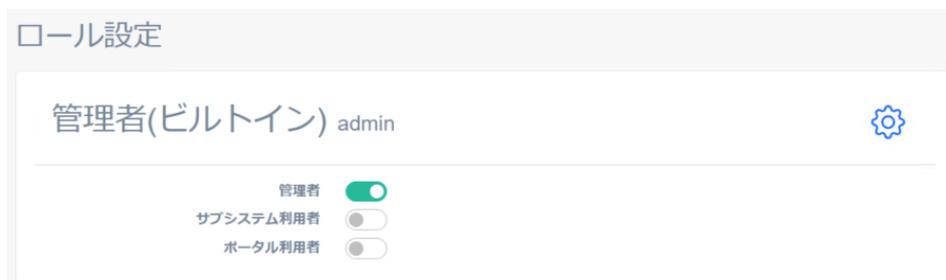
Info NEXT マネージャーに「管理者」のロールがオフの NEXT ユーザーでサインインすると、ログ管理には「イベント：管理」でサインイン認証のログが記録されます。ただし、ロールがオフのため、画面自体にアクセスはできません。同様に NEXT パスワードのパスワード変更も行えますが、ロールがオフのため、画面自体にアクセスはできません。

NEXT ユーザーの「ロール設定」は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. ロール設定をする NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<ロール設定>をクリックしてください。



4. ロール設定画面が表示されます。



5. ロール設定を行い、<登録>ボタンをクリックします。

11.4 IC カードマスタ管理

NEXT ユーザーが利用する IC カード登録を行うことができます。

IC カードは各 NEXT ユーザーごとに 1 つだけ、登録することができます。また、同じ IC カードを異なる NEXT ユーザーに登録することはできません。

IC カードの登録方法は、NEXT マネージャーで登録する方法と、NEXT クライアントで登録する方法があります。

- ・NEXT マネージャーで管理者がユーザーの IC カードを登録する
管理者が NEXT マネージャーで IC カードを登録します。
NEXT マネージャーで IC カードを登録するには、IC カードのシリアル情報が必要です。予めご用意ください。IC カードのシリアル情報が不明、収集が困難な場合は、NEXT クライアントでユーザー自身による IC カード登録の方法をご利用ください。
現在、対応している IC カードのシリアル情報は「11.4.1. 対応している IC カードのシリアル情報」の表を参照してください。
- ・NEXT クライアントでユーザー自身が IC カードを登録する
ユーザー自身が NEXT クライアントで IC カードを登録します。
ユーザー自身が NEXT クライアントで IC カードを登録するには、以下の設定がされている必要があります。
 - ・クライアント設定で「IC カード認証」がオンである。
 - ・クライアント設定で「未登録時に IC カードの登録を許可する」がオンである。

ここでは、NEXT マネージャーで管理者がユーザーの IC カードを登録する方法について説明します。NEXT クライアントで IC カードを登録する方法については、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

11.4.1. 対応している IC カードのシリアル情報

対応している IC カードのシリアル情報は以下です。

IC カードの種類	シリアル情報	備考
FeliCa Standard	IDm	Binary を HEX 値にして、設定します。 HEX 値で 16 文字表示されている 8 バイトのデータの場合、HEX 値のまま設定します。 例：01010101FEFEFEFE
FeliCa Lite-S	IDm	Binary を HEX 値にして、設定します。 HEX 値で 16 文字表示されている 8 バイトのデータの場合、HEX 値のまま設定します。 例：01010101FEFEFEFE
NXP Semiconductors Mifare Classic 1K(Standard 1K)(7byte UID)	UID	Binary を HEX 値にして、設定します。 HEX 値で 14 文字表示されている 7 バイトのデータの場合、HEX 値のまま設定します。 例：010101FEFEFEFE
NXP Semiconductors Mifare Classic 1K(4byte NUID)	NUID	Binary を HEX 値にして、設定します。 HEX 値で 8 文字表示されている 4 バイトのデータの場合、HEX 値のまま設定します。 例：0101FEFE

Info FeliCa カードの IDm、Mifare カードの UID/NUID の値は、購入時に発行会社から入手することができる場合があります。これから IC カードを購入される場合は、販売会社様などにお問い合わせください。

Info FeliCa カードの IDm などのシリアル情報が、配布済みのカードを利用する場合などで分からない場合は、NEXT クライアントでユーザー自身による IC カード登録の方法をご利用ください。NEXT クライアントでの IC カード登録では、IC カードから読み取りを行い登録できますので、IDm などのシリアル情報の事前収集が不要です。

11.4.2. ICカードの登録

NEXT ユーザーに IC カードを登録するには、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. IC カードを登録する NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<IC カードマスタ管理>をクリックしてください。



4. 「IC カードシリアル番号」を設定してください。

ICカード登録

ユーザー 1 User1 ☰

ICカードシリアル番号*

一覧
ユーザー編集
登録
削除

項目	説明
IC カードシリアル番号 (必須)	<p>対応するカードの「シリアル情報」を指定します。</p> <p>「IC カードの種類」と「シリアル情報」により文字数や使用可能文字は変わります。</p> <p>詳細は、「11.4.1. 対応している IC カードのシリアル情報」を参照してください。</p> <p>初期値：設定なし</p>

5. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

11.4.3. ICカードの編集

NEXT ユーザーに登録されているICカード情報を編集する手順は、「ICカードの登録」と同じです。ICカードは各NEXTユーザーごとに1つだけ、登録することができます。また、同じICカードを異なるNEXTユーザーに登録することはできません。

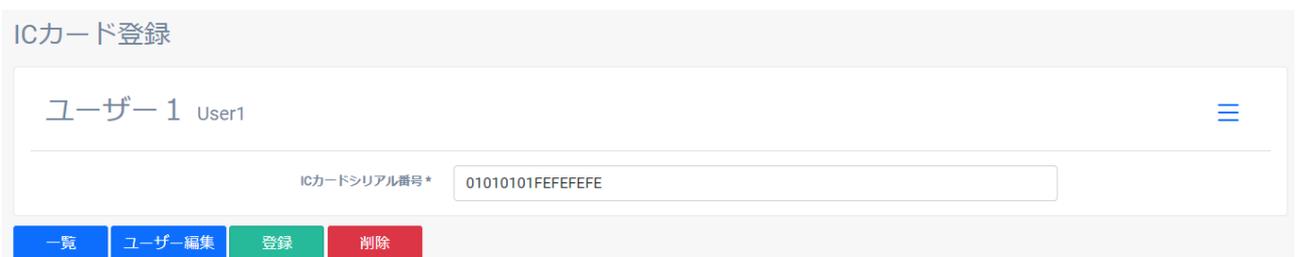
11.4.4. ICカードの削除

NEXT ユーザーに登録されているICカードを削除するには、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. ICカードを削除するNEXTユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<ICカードマスタ管理>をクリックしてください。



4. <削除>ボタンをクリックします。



5. 削除ダイアログの<削除>ボタンをクリックすることで、削除が完了します。



11.5 顔認証マスタ管理

NEXT ユーザーが利用する顔情報の登録、顔認証のオプションの設定を行うことができます。

顔情報は各 NEXT ユーザーごとに 5 件まで登録が可能となっています。

顔情報の登録方法は、NEXT マネージャーで登録する方法、NEXT クライアントで登録する方法があります。

- ・NEXT マネージャーで管理者がユーザーの顔情報を登録する
管理者が NEXT マネージャーで顔情報を登録します。
NEXT マネージャーで顔情報を登録するには、顔画像ファイルが必要です。予めご用意ください。
また、NEXT マネージャーで顔情報を顔画像ファイルで登録するには、NEXT チームサーバーに「顔認証ランタイム」のインストールが必要になります。詳細は、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。
- ・NEXT クライアントでユーザー自身が顔情報を登録する
ユーザー自身が NEXT クライアントで顔情報を登録します。
ユーザー自身が NEXT クライアントで顔情報を登録するには、以下の設定がされている必要があります。
 - ・クライアント設定で「顔認証」がオンである。
 - ・クライアント設定で「顔情報の登録を許可する」がオンである。また、すでに顔情報が登録されている状態で、別の顔情報をユーザー自身が登録するには、さらに以下の設定がされている必要があります。
 - ・クライアント設定で「顔情報の再登録を許可する」がオンである。

下表にそれぞれの登録方法の分類を記します。

項目	方法	NEXT マネージャーで登録	NEXT クライアントで登録
管理者による登録を想定		○	
利用者による登録を想定			○
顔画像ファイルを利用		○	
Web カメラを利用			○
顔認証ランタイムを利用		○	○
ポリシー設定の許可が必要			○
マニュアル		ARCACLAVIS NEXT チーム版ガイド 「11.5.1. 顔情報の登録」	ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド 「4.2. 顔情報登録」

顔情報の登録方法について本ガイドでは、NEXT マネージャーで管理者がユーザーの顔画像ファイルを用いて顔情報を登録する方法について説明します。NEXT クライアントで顔情報を登録する方法については、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

11.5.1. 顔情報の登録

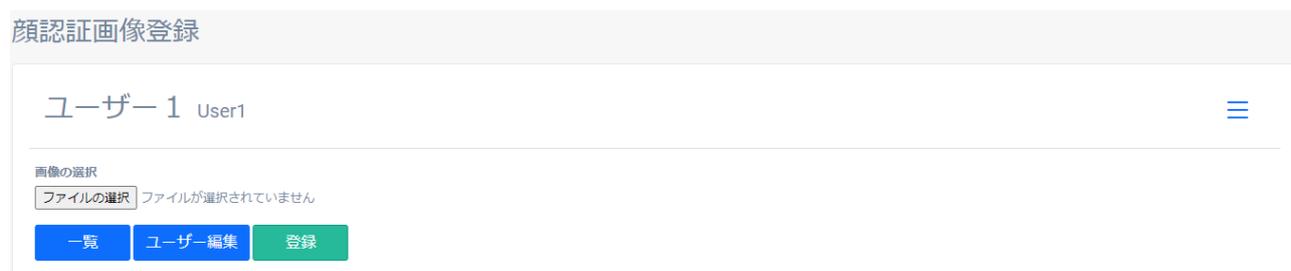
登録する顔画像ファイルの「良い例」「向かない例」については、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

NEXT ユーザーに顔情報を登録するには、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. 顔情報を登録する NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<顔認証マスタ管理>をクリックしてください。



4. <ファイルを選択>ボタンをクリックしてください。

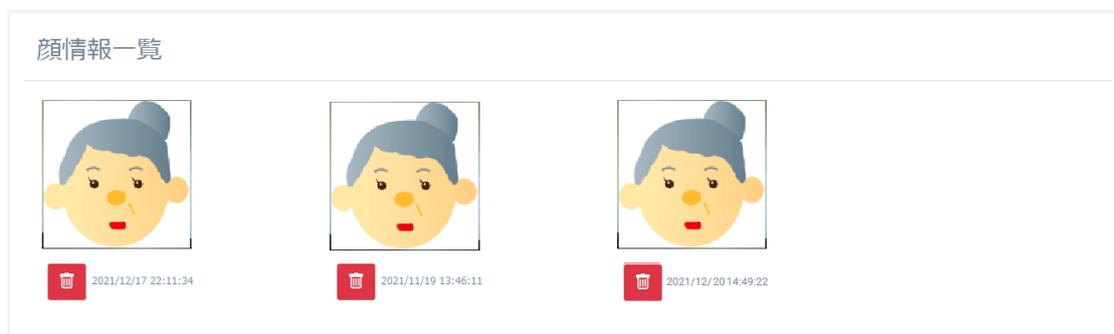


5. Web ブラウザの「ファイルを選択」ダイアログが表示されますので、NEXT ユーザーの利用者の顔画像ファイルを選択します。

顔画像ファイルに利用できる形式などは以下の通りです。

項目	説明
ファイル形式	BMP、JPG、PNG
解像度（推奨）	640×480pixel 目と目の間隔が 120pixel 以上あるもの

6. <登録>ボタンをクリックして保存します。
7. 登録されると「顔情報一覧」に登録した顔情報の顔画像ファイルのサムネイルが表示されます。

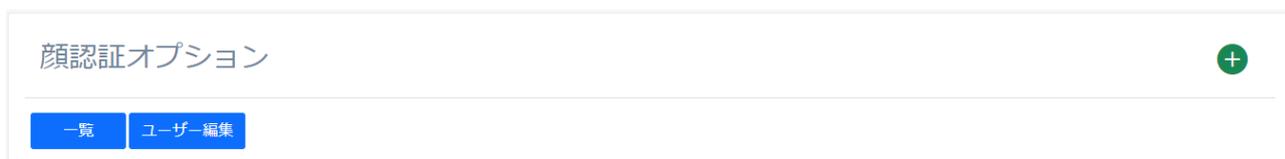


8. 複数枚の登録を行う場合は、手順 4~6 を繰り返し行います。

11.5.2. 顔情報のオプションの設定

顔認証マスタ管理では、顔認証に関するオプションの設定が行えます。
顔認証オプションの設定状態により、表示が異なります。

- ・顔認証オプションが未設定（初期表示）



- ・顔認証オプションが未設定（<オプション追加>ボタンクリック後）



- ・顔認証オプションが設定済み



項目	説明
照合精度 (必須)	<p>顔の認証しやすさを設定します。高くすると、他人受入率を下げることはできますが本人拒否率が上がります。低くすると、本人拒否率は下がりますが他人受入率が上がります。</p> <p>設定は、以下を参考に行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高い <p>使用するクライアント端末、カメラ、明るさ、カメラとの距離など多くの条件が顔情報を登録した時と同じ環境で認証可能な設定です。多くの条件が異なる場合は、認証がしにくい場合があります。</p> ・ やや高い <p>「高い」と「中」の中間の設定です。</p> ・ 中 <p>登録時と異なるクライアント端末、カメラ、明るさでも認証が可能な設定です。屋内/社内で利用するユーザーに適しています。</p> ・ やや低い <p>「中」と「低い」の中間の設定です。</p> ・ 低い <p>使用するクライアント端末、カメラ、明るさ、カメラとの距離など多くの条件が顔情報を登録した時と異なる環境で認証可能な設定です。屋内/屋外や社内/社外など異なる場所でクライアント端末を使用するユーザーに適しています。</p> <p>なお、「照合精度」の設定はクライアント設定でも設定することが可能です。クライアント設定より、ここでの設定が優先されます。クライアント設定については、「9. クライアント設定」を参照してください。</p> <p>初期値：中</p>
マスクを使用する (必須)	<p>「オン」にすると、マスクを着用している状態でも顔認証を行えます。</p> <p>なお、「マスクを使用する」の設定はクライアント設定でも設定することが可能です。クライアント設定より、ここでの設定が優先されます。クライアント設定については、「9. クライアント設定」を参照してください。</p> <p>初期値：オン</p>

顔認証のオプションを設定する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. 編集する NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<顔認証マスター管理>をクリックしてください。
4. 顔認証オプションの設定が未設定の場合、タイトルの右側にある<オプション追加>ボタンをクリックしてください。
5. 各項目を設定してください。
6. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

設定済みの顔認証のオプションを削除する場合は、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. 編集する NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<顔認証マスター管理>をクリックしてください。
4. <削除>ボタンをクリックしてください。
5. 削除ダイアログの<削除>ボタンをクリックすることで、設定を削除します。

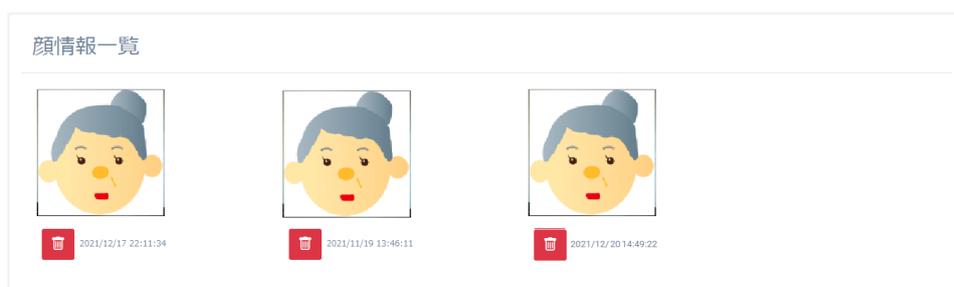
11.5.3. 顔情報の削除

NEXT ユーザーの顔情報を削除するには、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. 顔情報を削除する NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<顔認証マスタ管理>をクリックしてください。



4. 「顔情報一覧」に登録されている顔情報の顔画像ファイルのサムネイルから、削除する顔情報のサムネイルの<ゴミ箱>ボタンをクリックします。



5. 削除ダイアログの<削除>ボタンをクリックすることで、削除が完了します。



6. 複数枚の削除を行う場合は、手順 4～5 を繰り返し行います。

11.5.4. 顔情報の自動更新

NEXT チームサーバーでは、顔情報の自動更新は行われません。

そのため、顔情報の経年劣化により顔認証が成功しづらい状況になった場合は、再度顔情報を登録してください。

顔情報の登録については、「11.5. 顔認証マスタ管理」を参照してください。

11.6 NEXT 緊急パスワードの発行

NEXT 認証時に IC カードや顔情報の代わりに使用できる有効期限付きの NEXT 緊急パスワードの発行を行います。

IC カードを忘れた場合、出先でカメラが壊れた場合などに NEXT ユーザーID と NEXT 緊急パスワードの入力による認証を行うことにより、NEXT チームサーバーのアンインストールなどをすることなくコンピューターを利用できます。

NEXT 緊急パスワードは NEXT ユーザーに対して発行するため、NEXT ユーザーが登録されている必要があります。

NEXT ユーザーがロックアウト状態の場合、NEXT 緊急パスワードを利用してサインインできません。先に管理者により、ロックアウトを解除してください。

NEXT 緊急パスワードには有効期限があります。有効期限により、ユーザーが NEXT 緊急パスワードを使用できる期間を設定できます。有効期限は NEXT 緊急パスワードを発行する NEXT ユーザーのアカウントの有効期限を超えて設定することはできません。NEXT ユーザーのアカウントの有効期限を超えて設定できない制御は、NEXT 緊急パスワードを発行するときの NEXT ユーザーのアカウントの状態によりますので、NEXT 緊急パスワード発行後に、NEXT ユーザーのアカウントの有効期限を変更した場合は制御されません。

NEXT 緊急パスワードの発行は、NEXT マネージャーを使用して発行します。

NEXT 緊急パスワードの発行は、以下の手順で行います。

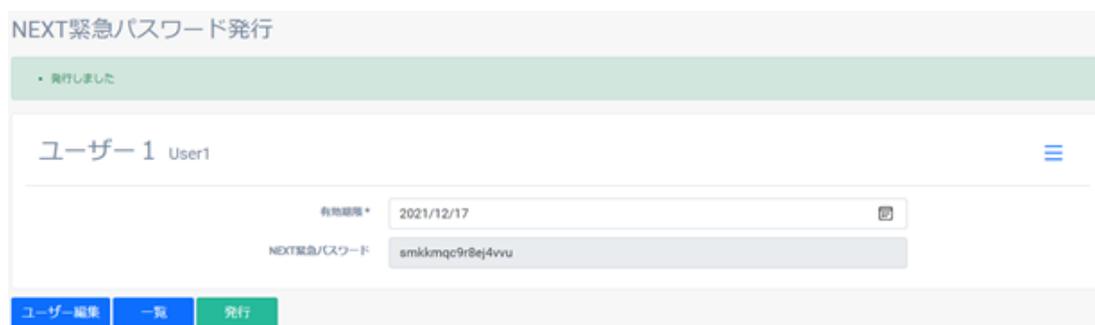
1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. NEXT 緊急パスワードを発行する NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<NEXT 緊急パスワード発行>をクリックしてください。



4. NEXT 緊急パスワードを発行する画面が表示されます。



5. 「有効期限」をキーボードで直接入力、または[カレンダー]アイコンをクリックして日付の選択を行い、<発行>ボタンをクリックします。
6. NEXT 緊急パスワードが発行されます。



11.7 ワンタイムパスワード

NEXT ユーザーが利用するワンタイムパスワードシークレットを発行することができます。

ワンタイムパスワードシークレットは発行後に QR コードで表示されます。

表示されたワンタイムパスワードシークレットの QR コードをスマートフォンの Authenticator アプリで読み取ることにより NEXT ユーザーの登録が行えます。以降は、スマートフォンの Authenticator アプリにワンタイムパスワード認証で使用するワンタイムパスワードが表示されるようになります。

ワンタイムパスワードの有効時間は 30 秒となるため、ご利用のコンピューターとスマートフォンの時間がずれにくい環境での利用が前提となります。

ワンタイムパスワードは、6 桁のパスワードで 30 秒ごとに更新されます。

ワンタイムパスワードシークレットの発行方法は、NEXT マネージャーのユーザーポータルで発行する方法と、NEXT クライアントで発行する方法があります。

管理者ポータルではワンタイムパスワードシークレットを発行することはできません。

- ・NEXT マネージャーのユーザーポータルでユーザー自身がワンタイムパスワードシークレットを発行する
ユーザーが NEXT マネージャーのユーザーポータルでワンタイムパスワードシークレットを発行します。

ワンタイムパスワードシークレットを発行した後、スマートフォンの Authenticator アプリで QR コードを読み取ります。

すでにワンタイムパスワードシークレットが発行されている場合は、再登録用の QR コードが表示されないため、ワンタイムパスワードシークレットの再登録を行うことができません。

ワンタイムパスワードシークレットの再登録を行う場合は、NEXT マネージャーにサインインしてワンタイムパスワードシークレットのリセットを行い、新しいワンタイムパスワードシークレットを発行し、その QR コードを読み取る手順が必要になります。

- ・NEXT クライアントでユーザー自身がワンタイムパスワードシークレットを発行する
ユーザー自身が NEXT クライアントでワンタイムパスワードシークレットを発行します。
ユーザー自身が NEXT クライアントでワンタイムパスワードシークレットを発行するには、以下の設定がされている必要があります。

- ・クライアント設定で「ワンタイムパスワード認証」がオンである。

- ・ユーザー自身のワンタイムパスワードシークレットが未登録の状態である。

すでにワンタイムパスワードシークレットが発行されている場合は、再登録用の QR コードが表示されないため、ワンタイムパスワードシークレットの再登録を行うことができません。

ワンタイムパスワードシークレットの再登録を行う場合は、NEXT マネージャーにサインインしてワンタイムパスワードシークレットのリセットを行い、新しいワンタイムパスワードシークレットを発行し、その QR コードを読み取る手順が必要になります。

下表にそれぞれの発行方法の分類を記します。

項目	方法	NEXT マネージャーの ユーザーポータルで発行	NEXT クライアントで発行
利用者による発行とスマートフォンへの登録を想定		○	○
クライアント設定による設定が必要			○
マニュアル		ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド 「8.5. ワンタイムパスワード シークレットの発行」	ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド 「4.3. ワンタイムパスワード 認証の情報登録」

NEXT マネージャーのユーザーポータルでワンタイムパスワードシークレットを発行する方法、NEXT クライアントでワンタイムパスワードシークレットを発行する方法については、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

11.7.1. 対応しているスマートフォンの Authenticator アプリ

ワンタイムパスワードを表示する Authenticator アプリは、ARCACLAVIS NEXT 製品としては提供していません。

ご利用のスマートフォンで「App Store」や「Play Store」から Authenticator アプリをダウンロードし、インストールしてください。

動作確認しているスマートフォンの Authenticator アプリは以下のとおりです。

Authenticator アプリ名
Google Authenticator
Microsoft Authenticator

Info ワンタイムパスワードシークレットは、「アカウント名」「ユーザーID」を基に作成されません。

異なる環境（検証環境と本番環境など）で同一の「アカウント名」「ユーザーID」のワンタイムパスワードシークレットを発行し、Authenticator アプリに登録しようとした際、後から発行したワンタイムパスワードシークレットを Authenticator アプリに登録できない場合があります。

NEXT 製品で推奨している Authenticator アプリでは、以下のような動作となります。

（Authenticator アプリのバージョンによっては動作が異なる場合があります。

詳細は、各 Authenticator アプリのヘルプなどを参照してください。）

●Google Authenticator

「アカウント名」「ユーザーID」が同一のワンタイムパスワードシークレットであっても登録することができます。

●Microsoft Authenticator

「アカウント名」「ユーザーID」が同一のワンタイムパスワードシークレットの場合は、登録することができません。

ただし、以下の手順で複数の Authenticator アカウントの登録が可能です。

- ・Microsoft Authenticator から既に登録されている Authenticator アカウント（例：検証環境の Authenticator アカウント）を削除した後、新しく Authenticator アカウント（例：本番環境の Authenticator アカウント）を登録する

- ・Microsoft Authenticator に登録する際に Authenticator アカウント名を変更して登録する

11.7.2. ワンタイムパスワードシークレットの発行

管理者ポータルでは、ワンタイムパスワードシークレットを発行することはできません。

ユーザーポータルにサインインし、ワンタイムパスワードシークレットの発行を行ってください。

ワンタイムパスワードシークレットの発行する手順については、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

11.7.3. ワンタイムパスワードシークレットのリセット

ご使用のスマートフォンを変更する場合、ワンタイムパスワードシークレットをリセットし、新しいスマートフォンの Authenticator アプリで再度 NEXT ユーザーを登録する必要があります。

NEXT ユーザーに登録されているワンタイムパスワードシークレットをリセットするには、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーの管理者ポータルにサインインしてください。
2. メニューの「NEXT ユーザー一覧」をクリックしてください。
3. ワンタイムパスワードシークレットをリセットする NEXT ユーザーの左の<編集>ボタンの右のプルダウンメニューをクリックし、<ワンタイムパスワード>をクリックしてください。



4. <リセット>ボタンをクリックしてください。



5. <確認しました>にチェックを入れて<リセット>ボタンをクリックしてください。



6. ワンタイムパスワードシークレットがリセットされます。

ワンタイムパスワード設定

- ワンタイムパスワードシークレットをリセットしました

user0 user0 

ワンタイムパスワードシークレットが登録されていません

[一覧](#) [ユーザー編集](#) [発行](#)

Info ワンタイムパスワードシークレットをリセットした場合は、スマートフォンの Authenticator アプリに登録した NEXT ユーザーの削除も合わせて行ってください。削除する手順については、スマートフォンにインストールされている Authenticator アプリのヘルプなどを参照してください。

12. ログ管理

ログ管理の詳細については、「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」の「11. ログ管理」を参照してください。

13. バックアップ

13.1 概要

NEXT チームサーバーのデータベースファイルをバックアップする手順について記します。
バックアップの対象となるデータベースは以下があります。

- NEXT 管理 DB ファイル
ユーザー情報やクライアント設定などのアプリケーションに関連するデータが保存されたデータベースファイルです。
- NEXT ログ DB ファイル
NEXT マネージャーで閲覧できるログデータが保存されたデータベースファイルです。
- NEXT コントロール設定 DB ファイル
NEXT マネージャーで設定する「コントロール設定」に関連するデータが保存されたデータベースファイルです。

バックアップの対象外となるデータベースは以下があります。

- NEXT ジョブ DB ファイル
NEXT ユーザー情報のインポートなどの時間のかかる処理を登録順に実行するためのジョブ情報を保存するデータベースファイルです。
ジョブ情報は一時的な情報のため、バックアップは不要です。
ジョブの結果はログ管理で確認できます。
詳細は、「12. ログ管理」を参照してください。

バックアップ設定の流れは以下となります。

1. バックアップ用バッチファイルの作成
2. 定期的なバックアップ実行のタスクスケジューラ登録
※データベースファイルのバックアップは定期的に行うことをお勧めします。
3. バックアップを手動実行し、動作の確認（タスクスケジューラから手動実行）

13.2 NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルをバックアップする

NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルのバックアップを定期的に行う設定の手順について説明します。

13.2.1. バックアップ用バッチファイルを作成

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows アクセサリ]-[メモ帳]を選択してメモ帳を開き、下記内容をコピーしてメモ帳に貼り付けてください。

```
@echo off

: **** DB パスワードの設定 ****
: DB パスワードが「password」の場合は、「set PGPASSWORD=password」となります。
set PGPASSWORD=password

: **** pg_dump.exe の配置場所 ****
: postgresQL のインストール先が「C:¥Program Files¥PostgreSQL」の場合は
: 「set PGDUMPPATH="C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin"」となります。
set PGDUMPPATH="C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin"

: **** バックアップファイル名 ****
: バックアップファイルを「C:¥backup¥appdb_YYMMDD_hhmmss.dump」としたい場合は
: 「set PGBKUPAPPPATH="C:¥backup¥appdb"」となります。 注) 拡張子は不要です
set PGBKUPAPPPATH="C:¥backup¥appdb"
set PGBKUPCTLPATH="C:¥backup¥controldb"

: **** バックアップする DB 名 ****
: 「NEXT 管理 DB ファイル」をバックアップする場合は「set PGBKUPAPPFILE=appdb」、
: 「NEXT コントロール設定 DB ファイル」をバックアップする場合は
: 「set PGBKUPCTLFIL=controldb」となります。
set PGBKUPAPPFILE=appdb
set PGBKUPCTLFIL=controldb

set d=%date%
set yyyy=%d:~-10,4%
set mm=%d:~-5,2%
```

```
set dd=%d:~-2,2%
set t=%time: =0%
set hh=%t:~0,2%
set mn=%t:~3,2%
set ss=%t:~6,2%
%PGDUMPPATH%¥pg_dump -Fc -w -p 5432 -U postgres
-f %PGBKUPAPPPATH%_%yyyy%%mm%%dd%_%hh%%mn%%ss%.dump %PGBKUPAPPFI
LE%
if not "%ERRORLEVEL%"=="0" (
    echo ***** NEXT 管理 DB ファイルのバックアップに失敗しました。 *****
exit /b 1
)
%PGDUMPPATH%¥pg_dump -Fc -w -p 5432 -U postgres
-f %PGBKUPCTLPATH%_%yyyy%%mm%%dd%_%hh%%mn%%ss%.dump %PGBKUPCTLFI
LE%
if "%ERRORLEVEL%"=="0" (
    echo ***** バックアップが正常に終了しました。 *****
    exit /b 0
) else (
    echo ***** NEXT コントロール設定 DB ファイルのバックアップに失敗しました。 *****
    exit /b 1
)
```

3. コピーした内容の下記をご使用の環境に合わせて修正してください。

項目	説明
DB パスワードの設定	NEXT チームサーバーのインストール時に「データベースパスワード設定画面」で設定したパスワードを設定してください。
pg_dump.exe の配置場所	NEXT チームサーバーのインストールでは、通常、「C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin」となります。
バックアップファイル名	バックアップファイルの保存ファイル名になります。 ※例示の BAT では、バックアップ実行時の“年月日_時分秒”がファイル名の末尾に自動的に付加されます。 ※ファイル拡張子は「.dump」となります（設定時は拡張子不要）。 ※任意のファイル名で構いません。
バックアップする DB 名	バックアップする DB 名になります。 NEXT 管理 DB ファイルをバックアップする場合は「appdb」を、NEXT コントロール設定 DB ファイルをバックアップする場合は「controldb」を設定してください。

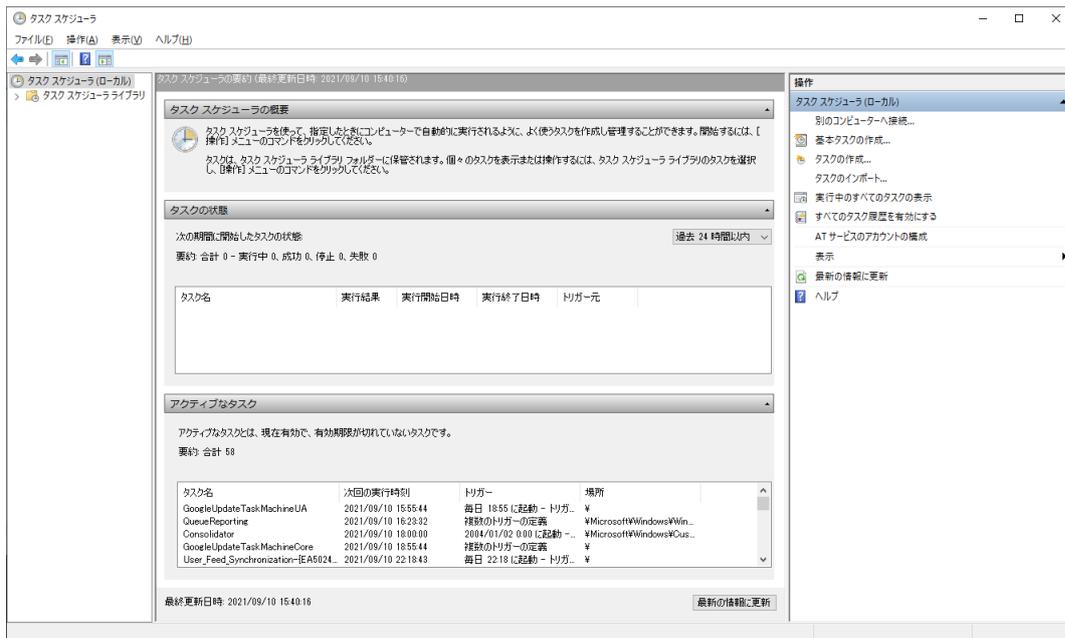
4. 修正したファイルを任意の場所に、拡張子「.bat」として保存してください。

※例として「C:¥backup」に「appdb_controldb_bkup.bat」というファイル名で保存したものとして説明します。

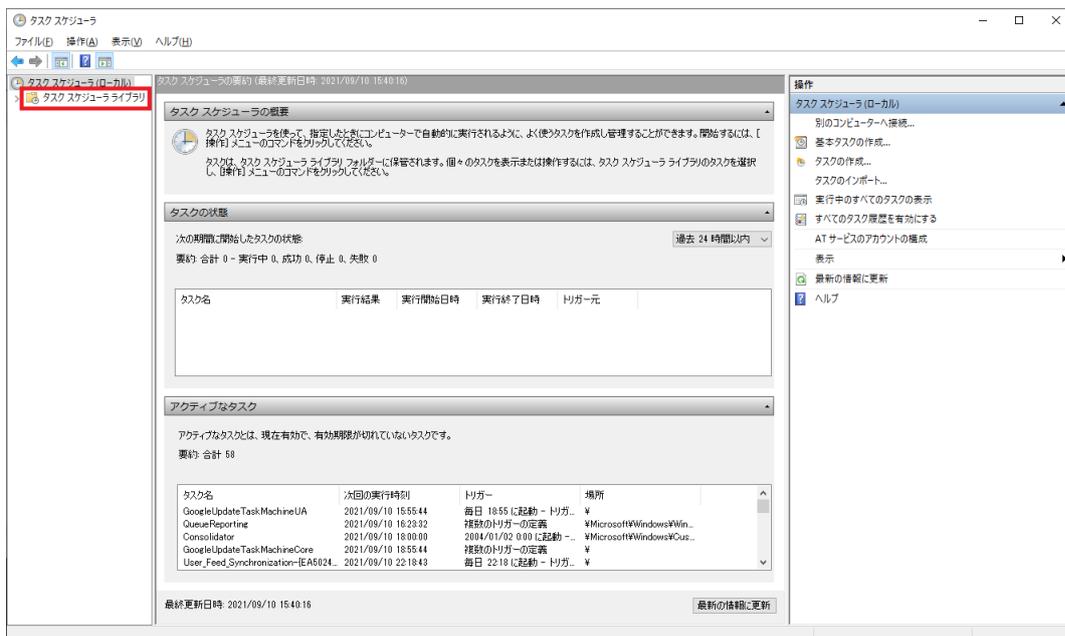
13.2.2. バッチファイルをタスクスケジューラに登録

例として、「13.2.1. バックアップ用バッチファイルを作成」で作成したバッチファイルを、毎日 AM3:00 にバックグラウンドで実行するタスクスケジューラ登録の手順を説明します。

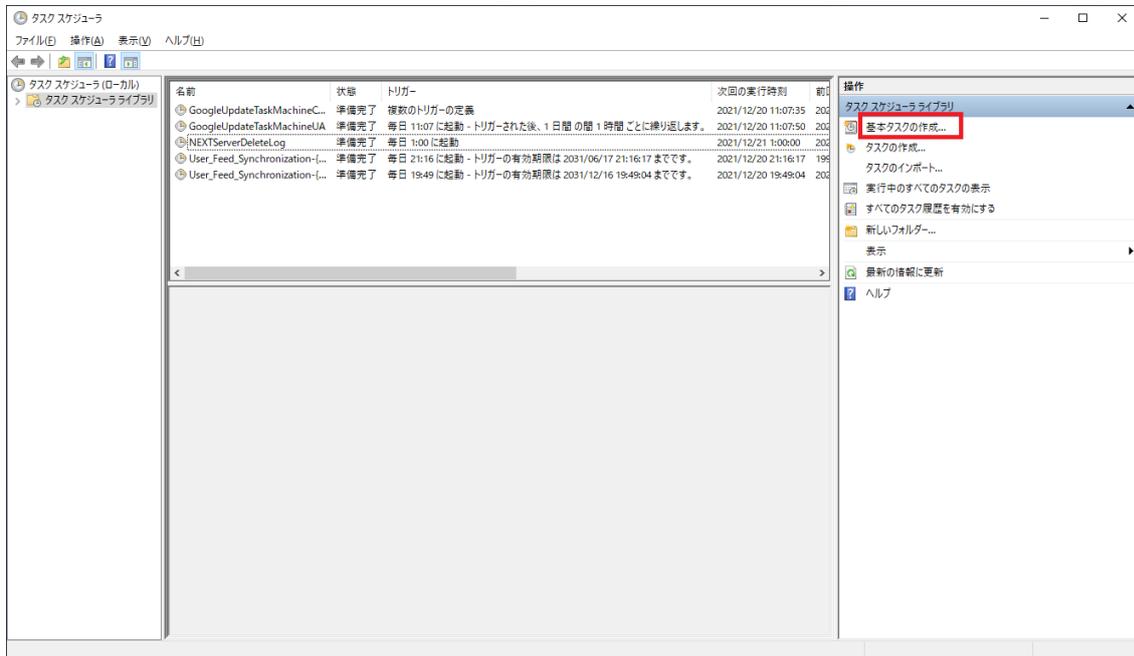
1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[タスク スケジューラ]を選択してタスク スケジューラを開きます。



3. 「タスク スケジューラ(ローカル)」画面が表示されます。「タスク スケジューラ ライブラリ」をクリックします。

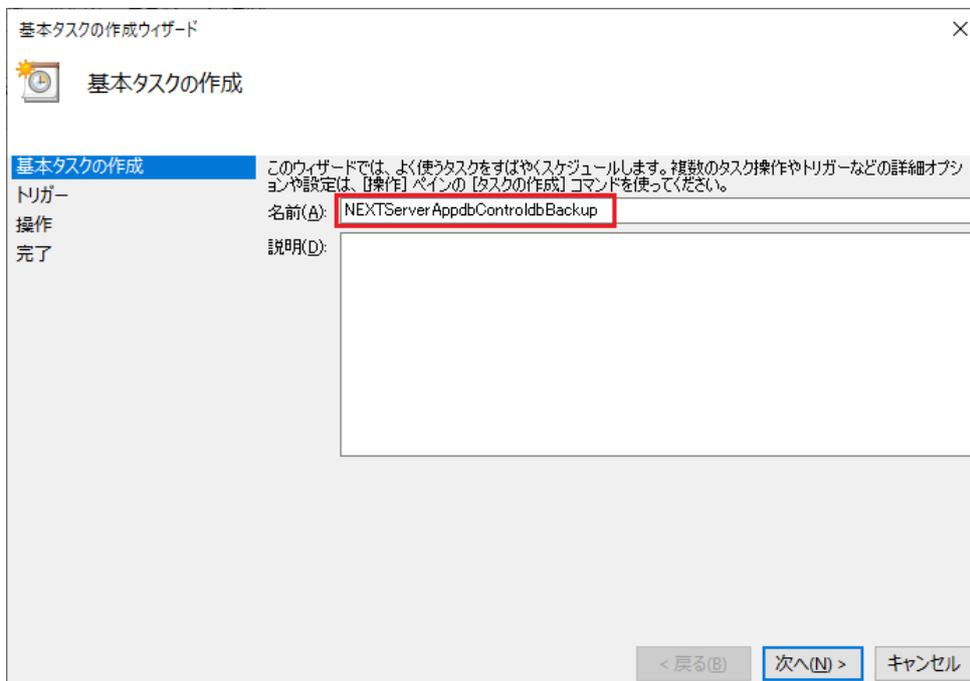


4. 「機能」ビューに「タスク スケジューラ ライブラリ」画面が表示されます。「操作」ウィンドウの「基本タスクの作成」をクリックします。



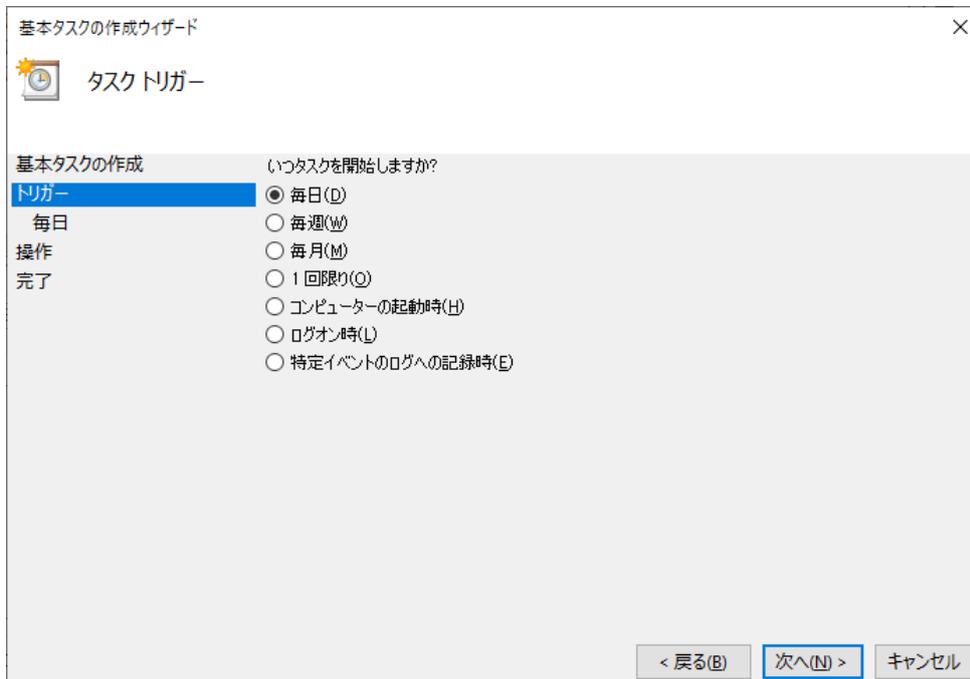
5. 「基本タスクの作成ウィザード」の「基本タスクの作成」画面が表示されます。「名前」に任意のタスク名を入力して<次へ>ボタンをクリックします。

※例として「NEXTServerAppdbControldbBackup」という名前に設定したものと説明します。



6. 「基本タスクの作成ウィザード」の「タスク トリガー」画面が表示されます。定期的にバックアップを行いたい設定を選択して<次へ>ボタンをクリックします。

※例として「毎日」に設定しています。



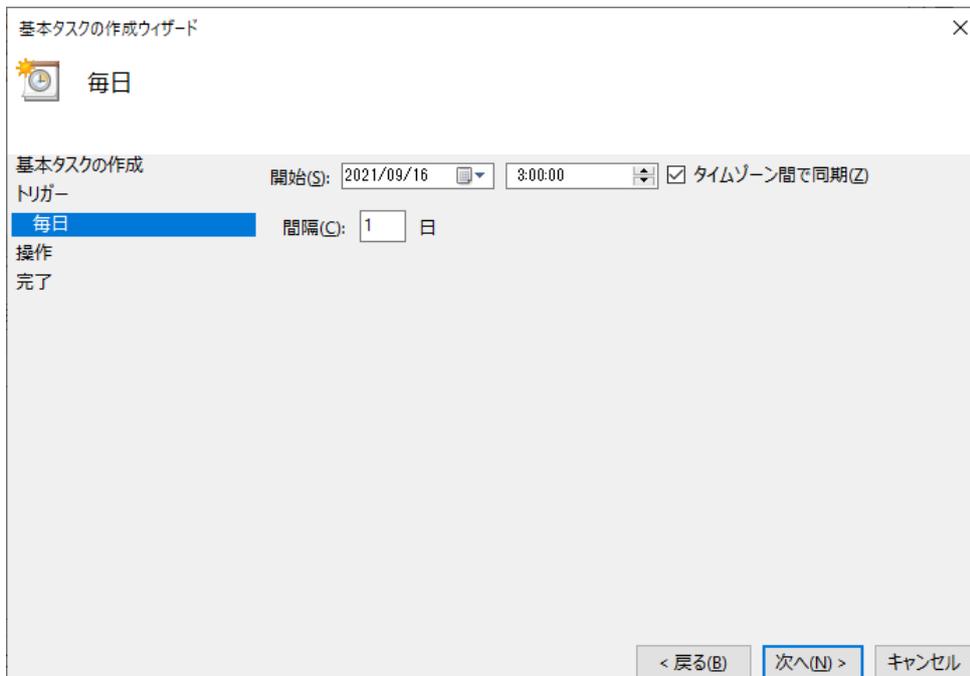
The screenshot shows a dialog box titled "基本タスクの作成ウィザード" (Basic Task Creation Wizard) with a close button (X) in the top right corner. Below the title bar is a header area with a clock icon and the text "タスクトリガー" (Task Trigger). The main content area is titled "基本タスクの作成" (Basic Task Creation) and contains a list of options under the heading "いつタスクを開始しますか?" (When do you want to start the task?). The options are:

- トリガー (Trigger):
 - 毎日(D) (Daily) - selected with a radio button
 - 毎週(W) (Weekly)
 - 毎月(M) (Monthly)
- 操作 (Operation):
 - 1回限り(O) (One-time)
 - コンピューターの起動時(H) (At computer startup)
 - ログオン時(L) (At logon)
 - 特定イベントのログへの記録時(E) (At recording to a specific event log)
- 完了 (Completion):

At the bottom of the dialog, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "次へ(N) >" button is highlighted with a blue border.

7. 「基本タスクの作成ウィザード」の「タスク トリガー」の「毎日」画面が表示されます。定期的にバックアップを行いたい時間を設定して<次へ>ボタンをクリックします。

※例として「AM3:00:00」に設定しています。

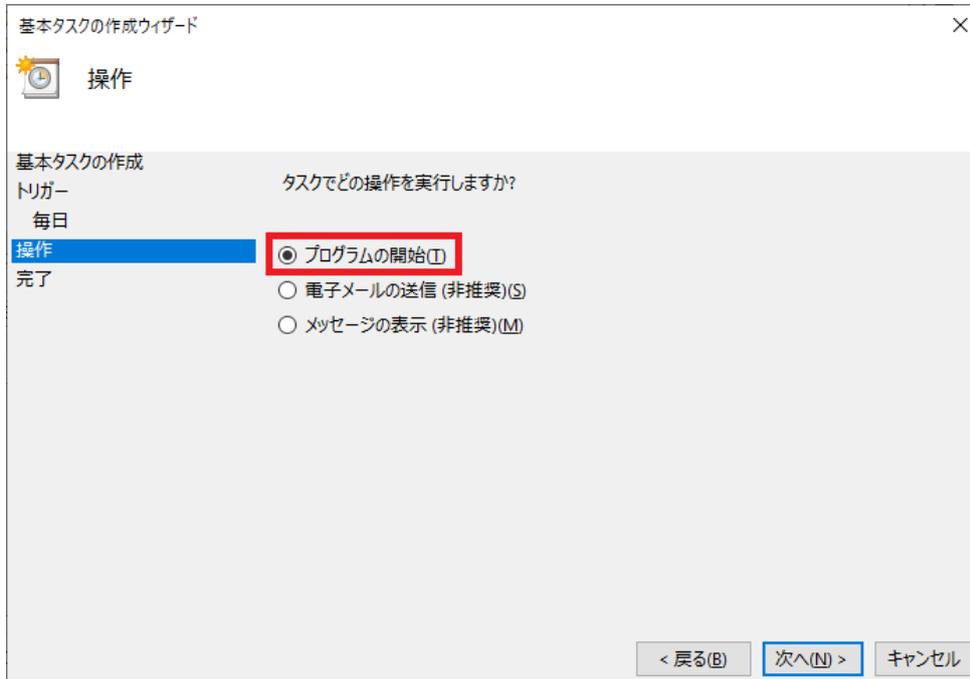


The screenshot shows the same dialog box as in step 6, but now on the "毎日" (Daily) screen. The header area shows a clock icon and the text "毎日" (Daily). The main content area is titled "基本タスクの作成" (Basic Task Creation) and contains the following settings:

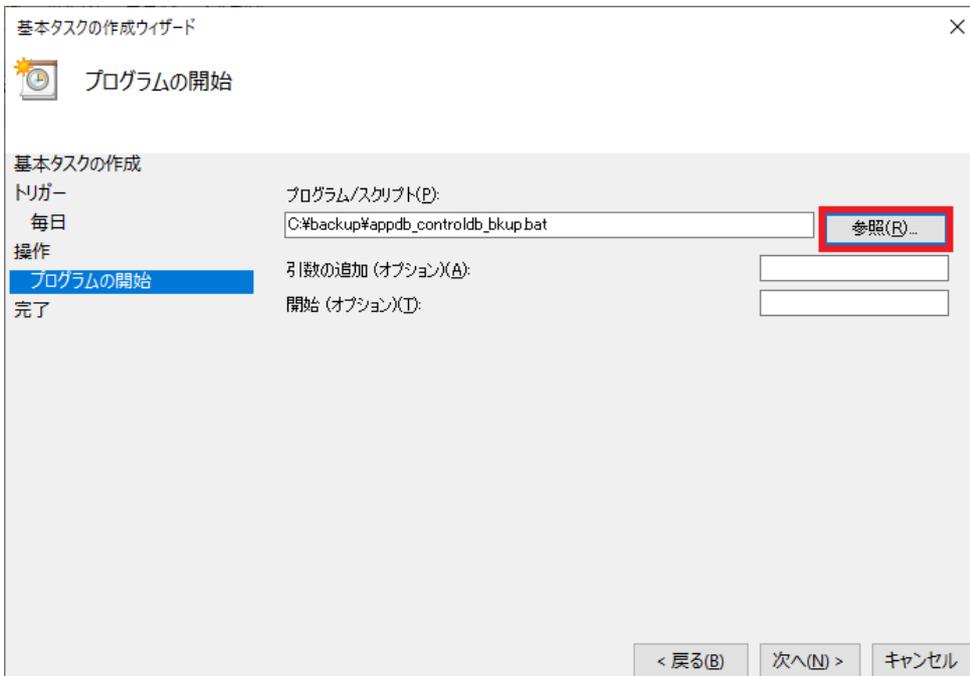
- トリガー (Trigger):
 - 開始(S): 2021/09/16 (calendar icon) 3:00:00 (time spinner) [checked] タイムゾーン間で同期(O) (Synchronize across time zones)
- 毎日 (Daily):
 - 間隔(O): 1 日 (interval: 1 day)
- 操作 (Operation):
- 完了 (Completion):

At the bottom, the same three buttons are present: "< 戻る(B)", "次へ(N) >", and "キャンセル". The "次へ(N) >" button is highlighted with a blue border.

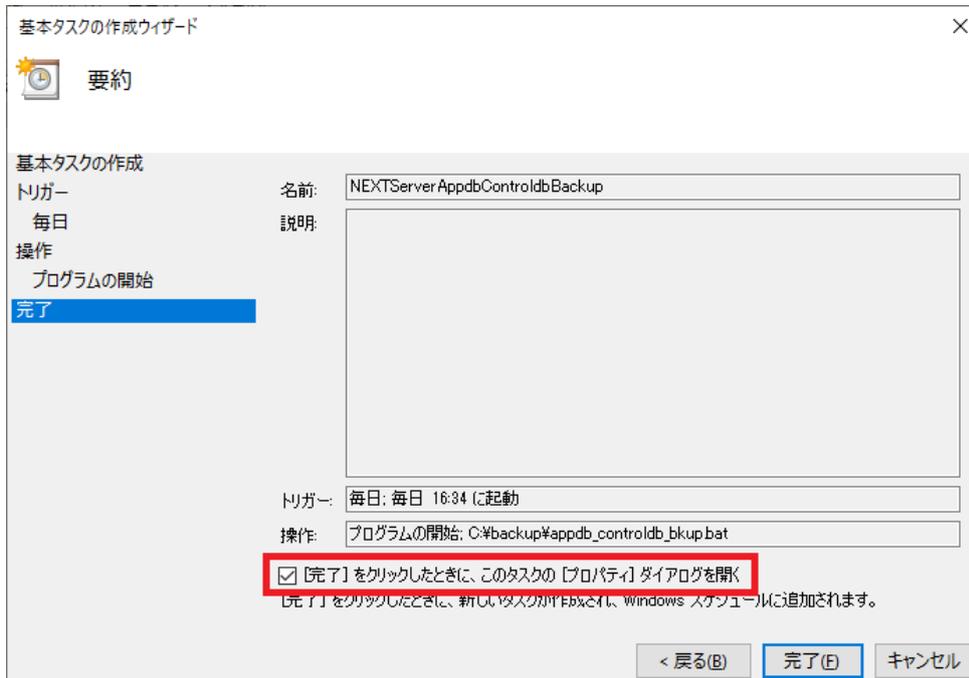
8. 「基本タスクの作成ウィザード」の「操作」画面が表示されます。「プログラムの開始」に設定して<次へ>ボタンをクリックします。



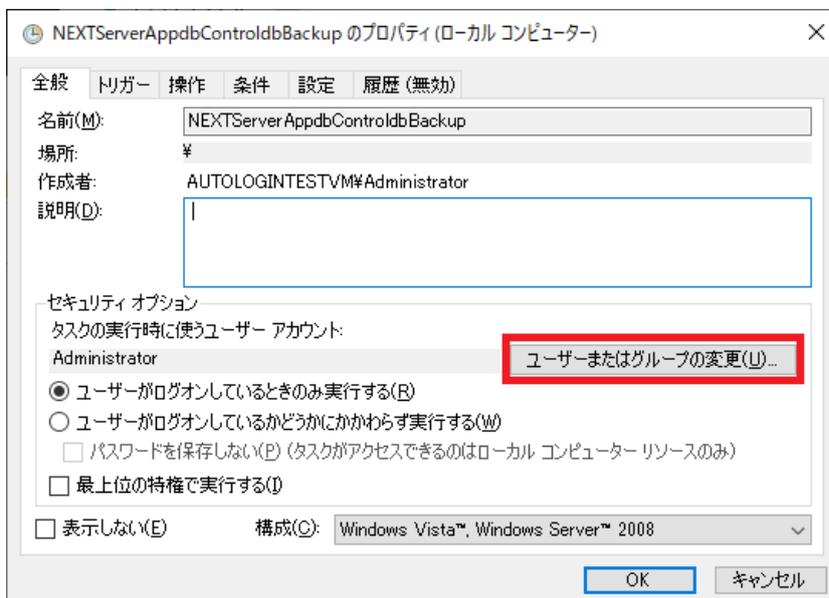
9. 「基本タスクの作成ウィザード」の「プログラムの開始」画面が表示されます。<参照>ボタンをクリックして「13.2.1. バックアップ用バッチファイルを作成」で作成したバッチファイルを選択して<次へ>ボタンをクリックします。



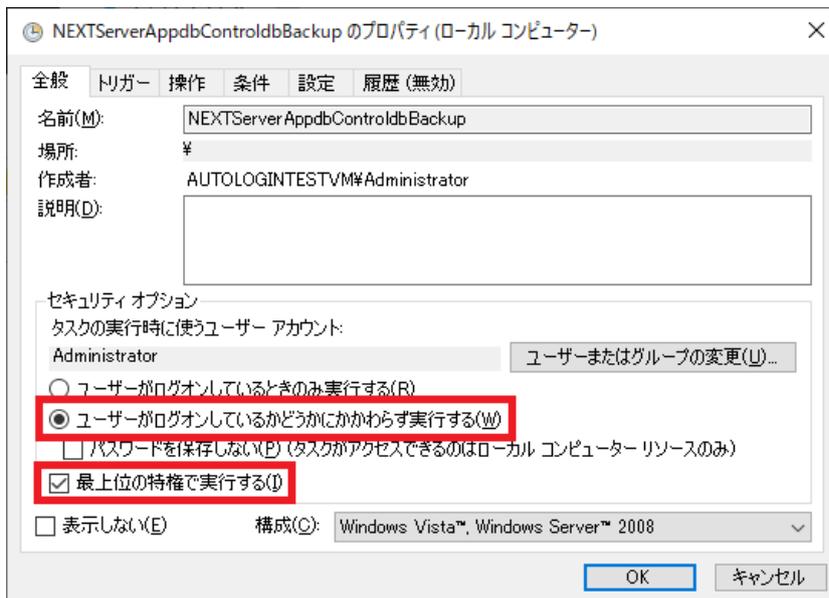
10. 「基本タスクの作成ウィザード」の「要約」画面が表示されます。「[完了]をクリックしたときに、このタスクの[プロパティ]ダイアログを開く」にチェックして<完了>ボタンをクリックします。



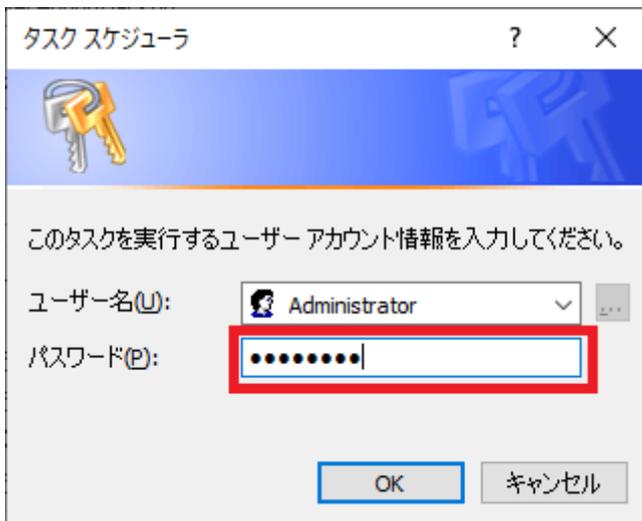
11. 作成したタスクのプロパティ画面が表示されます。<ユーザーまたはグループの変更>ボタンをクリックしてバックアップ用タスクスケジューラを実行するユーザーに変更してください。



12. 「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する」にチェックします。
また、「最上位の特権で実行する」にもチェックして<OK>ボタンをクリックします。



13. 「ユーザーアカウント制御のパスワード入力画面」が表示されます。「バックアップ用タスクスケジューラを実行するユーザー」のパスワードを入力し<OK>ボタンをクリックして設定は完了です。



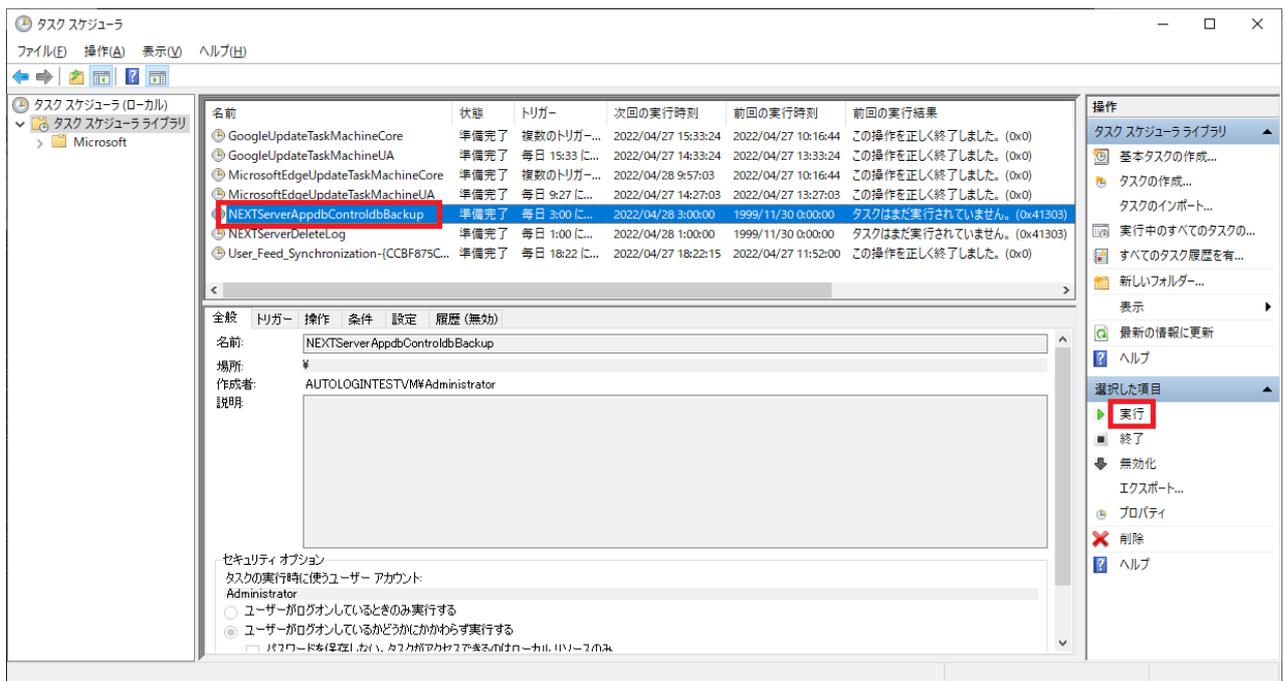
Info 入力した「バックアップ用タスクスケジューラを実行するユーザー」のユーザー名、またはパスワードを変更した場合は、手順 11 の設定から行う必要があります。

13.2.3. バックアップ用タスクスケジューラの動作確認

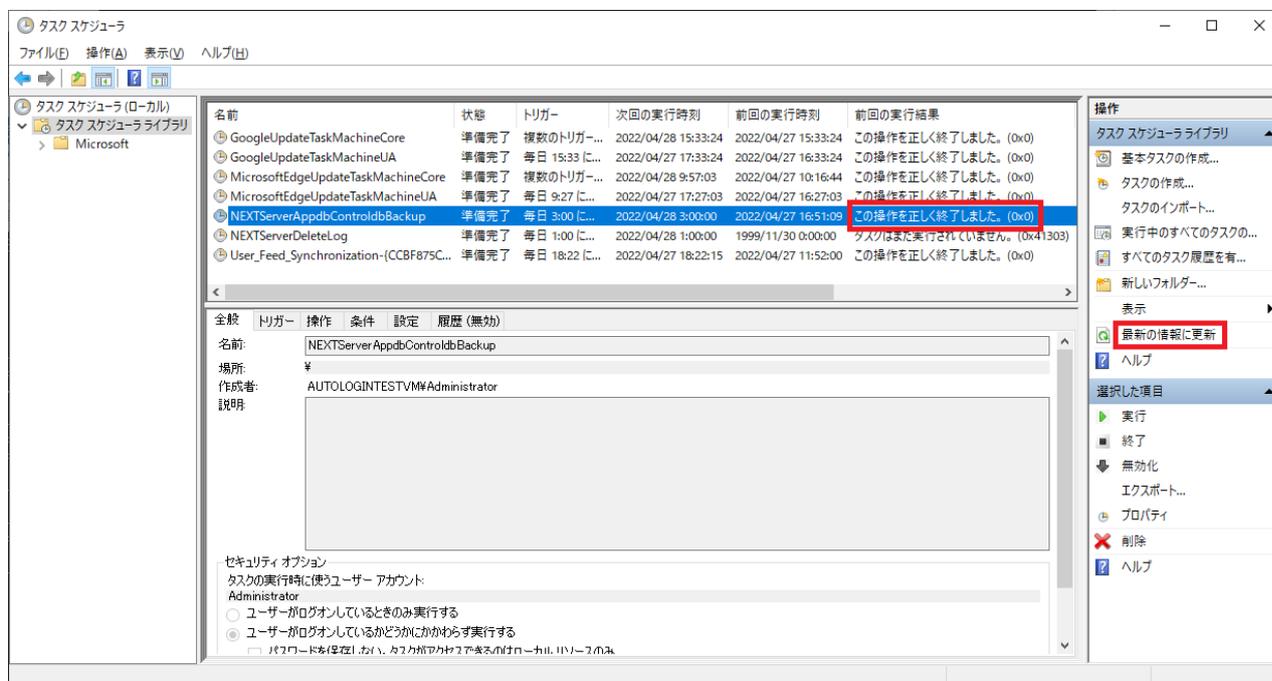
作成したタスクスケジューラが正常に動作するか、一度、手動でバックアップ用タスクスケジューラを実行して確認します。タスクスケジューラの手動実行、確認は以下の手順で行います。

1. 「13.2.2. バッチファイルをタスクスケジューラに登録」にて登録したタスクを選択して、「操作」ウィンドウの「実行」をクリックしてください。

※例として「NEXTServerAppdbControldbBackup」というタスク名に設定したものとして説明します。



2. しばらく待ってから「最新の情報に更新」をクリックします。実行したタスクの「前回の実行結果」が「この操作を正しく終了しました。(0x0)」と表示されればバックアップは完了です。
※バッチファイルに設定した「バックアップファイル名」のフォルダにバックアップファイルが生成されます。



Info 「前回の実行結果」が「現在タスクを実行中です。(0x41301)」と表示された場合は、しばらく待ってから再度「最新の情報に更新」をクリックしてください。

Info 「前回の実行結果」が「(0x1)」と表示された場合は、バックアップに失敗しています。失敗する要因としては以下が考えられますので、再度確認して手順 1 から実行してください。

- ・バックアップのバッチファイルの設定内容が間違っている
- ・タスクスケジューラの登録内容が間違っている
(「最上位の特権で実行する」が未チェック状態になっている、など)

13.3 NEXT ログ DB ファイルをバックアップする

NEXT ログ DB ファイルのバックアップを定期的に行う設定の手順について説明します。

13.3.1. バックアップ用バッチファイルを作成

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows アクセサリ]-[メモ帳]を選択してメモ帳を開き、下記内容をコピーしてメモ帳に貼り付けてください。

```
@echo off

: **** DB パスワードの設定 ****
: DB パスワードが「password」の場合は、「set PGPASSWORD=password」となります。
set PGPASSWORD=password

: **** pg_dump の配置場所 ****
: postgresQL のインストール先が「C:¥Program Files¥PostgreSQL」の場合は
: 「set PGDUMPPATH="C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin"」となります。
set PGDUMPPATH="C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin"

: **** バックアップファイル名 ****
: バックアップファイルを「C:¥backup¥logdb_YYMMDD_hhmmss.dump」としたい場合は
: 「set PGBKUPPATH="C:¥backup¥logdb"」となります。 注) 拡張子は不要です
set PGBKUPPATH="C:¥backup¥logdb"

: **** バックアップする DB 名 ****
: 「NEXT ログ DB ファイル」をバックアップする場合は「set PGBKUPFILE=logdb」となります。
set PGBKUPFILE=logdb

set d=%date%
set yyyy=%d:~-10,4%
set mm=%d:~-5,2%
set dd=%d:~-2,2%
set t=%time: =0%
set hh=%t:~0,2%
set mn=%t:~3,2%
set ss=%t:~6,2%
%PGDUMPPATH%¥pg_dump -Fc -w -p 5432 -U postgres
```

```
-f %PGBKUPPATH%_%yyyy%%mm%%dd%_%hh%%mn%%ss%.dump %PGBKUPFILE%
if "%ERRORLEVEL%"=="0" (
    echo ***** バックアップが正常に終了しました。 *****
    exit /b 0
) else (
    echo ***** バックアップに失敗しました。 *****
    exit /b 1
)
```

3. コピーした内容の下記内容をご使用の環境に合わせて修正してください。

項目	説明
DB パスワードの設定	NEXT チームサーバーのインストール時に「データベースパスワード設定画面」で設定したパスワードを設定してください。
pg_dump.exe の配置場所	NEXT チームサーバーのインストールでは、通常、「C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin」となります。
バックアップファイル名	バックアップファイルの保存ファイル名になります。 ※例示の BAT では、バックアップ実行時の“年月日_時分秒”がファイル名の末尾に自動的に付加されます。 ※ファイル拡張子は「.dump」となります（設定時は拡張子不要）。 ※任意のファイル名で構いません。
バックアップする DB 名	バックアップする DB 名になります。 NEXT ログ DB ファイルをバックアップする場合は「logdb」を設定してください。

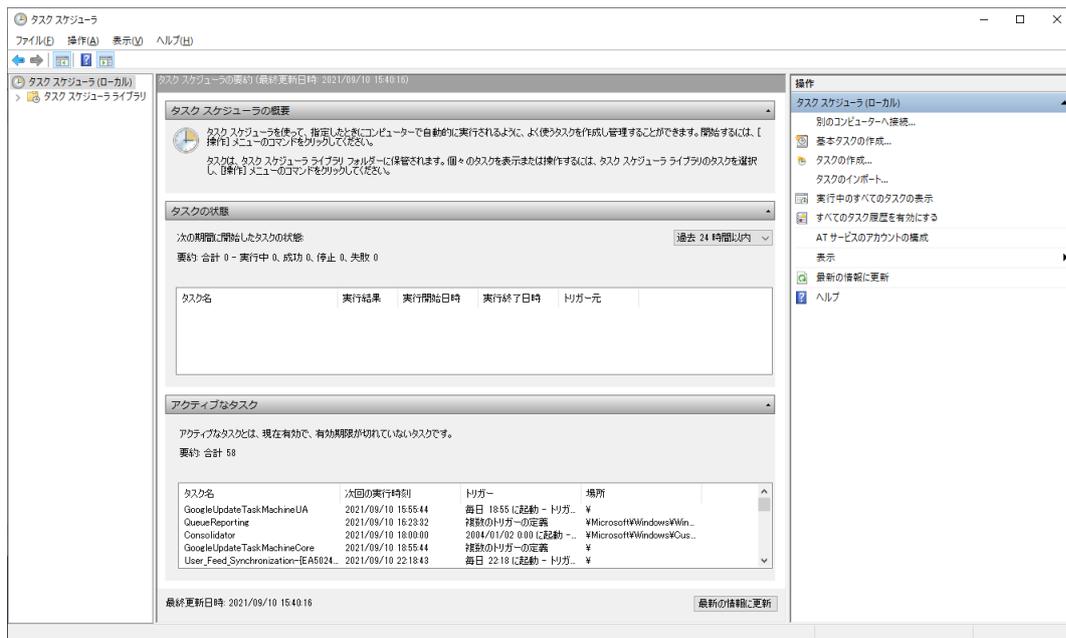
4. 修正したファイルを任意の場所に、拡張子「.bat」として保存してください。

※例として「C:¥backup」に「logdb_bkup.bat」というファイル名で保存したものと説明します。

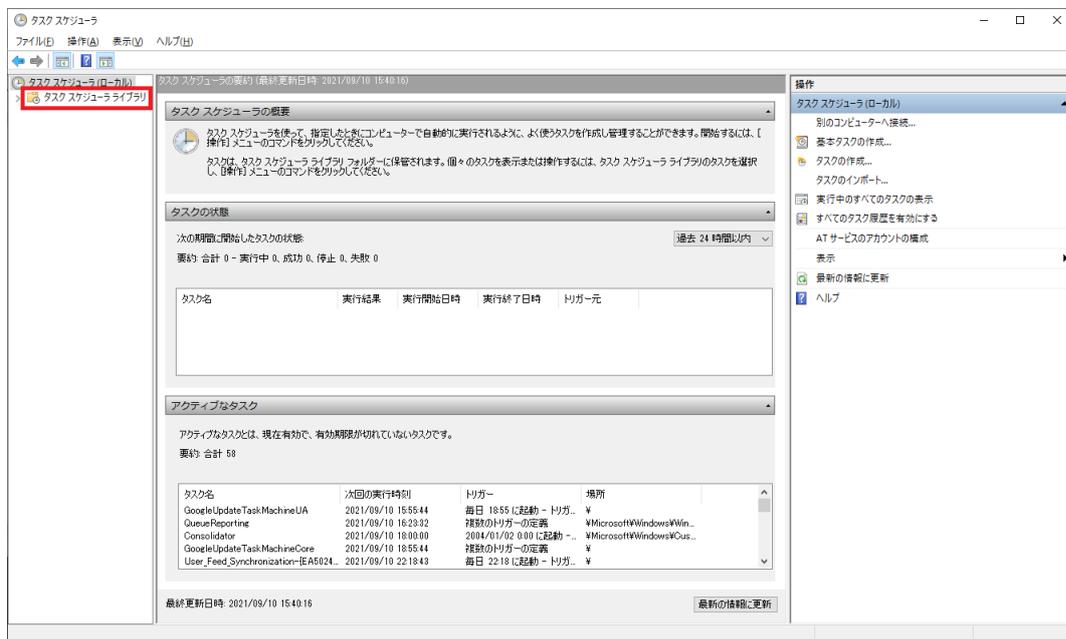
13.3.2. バッチファイルをタスクスケジューラに登録

例として、「13.3.1. バックアップ用バッチファイルを作成」で作成したバッチファイルを、毎日 AM3:00 にバックグラウンドで実行するタスクスケジューラ登録の手順を説明します。

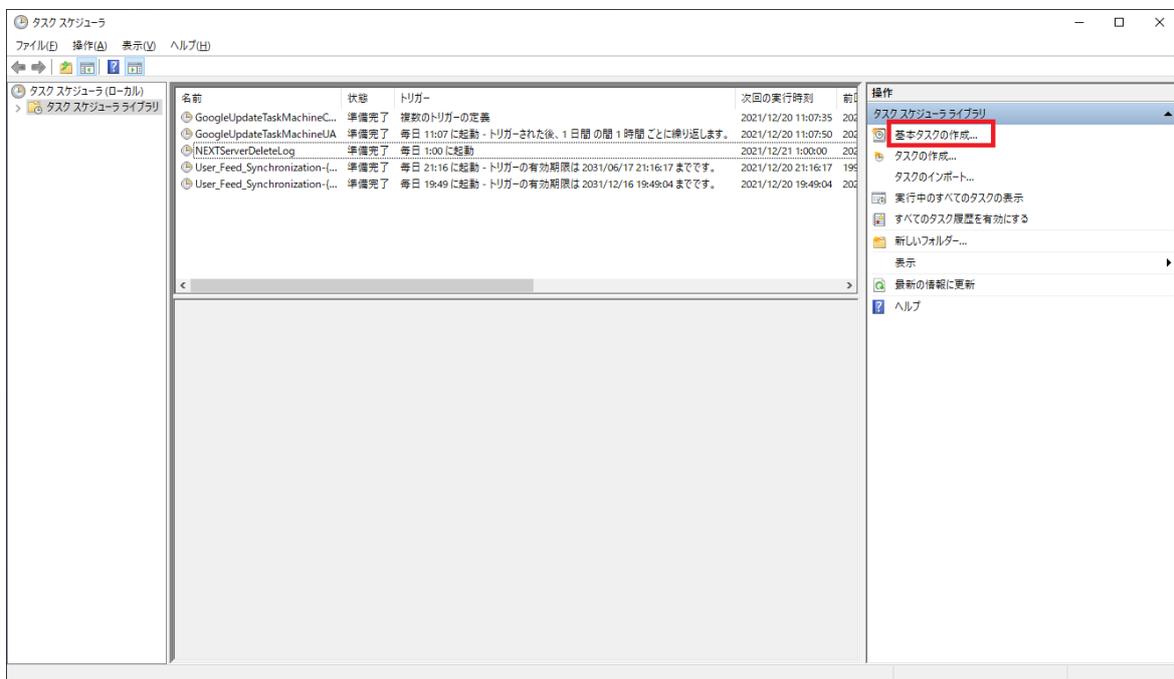
1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[タスク スケジューラ]を選択してタスク スケジューラを開きます。



3. 「タスク スケジューラ(ローカル)」画面が表示されます。「タスク スケジューラ ライブラリ」をクリックします。



4. 「機能」ビューに「タスク スケジューラ ライブラリ」画面が表示されます。「操作」ウィンドウの「基本タスクの作成」をクリックします。



5. 「基本タスクの作成ウィザード」の「基本タスクの作成」画面が表示されます。「名前」に任意のタスク名を入力して<次へ>ボタンをクリックします。

※例として「NEXTServerLogdbBackup」というタスク名に設定したものと説明します。

The screenshot shows a dialog box titled "基本タスクの作成ウィザード" (Basic Task Creation Wizard) with a close button (X) in the top right corner. The main title is "基本タスクの作成" (Basic Task Creation). On the left, there is a vertical navigation pane with four items: "基本タスクの作成" (highlighted in blue), "トリガー" (Trigger), "操作" (Operation), and "完了" (Completed). The main area contains the following text: "このウィザードでは、よく使うタスクをすばやくスケジュールします。複数のタスクの操作やトリガーなどの詳細オプションや設定は、[操作] ペインの [タスクの作成] コマンドを使ってください。" (This wizard allows you to quickly schedule commonly used tasks. For detailed options and settings such as multiple task operations and triggers, please use the [Task Creation] command in the [Operation] pane.) Below this text, there are two input fields: "名前(A):" (Name) containing "NEXTServerLogdbBackup" (highlighted with a red box) and "説明(D):" (Description), which is currently empty. At the bottom right, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next) (highlighted with a blue box), and "キャンセル" (Cancel).

6. 「基本タスクの作成ウィザード」の「タスク トリガー」画面が表示されます。定期的にバックアップを行いたい設定を選択して<次へ>ボタンをクリックします。

※例として「毎日」に設定しています。

The screenshot shows the same dialog box as in step 5, but the main title is now "タスクトリガー" (Task Trigger). The left navigation pane has "タスクトリガー" highlighted in blue. The main area contains the text: "いつタスクを開始しますか?" (When do you want to start the task?). Below this text, there is a list of radio button options: "毎日(D)" (Daily) (selected with a blue dot), "毎週(W)" (Weekly), "毎月(M)" (Monthly), "1回限り(O)" (One-time only), "コンピューターの起動時(H)" (At computer startup), "ログオン時(L)" (At logon), and "特定イベントのログへの記録時(E)" (At recording to log for specific events). At the bottom right, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next) (highlighted with a blue box), and "キャンセル" (Cancel).

7. 「基本タスクの作成ウィザード」の「タスク トリガー」の「毎日」画面が表示されます。定期的にバックアップを行いたい時間を設定して<次へ>ボタンをクリックします。
※例として「AM3:00:00」に設定しています。

The screenshot shows the 'Basic Task Creation Wizard' dialog box with the 'Daily' step selected. The 'Start' field is set to '2021/09/16' and the 'Time' field is set to '3:00:00'. The 'Repeat every' field is set to '1' day. The 'Time zone' checkbox is checked. The 'Next' button is highlighted.

基本タスクの作成ウィザード

毎日

基本タスクの作成
トリガー
毎日 開始(S): 2021/09/16 3:00:00 タイムゾーン間で同期(O)
間隔(C): 1 日
操作
完了

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8. 「基本タスクの作成ウィザード」の「操作」画面が表示されます。「プログラムの開始」に設定して<次へ>ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Basic Task Creation Wizard' dialog box with the 'Action' step selected. The 'Trigger' is set to 'Daily'. The question 'Task action?' is displayed. The 'Start of program' radio button is selected and highlighted with a red box. The 'Next' button is highlighted.

基本タスクの作成ウィザード

操作

基本タスクの作成
トリガー
毎日
タスクでどの操作を実行しますか?
操作 プログラムの開始(I)
完了 電子メールの送信 (非推奨)(S)
 メッセージの表示 (非推奨)(M)

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

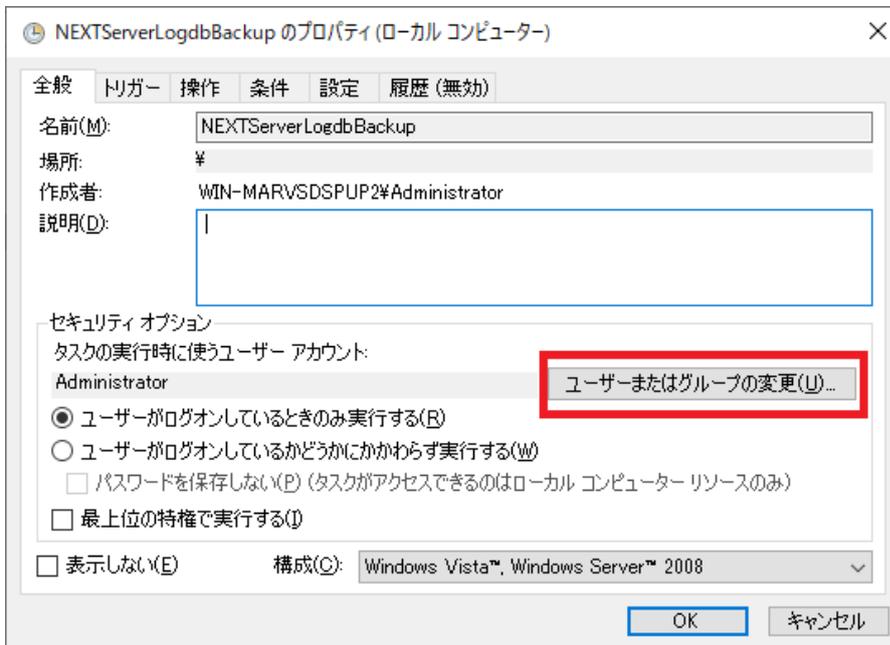
9. 「基本タスクの作成ウィザード」の「プログラムの開始」画面が表示されます。<参照>ボタンをクリックして「13.3.1. バックアップ用バッチファイルを作成」で作成したバッチファイルを選択して<次へ>ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Basic Task Creation Wizard' dialog box, titled '基本タスクの作成ウィザード'. The current step is 'プログラムの開始' (Program Start). The '基本タスクの作成' (Basic Task Creation) section is active, with 'プログラムの開始' selected in the left-hand menu. The 'トリガー' (Trigger) is set to '毎日' (Daily). The 'プログラム/スクリプト(P):' (Program/Script) field contains 'C:\backup*logdb_bkup.bat', and the '参照(B)...' (Browse...) button is highlighted with a red box. The '操作' (Action) section has 'プログラムの開始' (Program Start) selected. The '完了' (Completed) step is also visible. At the bottom, there are buttons for '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

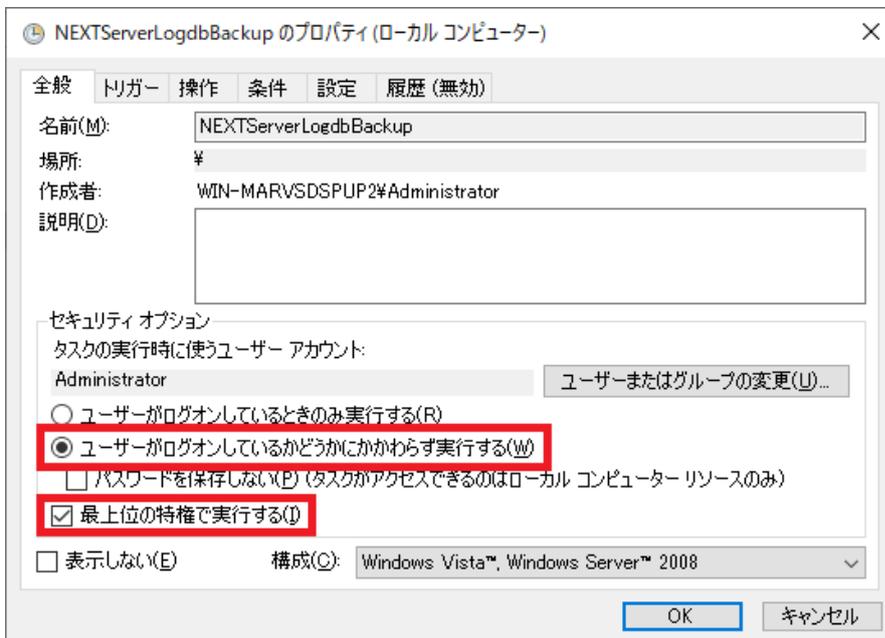
10. 「基本タスクの作成ウィザード」の「要約」画面が表示されます。「[完了]をクリックしたときに、このタスクの[プロパティ]ダイアログを開く」にチェックして<完了>ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Basic Task Creation Wizard' dialog box, titled '基本タスクの作成ウィザード'. The current step is '要約' (Summary). The '基本タスクの作成' (Basic Task Creation) section is active, with '完了' (Completed) selected in the left-hand menu. The '名前' (Name) field contains 'NEXTServerLogdbBackup'. The 'トリガー' (Trigger) is set to '毎日' (Daily) and '毎日 3:00 に起動' (Starts daily at 3:00). The '操作' (Action) is 'プログラムの開始: C:\backup*logdb_bkup.bat'. The checkbox '完了]をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く' (When I click [Completed], open the [Properties] dialog for this task) is checked and highlighted with a red box. Below the checkbox, a note states: '完了]をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジューラに追加されます。' (When I click [Completed], a new task is created and added to Windows Scheduler.). At the bottom, there are buttons for '< 戻る(B)' (Back), '完了(F)' (Finish), and 'キャンセル' (Cancel).

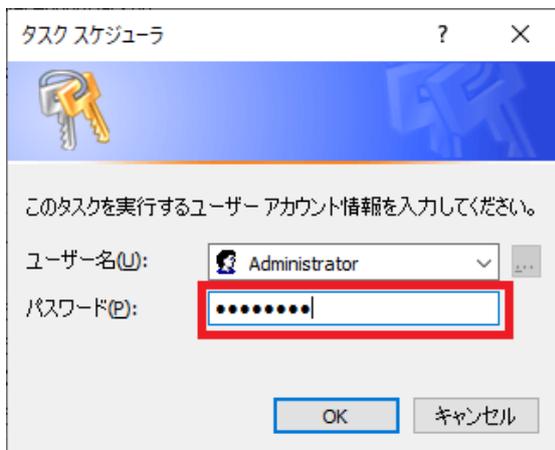
11. 作成したタスクのプロパティ画面が表示されます。<ユーザーまたはグループの変更>ボタンをクリックしてバックアップ用タスクスケジューラを実行するユーザーに変更してください。



12. 「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する」にチェックします。また、「最上位の特権で実行する」にもチェックして<OK>ボタンをクリックします。



13. 「ユーザーアカウント制御のパスワード入力画面」が表示されます。「バックアップ用タスクスケジューラを実行するユーザー」のパスワードを入力し<OK>ボタンをクリックして設定は完了です。



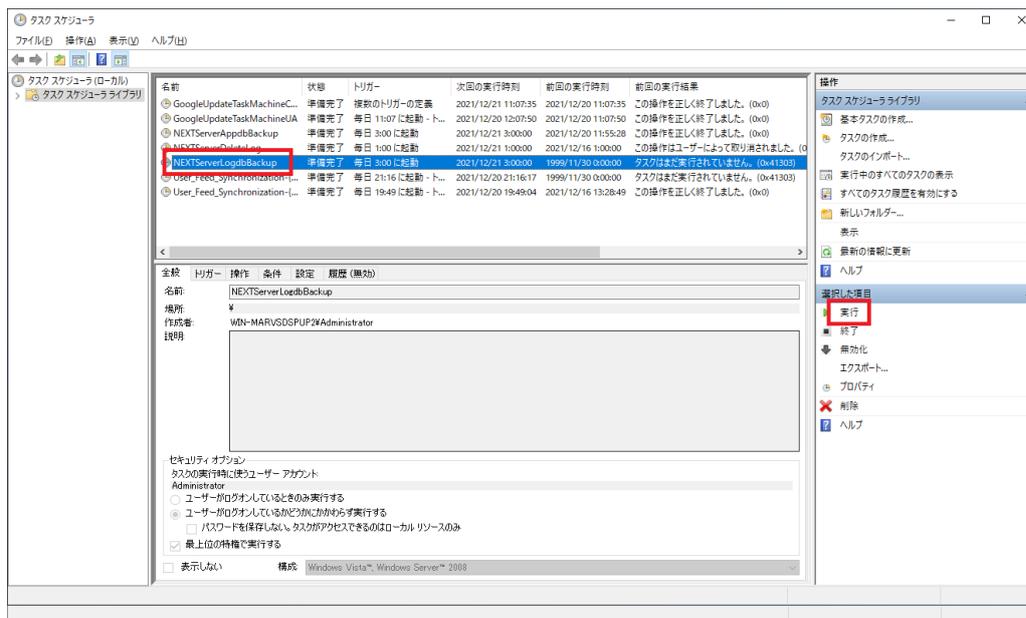
Info 入力した「バックアップ用タスクスケジューラを実行するユーザー」のユーザー名、またはパスワードを変更した場合は、手順 11 の設定から行う必要があります。

13.3.3. バックアップ用タスクスケジューラの動作確認

作成したタスクスケジューラが正常に動作するか、一度、手動でバックアップ用タスクスケジューラを実行して確認します。タスクスケジューラの手動実行、確認は以下の手順で行います。

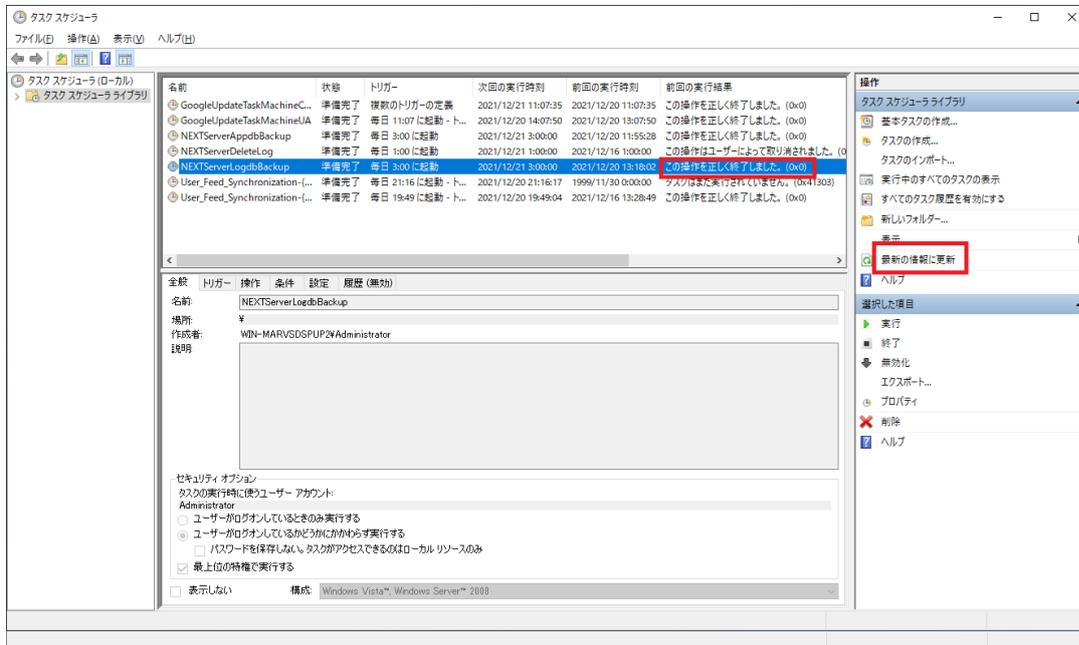
- 「13.3.2. バッチファイルをタスクスケジューラに登録」にて登録したタスクを選択して、「操作」ウィンドウの「実行」をクリックしてください。

※例として「NEXTServerLogdbBackup」というタスク名に設定したものと説明します。



2. しばらく待ってから「最新の情報に更新」をクリックします。実行したタスクの「前回の実行結果」が「この操作を正しく終了しました。(0x0)」と表示されればバックアップは完了です。

※バッチファイルに設定した「バックアップファイル名」のフォルダにバックアップファイルが生成されます。



Info 「前回の実行結果」が「現在タスクを実行中です。(0x41301)」と表示された場合は、しばらく待ってから再度「最新の情報に更新」をクリックしてください。

Info 「前回の実行結果」が「(0x1)」と表示された場合は、バックアップに失敗しています。失敗する要因としては以下が考えられますので、再度確認して手順 1 から実行してください。

- ・バックアップのバッチファイルの設定内容が間違っている
- ・タスクスケジューラの登録内容が間違っている
(「最上位の特権で実行する」が未チェック状態になっている、など)

14. リストア

14.1 概要

NEXT チームサーバーのデータベースファイルをリストアする手順について記します。
リストアの対象となるデータベースは以下があります。

- NEXT 管理 DB ファイル
ユーザー情報やクライアント設定などのアプリケーションに関連するデータが保存されたデータベースファイルです。
- NEXT ログ DB ファイル
NEXT マネージャーで閲覧できるログデータが保存されたデータベースファイルです。
- NEXT コントロール設定 DB ファイル
NEXT マネージャーで設定する「コントロール設定」に関連するデータが保存されたデータベースファイルです。

リカバリ実施の流れは以下となります。

1. 現在のデータベースファイルのバックアップ
2. IIS の停止
3. タスクスケジューラの無効化
4. リストア用バッチファイルの作成
5. データベースファイルのリストア
6. IIS の開始
7. タスクスケジューラの有効化

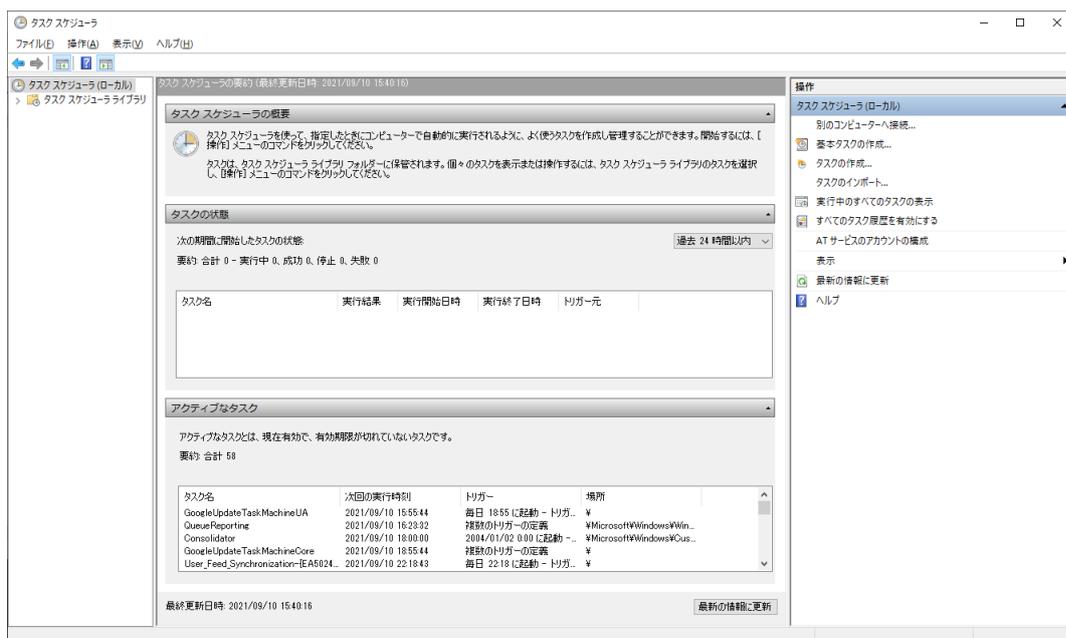
14.2 NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルをリストアする

NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB が破損した場合や、特定のバックアップした時点まで NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB を戻す場合にリストアすることができます。NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB のリストアを行う手順について説明します。

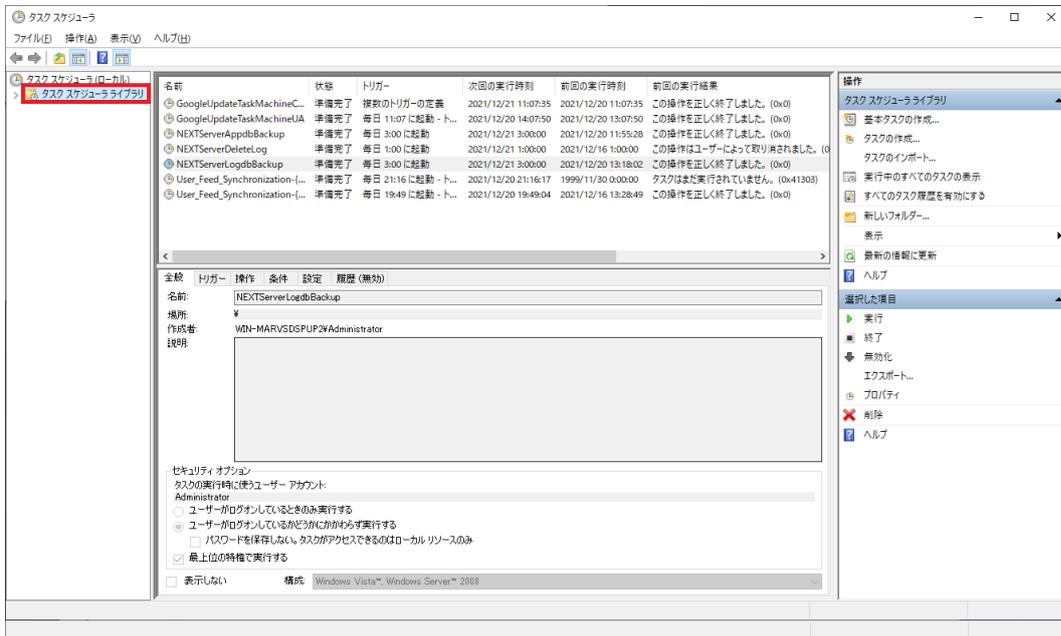
14.2.1. 現在の NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB をバックアップ

※リストアに失敗した場合、元の DB に戻すために予めバックアップを実行することを推奨します。

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[タスク スケジューラ]を選択してタスク スケジューラを開きます。

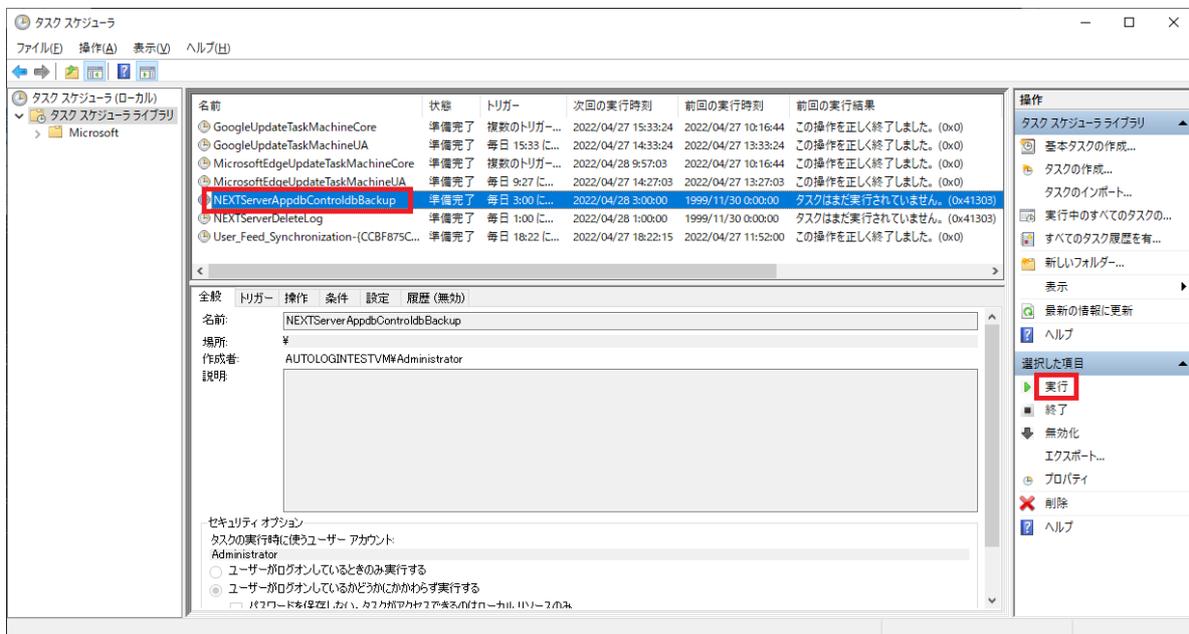


3. 「タスク スケジューラ(ローカル)」画面が表示されます。「タスク スケジューラ ライブラリ」をクリックします。



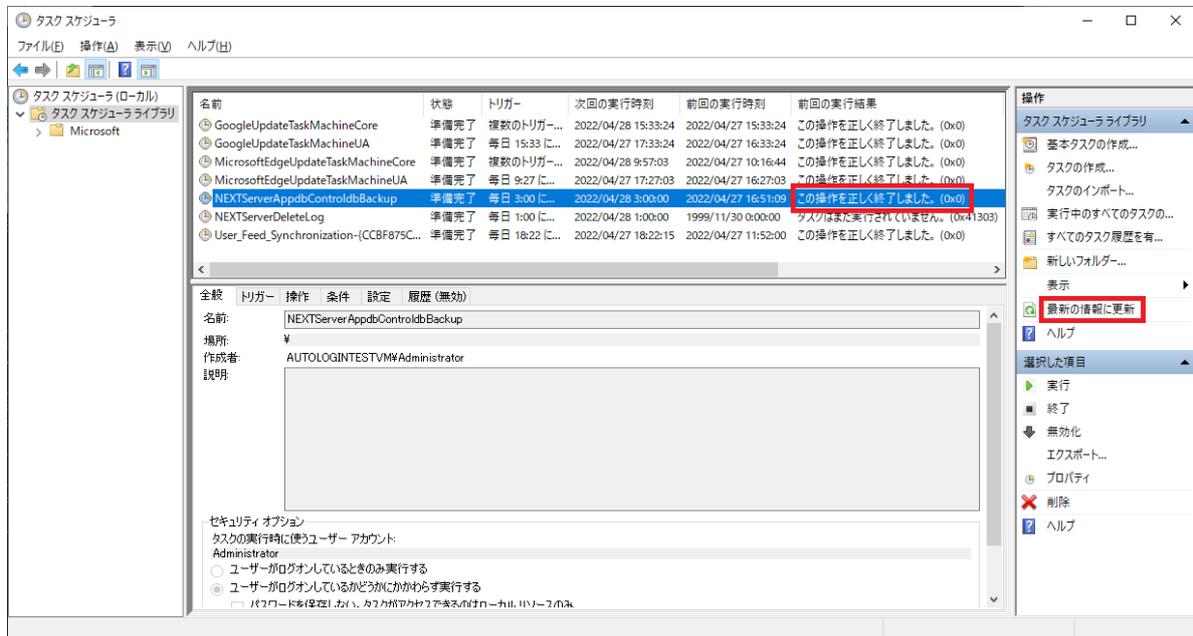
4. 「機能」ビューに「タスク スケジューラ ライブラリ」画面が表示されます。NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB のバックアップ用タスクスケジューラをクリックして、「操作」ウィンドウの「実行」をクリックしてください。

※例として「NEXTServerAppdbControldbBackup」というタスク名に設定したものと説明します。



5. しばらく待ってから「最新の情報に更新」をクリックします。実行したタスクの「前回の実行結果」が「この操作を正しく終了しました。(0x0)」と表示されればバックアップは完了です。

※バッチファイルに設定した「バックアップファイル名」のフォルダにバックアップファイルが生成されます。



Info 「前回の実行結果」が「現在タスクを実行中です。(0x41301)」と表示された場合は、しばらく待ってから再度「最新の情報に更新」をクリックしてください。

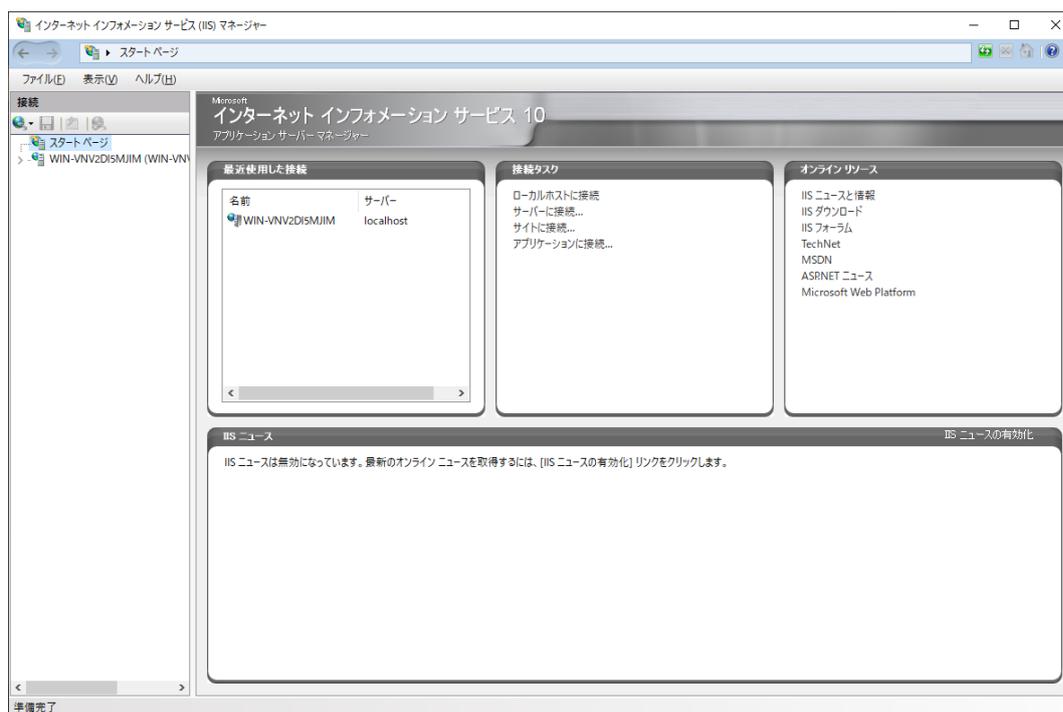
Info 「前回の実行結果」が「(0x1)」と表示された場合は、バックアップに失敗しています。失敗する要因としては以下が考えられますので、再度確認して手順 4 から実行してください。

- ・バックアップのバッチファイルの設定内容が間違っている

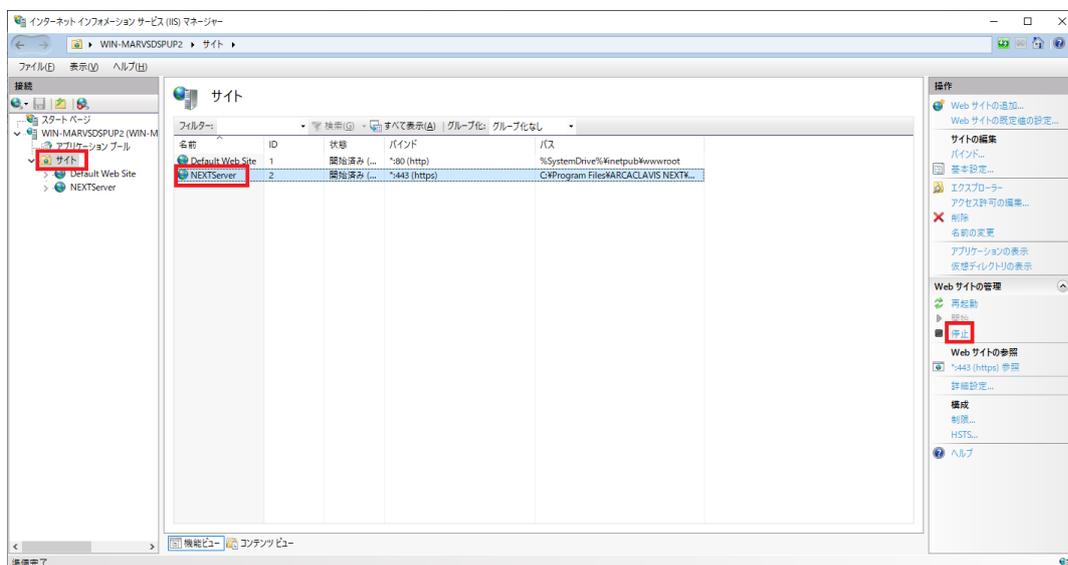
14.2.2. IIS の停止

リストアを行う際は、必ず IIS を停止してから行ってください。

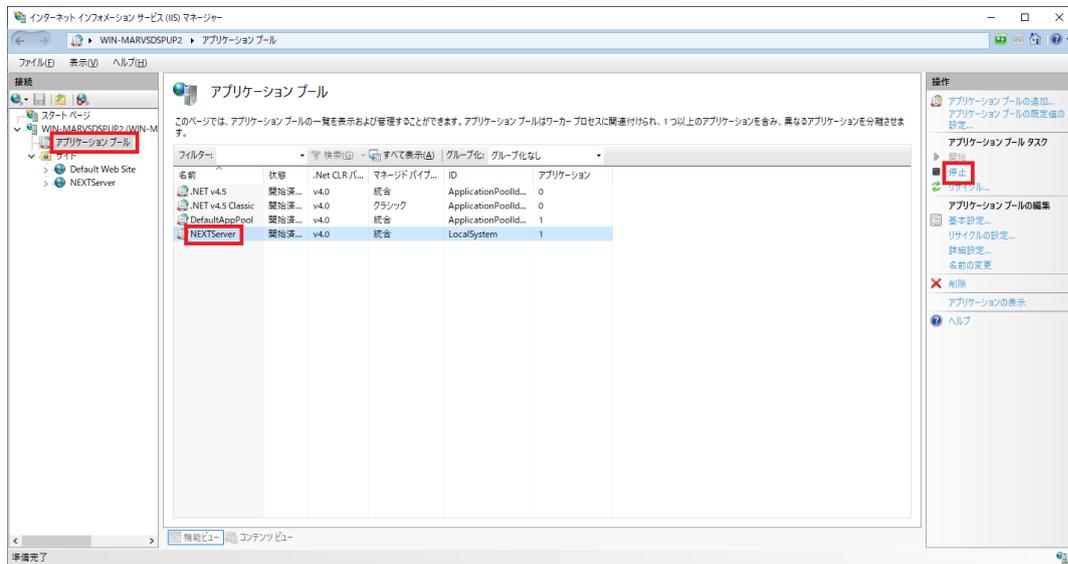
1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を選択してインターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーを開きます。



3. IIS マネージャーの「接続」ビューの「サイト」をクリックし、「機能」ビューから「NEXTServer」をクリックして、「操作」ウィンドウの「停止」をクリックします。



4. 「接続」ビューの「アプリケーションプール」をクリックし、「機能」ビューから「NEXTServer」をクリックして、「操作」ウィンドウの「停止」をクリックします。

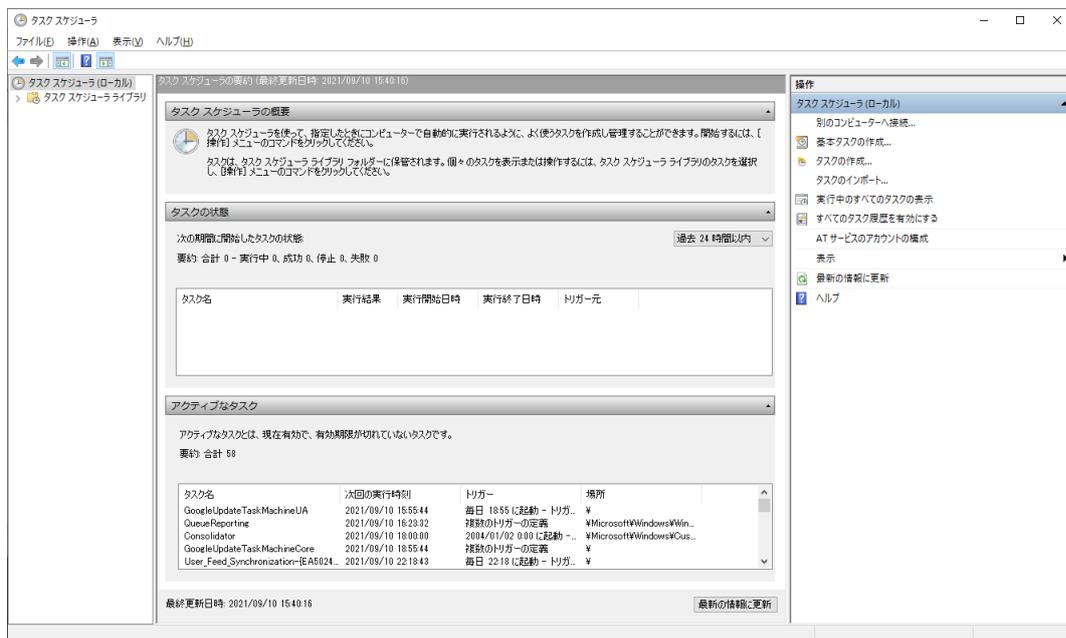


14.2.3. タスクスケジューラの無効化

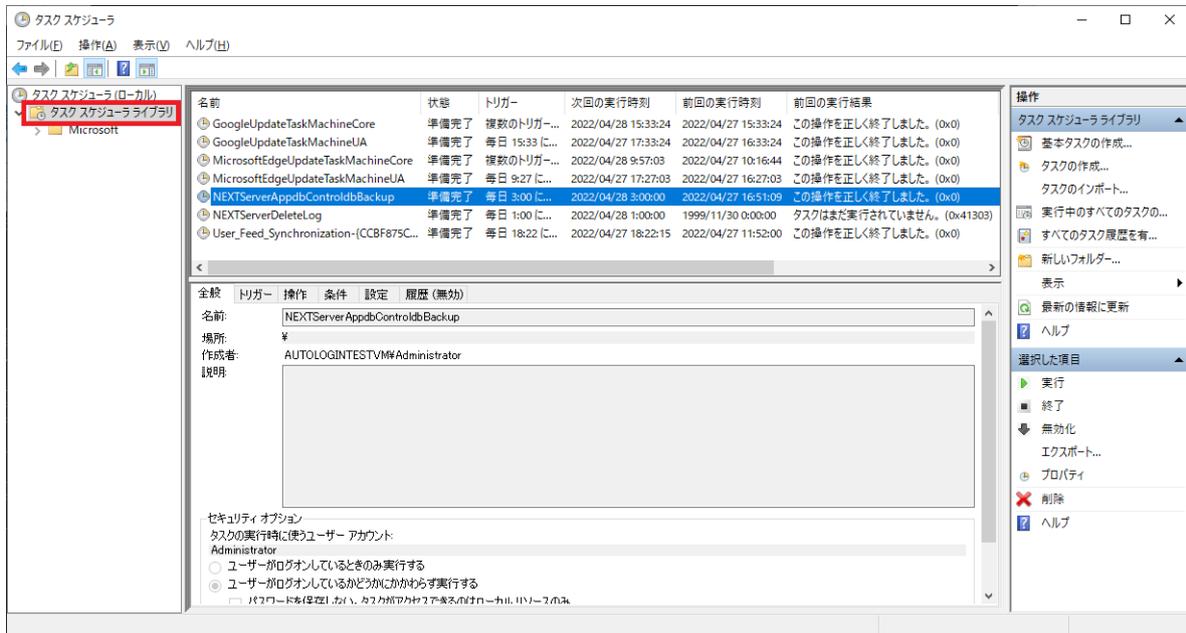
リストアを行う際は、ログ管理用タスクスケジューラ、及びバックアップ用タスクスケジューラを無効化してから行ってください。

※タスクスケジューラが動作する時間とリストアする時間が被らなければ無効化の操作は不要です。

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[タスク スケジューラ]を選択してタスク スケジューラを開きます。

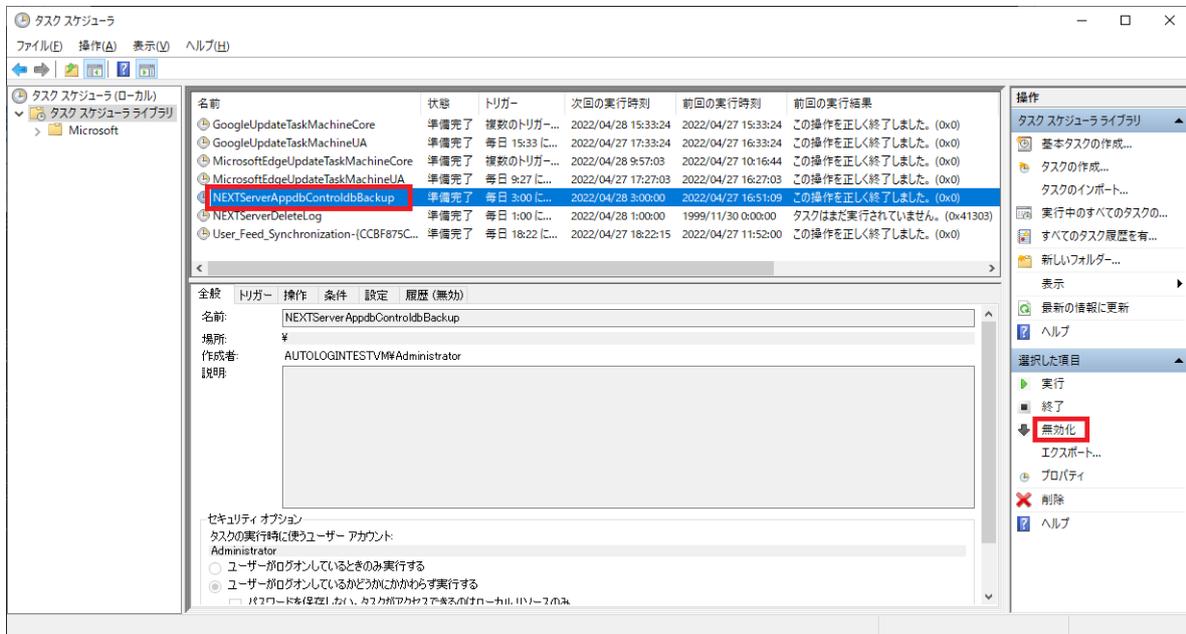


3. 「タスク スケジューラ(ローカル)」画面が表示されます。「タスク スケジューラ ライブラリ」をクリックします。



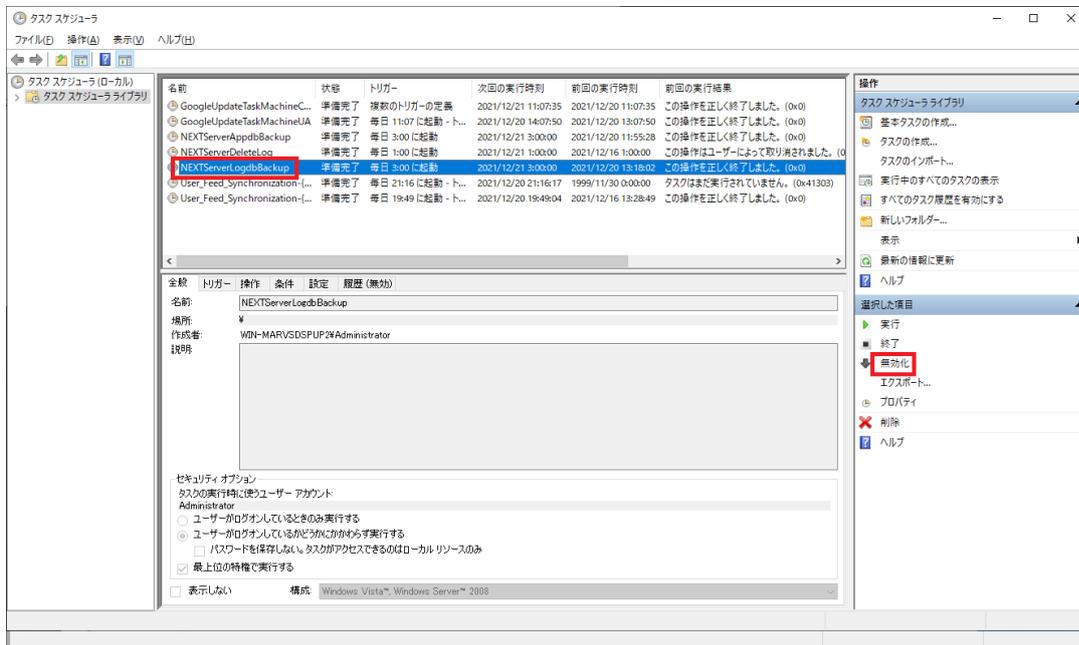
4. 「機能」ビューに「タスク スケジューラ ライブラリ」画面が表示されます。NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB のバックアップ用タスクスケジューラをクリックして、「操作」ウィンドウの「無効化」をクリックしてください。

※例として「NEXTServerAppdbControldbBackup」というタスク名に設定したものと説明します。



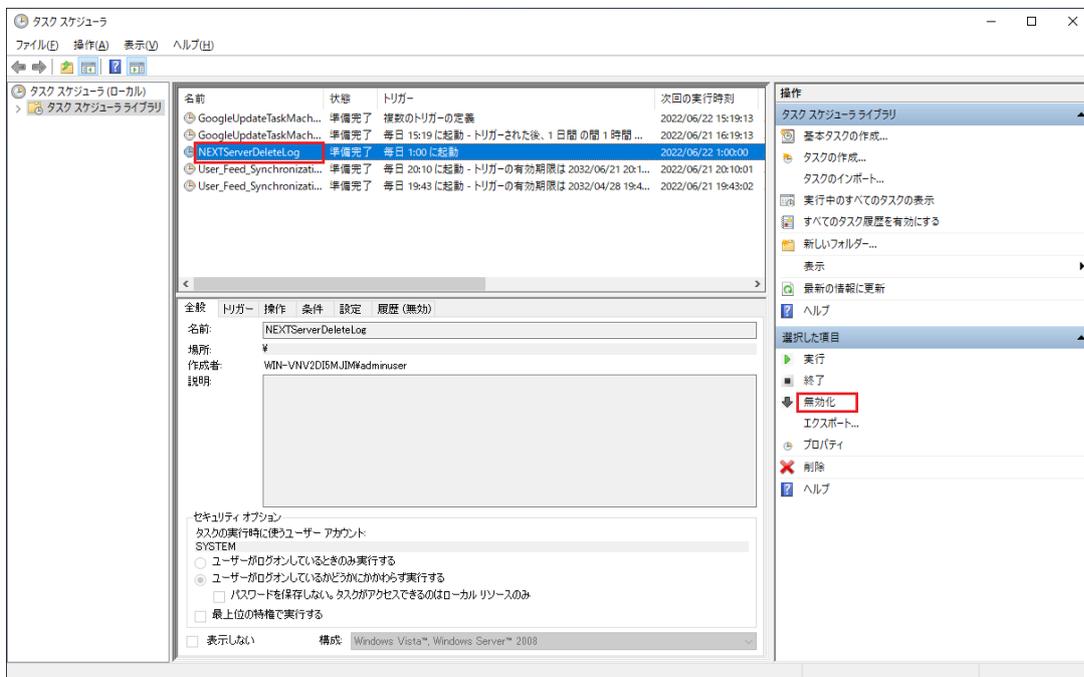
5. 同様に、NEXT ログ DB ファイルのバックアップ用タスクスケジューラをクリックして、「操作」ウィンドウの「無効化」をクリックしてください。

※例として「NEXTServerLogdbBackup」というタスク名に設定したものと説明します。



6. 同様に、ログ管理用タスクスケジューラをクリックして、「操作」ウィンドウの「無効化」をクリックしてください。

※例として「NEXTServerDeleteLog」というタスク名に設定したものと説明します。



14.2.4. NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB のリストア用バッチファイルを作成

1. NEXT チームサーバー用コンピュータに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows アクセサリ]-[メモ帳]を選択してメモ帳を開き、下記内容をコピーしてメモ帳に貼り付けてください。

```
@echo off

: **** DB パスワードの設定 ****
: DB パスワードが「password」の場合は、「set PGPASSWORD=password」となります。
set PGPASSWORD=password

: **** pg_restore.exe の配置場所 ****
: postgresQL のインストール先が「C:¥Program Files¥PostgreSQL」の場合は
: 「set PGRESTOREPATH="C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin"」となります。
set PGRESTOREPATH="C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin"

: **** リストアするファイル名 ****
: 「C:¥backup¥appdb_20210915_155952.dump」を使用してリストアする場合は
: 「set PGRESTOREFILE="C:¥backup¥appdb_20210915_155952.dump"」となります。
set PGRESTOREAPPFILE="C:¥backup¥appdb_20210915_155952.dump"
set PGRESTORECTLFIL="C:¥backup¥controldb_20210915_155952.dump"

: **** リストアする DB 名 ****
: 「NEXT 管理 DB ファイル」をリストアする場合は「set PGRESTOREAPPDB=appdb」、
: 「NEXT コントロール設定 DB ファイル」をリストアする場合は「set
PGRESTORECTLDDB=controldb」となります。
set PGRESTOREAPPDB=appdb
set PGRESTORECTLDDB=controldb

%PGRESTOREPATH%¥pg_restore.exe -w -c -p 5432 -U postgres
-d %PGRESTOREAPPDB% %PGRESTOREAPPFILE%
if not "%ERRORLEVEL%"=="0" (
    echo ***** NEXT 管理 DB ファイルのリストアに失敗しました。 *****
    exit /b 1
)
%PGRESTOREPATH%¥pg_restore.exe -w -c -p 5432 -U postgres
-d %PGRESTORECTLDDB% %PGRESTORECTLFIL%
if "%ERRORLEVEL%"=="0" (
    echo ***** リストアが正常に終了しました。 *****
```

```

) else (
  echo ***** NEXT コントロール設定 DB ファイルのリストアに失敗しました。 *****
  exit /b 1
)
pause

```

3. コピーした内容の下記内容をご使用の環境に合わせて修正してください。

項目	説明
DB パスワードの設定	NEXT チームサーバーのインストール時に「データベースパスワード設定画面」で設定したパスワードになります。
pg_restore.exe の配置場所	NEXT チームサーバーのインストールでは、通常、「C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin」となります。
リストアするファイル名	リストアで使用するファイル名になります。 ※任意のファイル名で構いません。拡張子は「.dump」とします。
リストアする DB 名	リストアする DB 名になります。 NEXT 管理 DB ファイルをリストアする場合は「appdb」を、NEXT コントロール設定 DB ファイルをリストアする場合は「controldb」を設定してください。

4. 修正したファイルを任意の場所に、拡張子「.bat」として保存してください。

※例として「C:¥backup」に「appdb_controldb_restore.bat」というファイル名で保存したものと説明します。

14.2.5. NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルをリストア

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. 「14.2.4. NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルのリストア用バッチファイルを作成」で作成したバッチファイルを選択し、「右クリック」-「管理者として実行」してください。
3. コマンドプロンプトに「***** リストアが正常に終了しました。 *****」と表示されるとリストアは完了となります。

Info 「***** NEXT 管理 DB ファイルのリストアに失敗しました。 *****」、または「***** NEXT コントロール設定 DB ファイルのリストアに失敗しました。 *****」と表示された場合は、リストアに失敗しています。

失敗する要因としては以下が考えられますので、再度確認して手順 2 から実行してください。

- ・リストアのバッチファイルの設定内容が間違っている
- ・リストアのバッチファイルを管理者として実行していない

※問題が見つからない場合はバックアップファイルが破損している可能性があるため、「14.2.1. 現在の NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルをバックアップ」で作成したバックアップファイルを使用してリストアを行ってください。

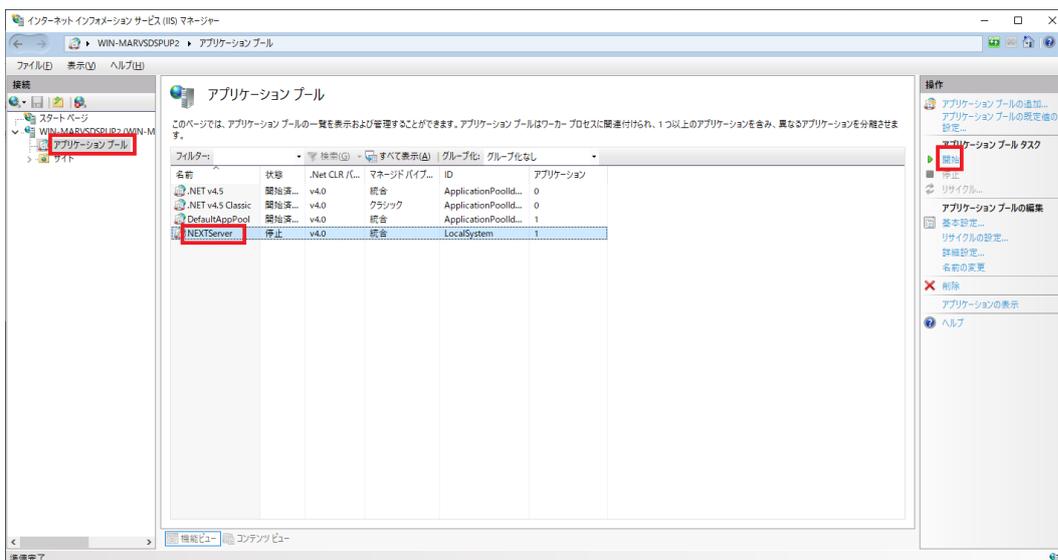
14.2.6. IIS の開始

リストアの作業が完了した後に停止させた IIS を開始してください。

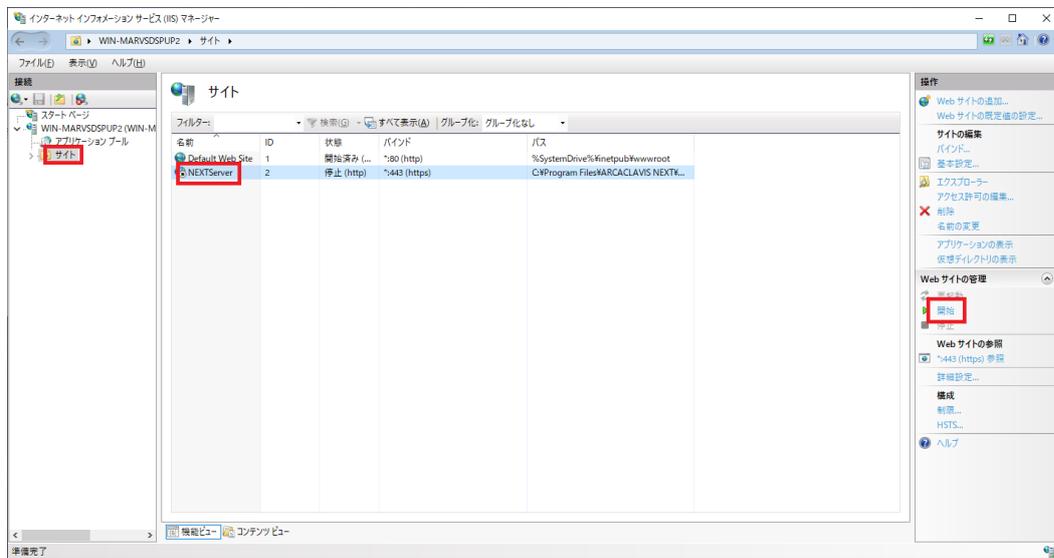
1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を選択してインターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーを開きます。



3. IIS マネージャーの「接続」ビューの「アプリケーションプール」をクリックし、「機能」ビューから「NEXTServer」をクリックして、「操作」ウィンドウの「開始」をクリックします。



4. 「接続」ビューの「サイト」をクリックし、「機能」ビューから「NEXT Server」をクリックして、「操作」ウィンドウの「開始」をクリックします。

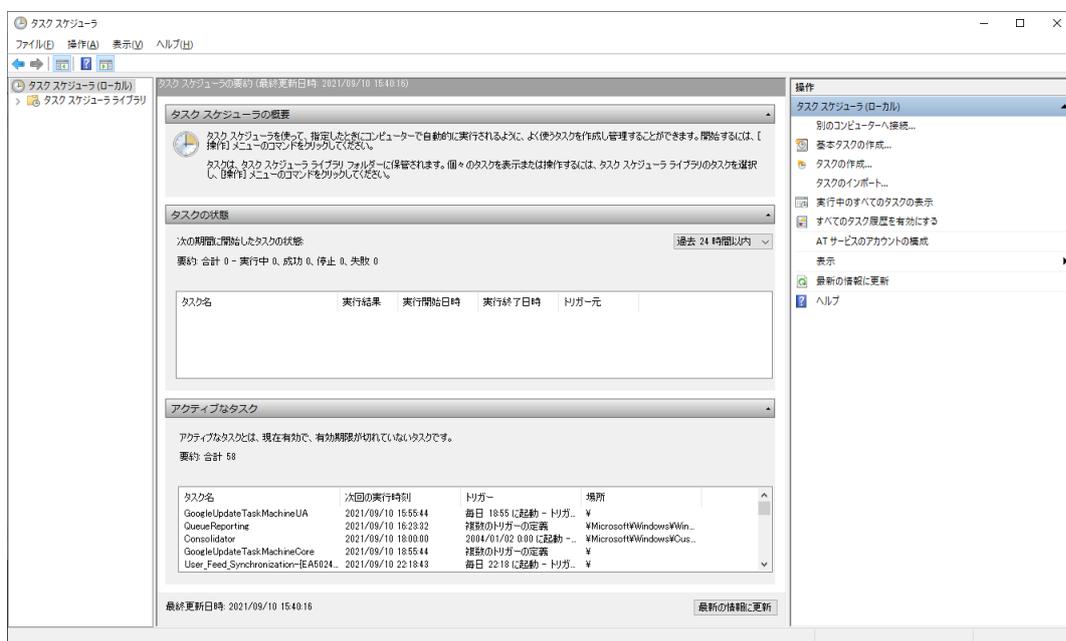


14.2.7. タスクスケジューラの有効化

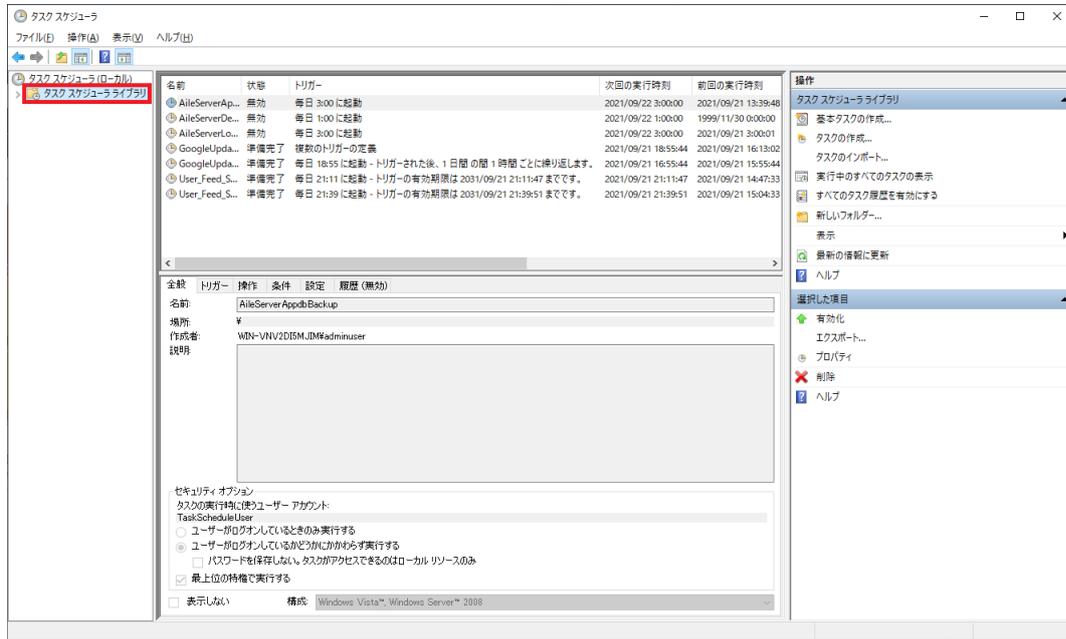
リストアの作業が完了した後に無効化したログ管理用タスクスケジューラ、及びバックアップ用タスクスケジューラを有効化してください。

※「14.2.3. タスクスケジューラの無効化」でタスクスケジューラを無効化していなければ有効化の操作は不要です。

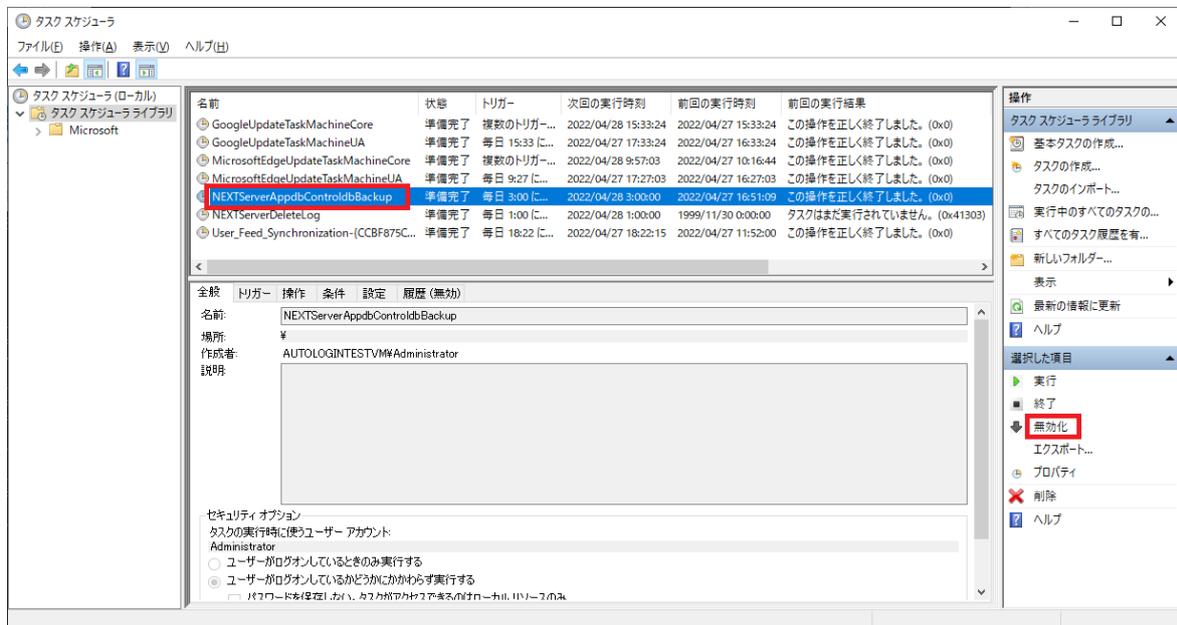
1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[タスク スケジューラ]を選択してタスク スケジューラを開きます。



3. 「タスク スケジューラ(ローカル)」画面が表示されます。「タスク スケジューラ ライブラリ」をクリックします。

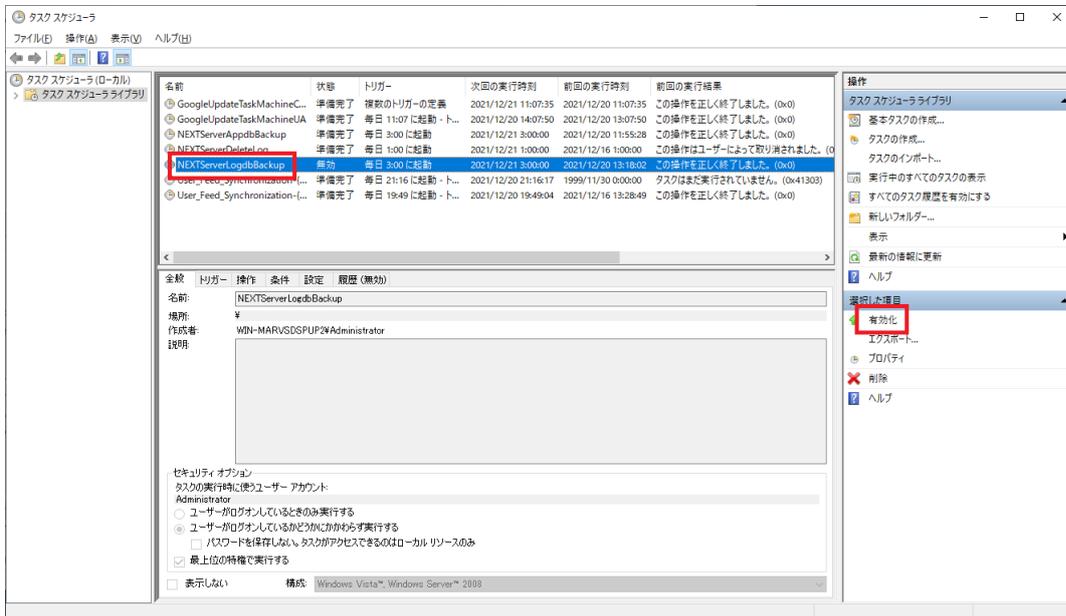


4. 「機能」ビューに「タスク スケジューラ ライブラリ」画面が表示されます。NEXT 管理 DB ファイル、NEXT コントロール設定 DB ファイルのバックアップ用タスクスケジューラをクリックして、「操作」ウィンドウの「有効化」をクリックしてください。
 ※例として「NEXTServerAppdbControldbBackup」というタスク名に設定したものと説明します。



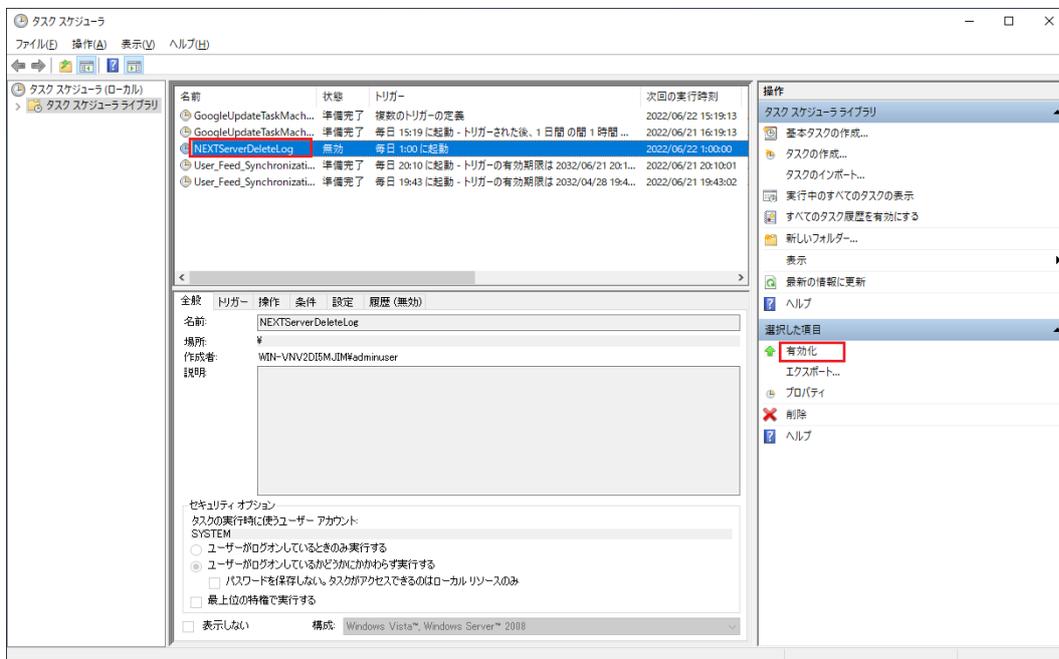
5. 同様に、NEXT ログ DB ファイルのバックアップ用タスクスケジューラをクリックして、「操作」ウィンドウの「有効化」をクリックしてください。

※例として「NEXTServerLogdbBackup」というタスク名に設定したものと説明します。



6. 同様に、ログ管理用タスクスケジューラをクリックして、「操作」ウィンドウの「有効化」をクリックしてください。

※例として「NEXTServerDeleteLog」というタスク名に設定したものと説明します。



14.3 NEXT ログ DB ファイルをリストアする

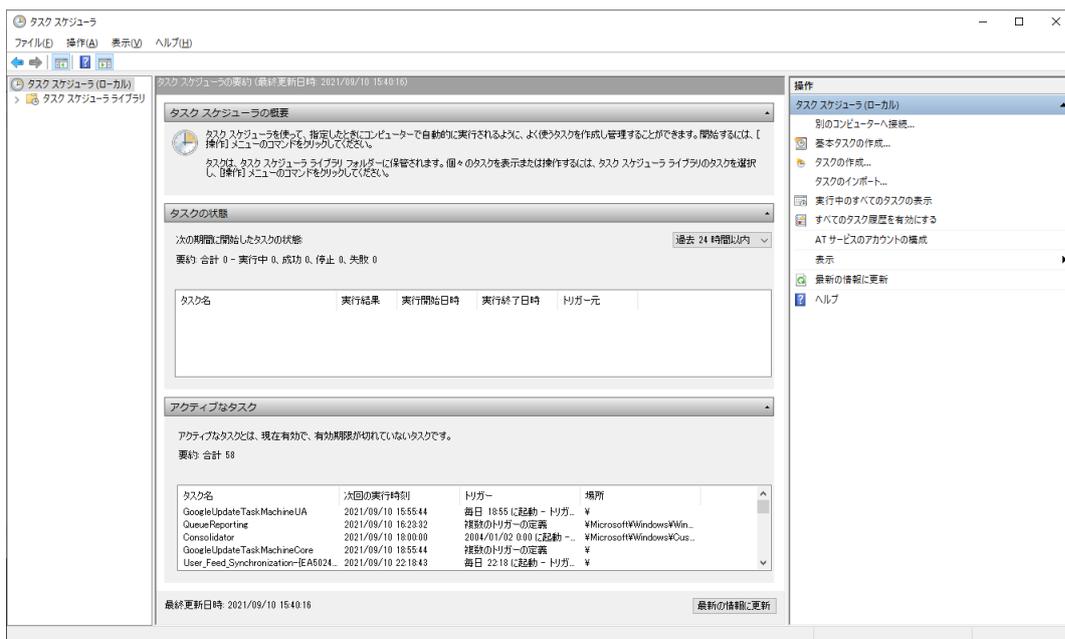
NEXT ログ DB ファイルが破損した場合や、特定のバックアップした時点まで NEXT ログ DB ファイルを戻す場合にリストアすることができます。

NEXT ログ DB ファイルのリストアを行う手順について説明します。

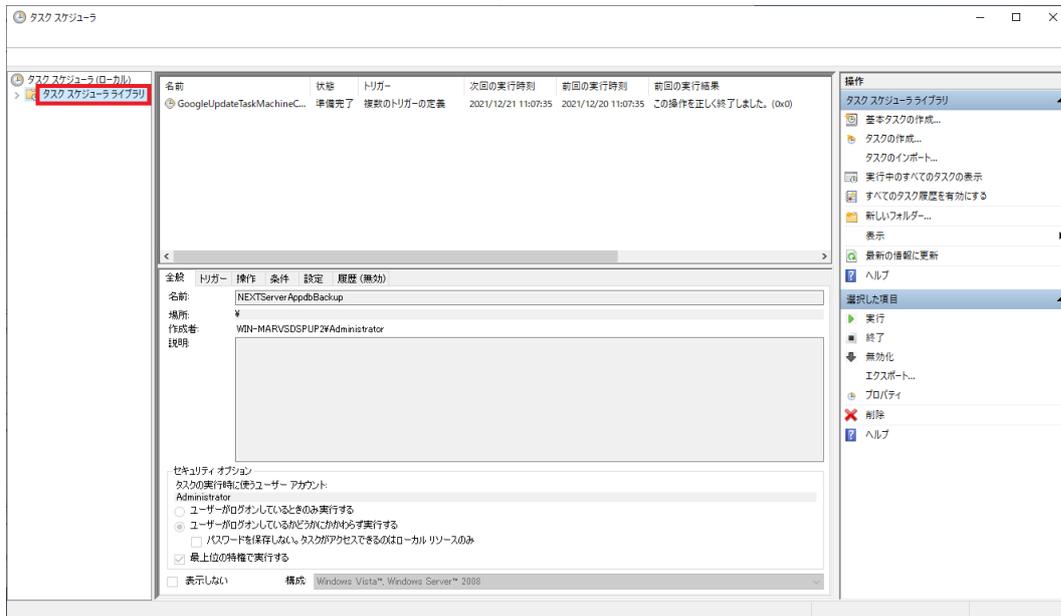
14.3.1. 現在の NEXT ログ DB ファイルをバックアップ

※リストアに失敗した場合、元の DB に戻すために予めバックアップを実行することを推奨します。

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[タスク スケジューラ]を選択してタスク スケジューラを開きます。

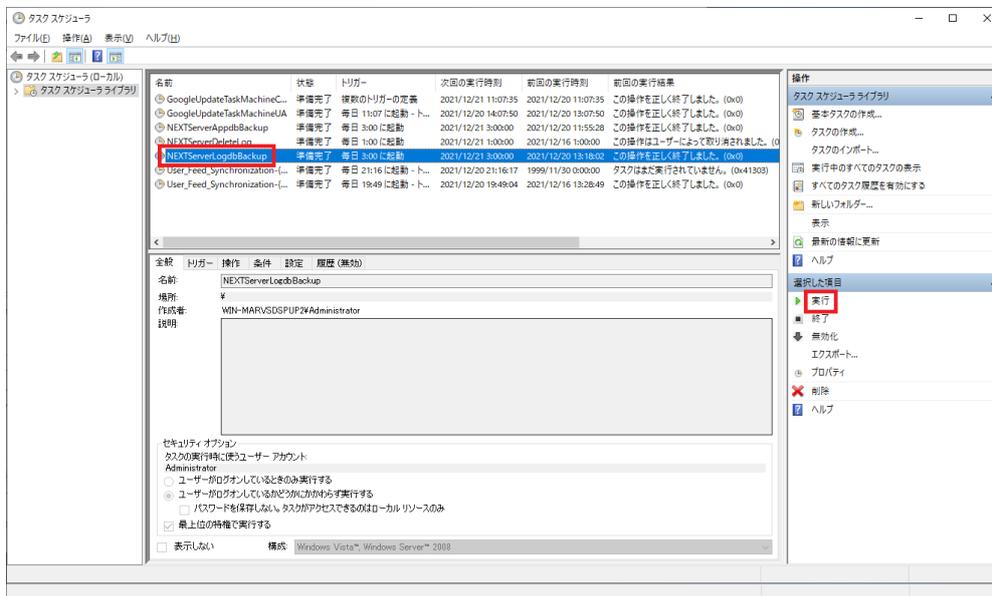


3. 「タスク スケジューラ(ローカル)」画面が表示されます。「タスク スケジューラ ライブラリ」をクリックします。



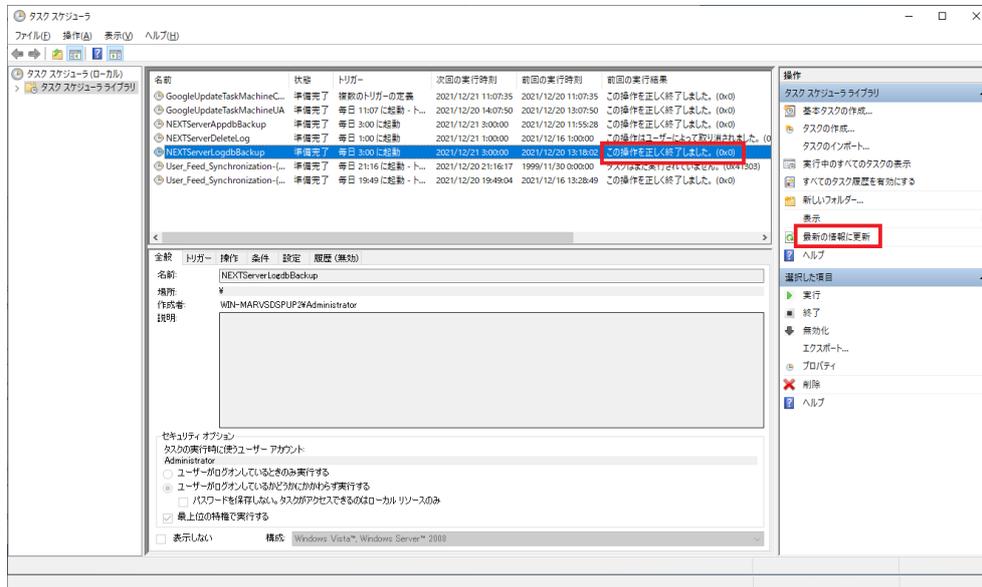
4. 「機能」ビューに「タスク スケジューラ ライブラリ」画面が表示されます。NEXT ログ DB ファイルのバックアップ用タスクスケジューラをクリックして、「操作」ウィンドウの「実行」をクリックしてください。

※例として「NEXTServerLogdbBackup」というタスク名に設定したものと説明します。



5. しばらく待ってから「最新の情報に更新」をクリックします。実行したタスクの「前回の実行結果」が「この操作を正しく終了しました。(0x0)」と表示されればバックアップは完了です。

※バッチファイルに設定した「バックアップファイル名」のフォルダにバックアップファイルが生成されます。



Info 「前回の実行結果」が「現在タスクを実行中です。(0x41301)」と表示された場合は、しばらく待ってから再度「最新の情報に更新」をクリックしてください。

Info 「前回の実行結果」が「(0x1)」と表示された場合は、バックアップに失敗しています。失敗する要因としては以下が考えられますので、再度確認して手順 3 から実行してください。

- ・バックアップのバッチファイルの設定内容が間違っている

14.3.2. IIS の停止

リストアを行う際は、必ず IIS を停止してから行ってください。

IIS の停止を行う手順は、「14.2.2. IIS の停止」を参照してください。

14.3.3. タスクスケジューラの無効化

リストアを行う際は、ログ管理用タスクスケジューラ、及びバックアップ用タスクスケジューラを無効化してから行ってください。

※タスクスケジューラが動作する時間とリストアする時間が被らなければ無効化の操作は不要です。

タスクスケジューラの無効化を行う手順は、「14.2.3. タスクスケジューラの無効化」を参照してください。

14.3.4. NEXT ログ DB ファイルのリストア用バッチファイルを作成

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows アクセサリ]-[メモ帳]を選択してメモ帳を開き、下記内容をコピーしてメモ帳に貼り付けてください。

```
@echo off

: **** DB パスワードの設定 ****
: DB パスワードが「password」の場合は、「set PGPASSWORD=password」となります。
set PGPASSWORD=password

: **** pg_restore.exe の配置場所 ****
: postgresQL のインストール先が「C:¥Program Files¥PostgreSQL」の場合は
: 「set PGRESTOREPATH = "C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin"」となります。
set PGRESTOREPATH="C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin"

: **** リストアするファイル名 ****
: 「C:¥backup¥logdb_20210915_155952.dump」を使用してリストアする場合は
: 「set PGRESTOREFILE = "C:¥backup¥logdb_20210915_155952.dump"」となります。
set PGRESTOREFILE="C:¥backup¥logdb_20210915_155952.dump"

: **** リストアする DB 名 ****
: 「NEXT ログ DB ファイル」をリストアする場合は「set PGRESTOREDB=logdb」となります。
set PGRESTOREDB=logdb

%PGRESTOREPATH%¥pg_restore.exe -w -c -p 5432 -U postgres
-d %PGRESTOREDB% %PGRESTOREFILE%

if "%ERRORLEVEL%"=="0" (
    echo ***** リストアが正常に終了しました。 *****
) else (
    echo ***** リストアに失敗しました。 *****
)
pause
```

3. コピーした内容の下記内容をご使用の環境に合わせて修正してください。

項目	説明
DB パスワードの設定	NEXT チームサーバーのインストール時に「データベースパスワード設定画面」で設定したパスワードになります。
pg_restore.exe の配置場所	NEXT チームサーバーのインストールでは、通常、「C:¥Program Files¥PostgreSQL¥bin」となります。
リストアするファイル名	リストアで使用するファイル名になります。 ※任意のファイル名で構いません。拡張子は「.dump」とします。
リストアする DB 名	リストアする DB 名になります。 NEXT ログ DB ファイルをリストアする場合は「logdb」を設定してください。

4. 修正したファイルを任意の場所に、拡張子「.bat」として保存してください。
※例として「C:¥backup」に「logdb_restore.bat」というファイル名で保存したものとして説明します。

14.3.5. NEXT ログ DB ファイルをリストア

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. 「14.3.4. NEXT ログ DB ファイルのリストア用バッチファイルを作成」で作成したバッチファイルを選択し、「右クリック」-「管理者として実行」してください。
3. コマンドプロンプトに「***** リストアが正常に終了しました。 *****」と表示されればリストアは完了です。

Info 「***** リストアに失敗しました。 *****」と表示された場合は、リストアに失敗しています。
失敗する要因としては以下が考えられますので、再度確認して手順 2 から実行してください。

- ・リストアのバッチファイルの設定内容が間違っている
- ・リストアのバッチファイルを管理者として実行していない

※問題が見つからない場合はバックアップファイルが破損している可能性があるため、「14.3.1. 現在の NEXT ログ DB ファイルをバックアップ」で作成したバックアップファイルを使用してリストアを行ってください。

14.3.6. IIS の開始

リストアの作業が完了した後に停止させた IIS を開始してください。

IIS の開始を行う手順は、「14.2.6. IIS の開始」を参照してください。

14.3.7. タスクスケジューラの有効化

リストアの作業が完了した後に無効化したログ管理用タスクスケジューラ、及びバックアップ用タスクスケジューラを有効化してください。

※「14.3.3 タスクスケジューラの無効化」でタスクスケジューラを無効化していなければ有効化の操作は不要です。

タスクスケジューラの有効化を行う手順は、「14.2.7. タスクスケジューラの有効化」を参照してください。

付録

アンインストール方法

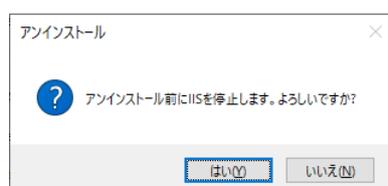
NEXT チームサーバー

1. [アプリと機能]より「NEXT サーバー チーム版 バージョン N.N」の<アンインストール>をクリックしてください。

※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]より「NEXT サーバー チーム版 バージョン N.N」の<アンインストール>でアンインストールも可能です。

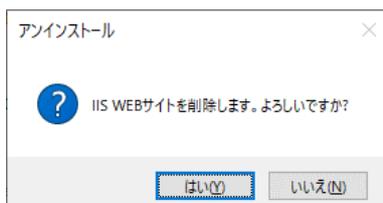
※「N」は数字

2. 下図が表示されます。「IIS 停止確認」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。



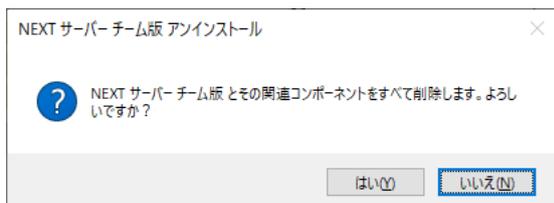
Info <いいえ>ボタンをクリックすると、アンインストールを中断します。

3. 下図が表示されます。「IIS Web サイト削除確認」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。



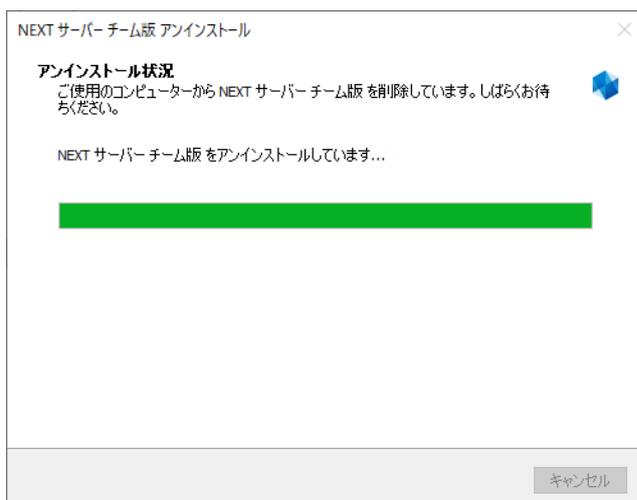
Info <いいえ>をクリックしてもアンインストールは継続します。その場合は IIS Web サイトは削除されずに残ります。

4. 下図が表示されます。「アンインストール確認」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。

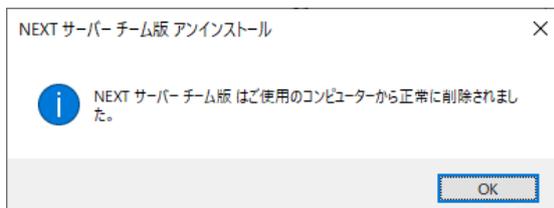


Info <いいえ>ボタンをクリックすると、アンインストールを中断します。

5. しばらくすると、下図が表示され、アンインストールが開始されます。少しお待ちください。



6. 下図が表示されます。「アンインストール完了」ダイアログが表示されるとアンインストール完了です。



- ◆ NEXT チームサーバーのアンインストールで削除されないミドルウェアの削除方法について
NEXT チームサーバーでインストールされたミドルウェアの内、アンインストールで削除されないミドルウェアと削除方法について説明します。

削除されないミドルウェア	削除方法
Microsoft .NET 8.0.3 - Windows Server Hosting	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x64)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x86)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 – Shared Framework (x64)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 – Shared Framework (x86)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86) - 14.25.28508	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
PostgreSQL 13	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。 ※PostgreSQL を削除してもインストーラーで設定した「データベースの配置先」のデータフォルダは残りますので、こちらは手動で削除します。
IIS	1. 「サーバーマネージャー」で[管理] - [役割と機能の削除]を選択し、役割と機能の削除ウィザードを開きます。 2. 「サーバーの役割」で「Web サーバー(IIS)」のチェックを外します。 3. [次へ]でウィザードを進め、最後に[削除]で削除を実行します。
NFC Port Software 6.2.2.1	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。

インストーラーのエラーメッセージ

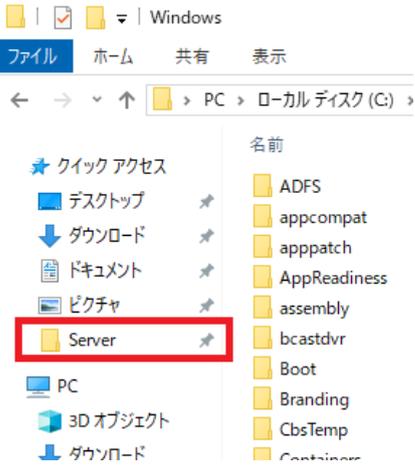
NEXT サーバーインストーラー チーム版

NEXT チームサーバーのインストール、アンインストールした際に表示されるエラーメッセージです。

出力メッセージ/エラー状態	対応方法
<p>前回のインストールが正常に終了されていません。</p> <p>NEXT サーバーをアンインストールしてから再実行をして下さい。</p>	<p>NEXT チームサーバーのインストールが不完全な状態でインストーラーを起動すると表示されるエラーです。</p> <p>インストール済みのNEXT チームサーバーをアンインストール後にコンピューターを再起動して、改めてNEXT チームサーバーインストーラーを実行してください。</p>
<p>既にNEXT サーバーがインストールされています。</p> <p>この環境で異なる構成のインストーラーは実行できません。</p>	<p>NEXT サーバー タイプAがインストールされている環境でNEXT サーバーインストーラー チーム版を実行した場合など、インストールされているタイプと異なるインストーラーを実行した場合に表示されるエラーです。</p> <p>インストール済みのNEXT サーバーをアンインストール後にコンピューターを再起動して、改めてNEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
<p>新しいバージョンがインストールされているため、インストールをキャンセルしました</p>	<p>インストール済みのNEXT チームサーバーより古いバージョンのNEXT サーバーインストーラー チーム版を実行した際に表示されるエラーです。</p> <p>NEXT サーバーインストーラー チーム版が正しいか確認してください。</p> <p>対象のNEXT サーバーインストーラー チーム版を実行する場合は、インストール済みのNEXT チームサーバーをアンインストールし、改めてNEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
<p>パスワードは8文字以上入力が必要です</p>	<p>データベースのパスワードを8文字未満で入力した際に表示されるエラーです。</p> <p>8文字以上のパスワードで再入力してください。</p>
<p>無効な文字が入力されています</p>	<p>データベースのパスワードに使用できない文字が含まれている際に表示されるエラーです。</p> <p>使用できる以下の文字種を参考にパスワードを再入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数字：0～9、A～Z、a～z ・半角記号：! # % & () * + , - . / ; < = > ? @ [] _ { } ~ ^ " ¥

出力メッセージ/エラー状態	対応方法
IIS の停止に失敗したため、インストールを中止します	<p>インストール実行中に IIS 停止に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>一度コンピューターを再起動して改めて NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合は NEXT チームサーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
DB の接続設定に失敗しました	<p>インストール実行中に設定ファイルの書き換え失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>NEXT チームサーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、改めて NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
DB の初期化に失敗しました	<p>データベースのサービスが起動していない、または何らかの理由でデータベースが操作できない場合に表示されるエラーです。</p> <p>まずは NEXT チームサーバーのインストールに失敗しているため、NEXT チームサーバーをアンインストールしてください。</p> <p>以下の手順で PostgreSQL のサービスが稼働しているかを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. WindowsServer のスタートメニュー [Windows 管理ツール] > [サービス]を選択し、サービスを起動します。 2. 一覧から「postgresql-x64-13」を探し、状態が「実行中」であることを確認します。 <p>サービスが実行中では無い場合は右クリックから[開始]を選択し実行した後、改めて NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p> <p>一覧に「postgresql-x64-13」が存在しない、またはサービスが実行できない場合は PostgreSQL をアンインストールした後、NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合は NEXT チームサーバーと PostgreSQL をアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
IIS Web サイトの作成に失敗しました	<p>IIS の Web サイト作成に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>一度コンピューターを再起動して改めて NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合は NEXT チームサーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>

出カメッセージ/エラー状態	対応方法
IIS の開始に失敗しました	<p>IIS の起動に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>一度コンピューターを再起動して改めて NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合は NEXT チームサーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
タスクスケジューラの作成に失敗しました	<p>NEXT チームサーバーのタスクスケジューラ「NEXTServerDeleteLog」の作成に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>再度 NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合は NEXT チームサーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
データベースの設定に失敗しました	<p>DB 関連のエラーでインストールに失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>当メッセージの前に表示されたエラーメッセージに従い対応してください。</p>
インストールに失敗しました	<p>DB 以外のエラーでインストールに失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>当メッセージの前に表示されたエラーメッセージに従い対応してください。</p>

出カメッセージ/エラー状態	対応方法
<p>インストールファイルのバックアップに失敗したため、インストールを中止します</p>	<p>インストールファイルのバックアップ処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>エクスプローラーを開いている状態、かつクイックアクセスに NEXT チームサーバーのインストールフォルダ「C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server」が登録されている場合も本エラーが表示されます。</p>  <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT チームサーバーをバージョンアップする場合は、エクスプローラーを終了させた後、改めて NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
<p>インストールを中断しました。インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT チームサーバーのインストール中にキャンセル処理が行われた際に、正常にロールバック処理が成功しました。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT チームサーバーをバージョンアップする場合は、再度 NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
<p>インストールに失敗しました。アンインストール後、インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT チームサーバーのインストール中にキャンセル処理が行われた際に実行されるロールバック処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>インストール済みの NEXT チームサーバーをアンインストール後にコンピューターを再起動して、改めて NEXT サーバーインストーラー チーム版を実行してください。</p>
<p>IIS 停止に失敗しました。アンインストールはキャンセルされました。</p>	<p>IIS 停止に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>以下の手順により手動で IIS を停止した後、改めてアンインストールを実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. WindowsServer のスタートメニュー [Windows 管理ツール] > [サービス]を選択し、サービスを起動します。 2. 一覧から「World Wide Web 発行サービス」を探し、右クリックして[停止]を選択します。

出カメッセージ/エラー状態	対応方法
IIS の開始に失敗しました。アンインストール後、IIS を開始してください。	<p>IIS の起動に失敗した際に表示されるエラーです。 以下の手順により手動で IIS を起動します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. WindowsServer のスタートメニュー [Windows 管理ツール] > [サービス]を選択し、サービスを起動します。2. 一覧から「World Wide Web 発行サービス」を探し、右クリックして[開始]を選択します。

IC カードを忘れた/紛失した、カメラを忘れた/壊れてしまった

NEXT クライアントの利用者本人が二要素認証のための IC カードを忘れた、外出時にカメラが壊れたなどで NEXT による画面ロックを解除できないと業務が止まることを避けるため、緊急パスワードで一時的に Windows へサインインします。

NEXT 緊急パスワードを発行する

緊急パスワードの発行は管理者が NEXT マネージャーで行います。
発行手順は、「11.6. NEXT 緊急パスワードの発行」を参照してください。

NEXT 緊急パスワードを利用して Windows へサインインする

発行された緊急パスワードを管理者から NEXT クライアントの利用者へ通知を受け、NEXT クライアントで緊急パスワードでのサインインを行います。
緊急パスワードのサインイン手順は、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

NEXT ユーザーのロックアウト

NEXT ユーザーは、ポリシー設定でロックアウトのしきい値を設定している場合、NEXT 認証に失敗し続け、その失敗回数がポリシー設定の指定回数を超えるとロックアウトします。

NEXT 認証の失敗は以下のように管理されます。

- ・ 認証方式によらず、各 NEXT ユーザー単位でロックカウンタを持っており、失敗回数を管理しています。
- ・ NEXT 認証が成功した場合、ロックカウンタを 0 回に戻します。

また、NEXT サーバーでのワンタイムパスワードシークレット発行時、およびワンタイムパスワードシークレットリセット時における NEXT パスワード認証が成功した場合や、NEXT クライアントでのワンタイムパスワードシークレット発行時の NEXT パスワード認証に成功してサインインした場合についても、ロックカウンタを 0 回に戻します。

ただし、ワンタイムパスワード認証によるサインイン成功時は、ロックカウンタをリセットしません。

- ・ NEXT 認証が失敗した場合、ロックカウンタをカウントアップします。
- ・ カウントアップ方式のため、ポリシー設定を変更した場合、以下のような影響を受けます。
 - ・ ポリシー設定値を減らすと、残試行回数が減ることになります
 - ・ ポリシー設定値を増やすと、アカウントロック中だったユーザーがアカウントロックと判定されなくなる場合があります

・ 運用中にポリシー設定でしきい値を変更した場合でも、各 NEXT ユーザー単位のロックカウンタはそのままとなります。しきい値を少なくする場合は、ご注意ください。

以下の NEXT 認証の失敗はカウントされます。

- ・ NEXT クライアントでの NEXT パスワード認証の失敗
- ・ NEXT クライアントでの IC カード情報登録時の NEXT 認証の失敗
- ・ NEXT クライアントでの IC カード認証時の IC カード照合の失敗
- ・ NEXT クライアントでの顔情報登録時の NEXT 認証の失敗
- ・ NEXT クライアントでの顔認証時の NEXT 認証の失敗
- ・ NEXT クライアントでのワンタイムパスワードシークレット発行時の NEXT 認証の失敗
- ・ NEXT クライアントでの NEXT 緊急パスワード認証の失敗
- ・ NEXT マネージャーへのパスワード認証によるサインイン失敗
- ・ NEXT マネージャーでのワンタイムパスワードシークレット発行時の NEXT 認証の失敗
- ・ NEXT マネージャーでのワンタイムパスワードシークレットリセット時の NEXT 認証失敗

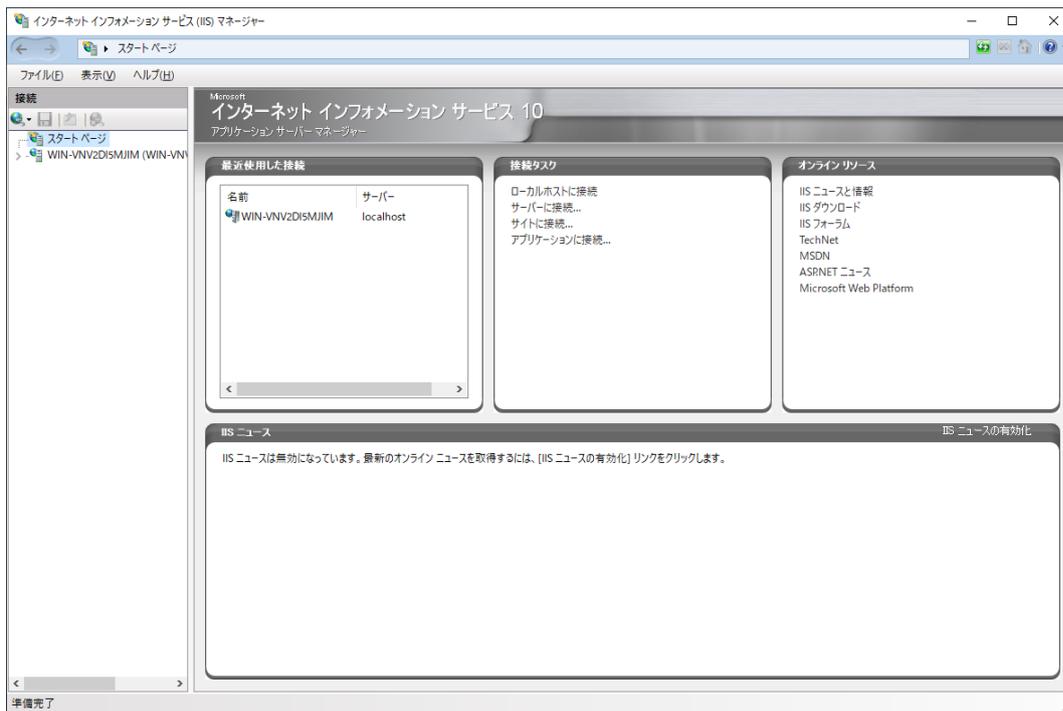
以下の NEXT 認証の失敗はカウントされません。

- ・ NEXT クライアントでの NEXT サーバーに対してオフライン状態での認証
- ・ NEXT クライアントでの顔認証時の顔照合の失敗
- ・ NEXT マネージャーへのワンタイムパスワード認証によるサインイン失敗

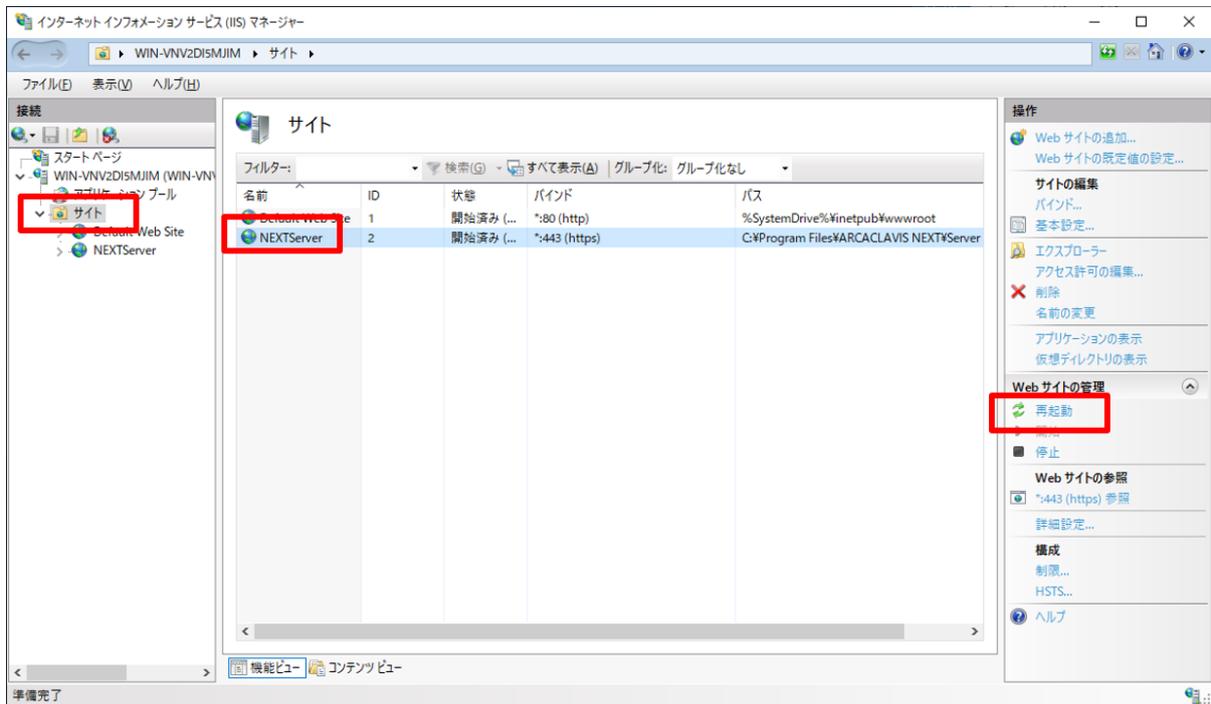
NEXT マネージャーの Web サイト再起動

NEXT マネージャーの Web サイト再起動は以下の手順で行います。

1. NEXT チームサーバー用コンピューターに管理者権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を選択してインターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーを開きます。



3. IIS マネージャーの「接続」ビューの「サイト」をクリックし、「機能」ビューから「NEXTServer」をクリックして、「操作」ウィンドウの「再起動」をクリックします。



NEXT ユーザーの状態と NEXT 認証の可否

NEXT 緊急パスワードの発行

アカウントの状態によって NEXT 緊急パスワードが発行できるかどうかが変わります。

緊急パスワード発行の可、不可	アカウントの状態
発行が可能	<ul style="list-style-type: none"> • NEXT パスワードが有効期限切れ • 初回サインイン時に NEXT パスワード変更が必要 • NEXT ユーザーがオフライン有効日数の期限切れ
発行が不可	<ul style="list-style-type: none"> • NEXT ユーザーが無効 • NEXT ユーザーが有効期限切れ • NEXT ユーザーがロックアウトされている

NEXT マネージャーへの NEXT パスワードでのサインイン

アカウントの状態によって NEXT マネージャーにパスワード認証でサインインできるかどうかが変わります。

認証の可、不可	アカウントの状態
サインインが不可	<ul style="list-style-type: none"> • NEXT ユーザーが無効 • NEXT ユーザーが有効期限切れ • NEXT ユーザーがロックアウトされている
パスワード変更後にサインインが可能 ※サインイン時に NEXT パスワードの変更が行われます	<ul style="list-style-type: none"> • NEXT パスワードが有効期限切れ • 初回サインイン時に NEXT パスワード変更が必要

NEXT マネージャーへのワンタイムパスワードでのサインイン

アカウントの状態によって NEXT マネージャーにワンタイムパスワードでサインインできるかどうかが変わります。

認証の可、不可	アカウントの状態
サインインが可能	<ul style="list-style-type: none">• NEXT ユーザーがロックアウトされている• NEXT パスワードが有効期限切れ
サインインが不可	<ul style="list-style-type: none">• NEXT ユーザーが無効• NEXT ユーザーが有効期限切れ
パスワード変更後にサインインが可能 ※サインイン時に NEXT パスワードの変更が行われます	<ul style="list-style-type: none">• 初回サインイン時に NEXT パスワード変更が必要

NEXT ユーザーの状態ごとの復帰

アカウントの状態によって NEXT ユーザーの復帰方法が異なります。

アカウントの状態	NEXT マネージャーの関連する設定項目	NEXT マネージャーでの復帰方法	NEXT クライアントでの復帰方法（オンラインのみ）
NEXT ユーザーが無効	[NEXT ユーザー一覧]-[ユーザー管理]-[無効]	無効に設定されている NEXT ユーザーの「無効」をオフに設定してください。（※1）	NEXT クライアントからの復帰はできません。（※2）
NEXT ユーザーが有効期限切れ	[NEXT ユーザー一覧]-[ユーザー管理]-[有効期間(開始)] [NEXT ユーザー一覧]-[ユーザー管理]-[有効期間(終了)]	有効期限が切れている NEXT ユーザーの「有効期間(開始)」、または「有効期間(終了)」を正しい日付に設定してください。（※1）	NEXT クライアントからの復帰はできません。（※2）
NEXT ユーザーがロックアウトされている	[ポリシー設定]-[NEXT ユーザーのロックアウトのしきい値]	ロックアウトされている NEXT ユーザーの[NEXT パスワードリセット]を行ってください。（※3）	NEXT クライアントからの復帰はできません。（※2）
NEXT パスワードが有効期限切れ	[ポリシー設定]-[NEXT パスワード有効日数]	NEXT パスワードの有効期限が切れている NEXT ユーザーで下記いずれかを行ってください。 ・NEXT マネージャーへのサインイン時に NEXT パスワードを変更してください。 ・NEXT パスワードの有効期限が切れている NEXT ユーザーの[編集]から NEXT パスワードを変更してください。（※3） ・NEXT マネージャーへワンタイムパスワードでサインインし、NEXT パスワードを変更してください。（※3）	NEXT 認証後に NEXT パスワード変更を行ってください。 ただし、オフライン時は NEXT パスワード変更はできません。

アカウントの状態	NEXT マネージャーの関連する設定項目	NEXT マネージャーでの復帰方法	NEXT クライアントでの復帰方法（オンラインのみ）
初回サインイン時に NEXT パスワード変更が必要	[ポリシー設定]-[初回サインイン時に NEXT パスワードを変更する]	NEXT マネージャーへのサインイン時に NEXT パスワードを変更してください。	NEXT 認証後に NEXT パスワード変更を行ってください。 ただし、オフライン時は NEXT パスワード変更はできません。
NEXT ユーザーがオフライン有効日数の期限切れ	[ポリシー設定]-[オフライン有効日数] ※「0」に設定すると無期限となります	NEXT チームサーバーからの復帰はできません。	オンライン状態で NEXT 認証を行ってください。

- ※1：管理者権限の NEXT ユーザーが 1 つ、かつ管理者権限の NEXT ユーザーが無効状態の場合は復帰できません。管理者(ビルトイン)ユーザーをリセットするか、サポートにお問い合わせください。管理者(ビルトイン)ユーザーをリセットする手順については、「ARCACLAVIS NEXT トラブルシューティングガイド」を参照してください。
- ※2：NEXT マネージャーでの復帰方法を行った後に、NEXT クライアントでのサインインが可能となります。
- ※3：NEXT マネージャーでの復帰方法を行った際に NEXT パスワードを変更した場合は、管理者から利用者に変更後の NEXT パスワードを通知してください。NEXT パスワードの変更は任意です。

NEXT パスワードの変更

NEXT パスワードを変更した際の「NEXT パスワードの更新日時」、「ロックアウトの解除」は以下のルールで行われます。

NEXT パスワードの変更方法		NEXT パスワードの更新日時	ロックアウトの解除
NEXT マネージャー	管理者ポータルで NEXT ユーザーを新規に登録する ※CSV インポートからの追加も含む	変更される	解除しない
	管理者ポータルで NEXT ユーザーの編集を行い、NEXT パスワードを入力した状態で更新する ※CSV インポートからの更新も含む	変更される	解除しない
	管理者ポータルで NEXT ユーザーの編集を行い、NEXT パスワードを入力しない状態で更新する ※CSV インポートからの更新も含む	変更されない	解除しない
	管理者ポータルで NEXT パスワードリセットを実行する	変更される	解除する
	ユーザーポータルで NEXT パスワード変更を実行する	変更される	解除する
	NEXT パスワードの有効期限が切れている状態で、NEXT マネージャーへのサインイン時に NEXT パスワードを変更する	変更される	解除する
NEXT クライアント	NEXT パスワードの有効期限が切れている状態で、NEXT 認証後に NEXT パスワードを変更し、サインインする	変更される	解除する

編集・著作 株式会社両備システムズ

ARCACLAVIS は、株式会社両備システムズの登録商標です。

記載されている社名、製品名等は各社の商標または登録商標です。

記載されている内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万が一不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

また、株式会社両備システムズの許可なく、複製・改変などを行うことはできません。